

添付資料 目次

ページ	資料タイトル	該当スライド
p. 1	評価の視点に対するOISTとしての考え方	スライド 2
p. 4	3-1-2 優れた教員の獲得に係る取組	スライド 7・8
p. 5	3-1-3 Achievements (honors and awards)	スライド 9
p.18	3-1-5 Programs Initiative for Professional Development	スライド 11
p.20	3-1-7 FY2021_2024_submission_Workshops-Conferences_JP	スライド 19~21
p.32	3-1-8 Inter-units-news-2020-2025	スライド 22~24
p.33	3-1-8-2 Notable cases	スライド 22~24
p.43	3-1-8 Joint Publications by Multiple Units	スライド 22~24
p.56	3-1-12 (External Grants.xlsx)	スライド 32
p.57	3-2-1 (Student Information Class 2021-2024)	スライド 48

添付資料

評価の視点に対する OIST としての考え方

ビジョン ステートメント

OIST は、学際的研究、教育、イノベーションを統合した、国際的な視野を持ち、英語を主要言語とする大学院大学である。我々は、人類の利益に資する科学を推進することで国際的に認知され、グローバルに活躍する人材に選ばれる大学として、また、日本と世界を結ぶゲートウェイとして、柔軟で効率的な組織モデルを通じて、科学、学習、社会的インパクトを結びつける役割を果たすことを目指している。地域発展へのコミットメントの一環として、研究、起業家精神、地域社会との連携を促進する活気あるエコシステムを育成することで、沖縄の持続可能な成長を後押しするイノベーションの触媒となることを目指している。

(1) 研究の成果等

評価の視点

“世界最高水準の研究力を保つための研究実施体制を構築し、国際的に卓越した科学技術に関する研究成果を創出しているか。”

OIST の視点

- OIST は、世界的競争力を有する PI 主導の研究枠組みを運営している。この枠組みは、独立性、学際性、そして最高水準の国際基準に基づく卓越性を追求するものである。
- 教員の採用は、グローバルで厳格かつ実力主義であり、早期の独立性と長期的な可能性に重点を置いている。
- 中核となる研究インフラは一元化され、共有されているため、すべての研究者が最先端のテクノロジーや専門家のサポートを平等に利用できる。
- 強力な業績指標 Q1 ジャーナルへの論文掲載率～70%、日本トップの CNCI、新たな戦略分野での影響力の拡大。
- オープンセンターやグローバル・パートナーシップなどの戦略的イニシアチブは、グローバルな課題への取り組みを強化し、科学とイノベーションにおける国際協力のための産学連携を促進する。
- 知的財産の創出、スタートアップ、地域および世界の産業界との連携など、**研究を積極的にインパクトにつなげる。**

(2) 教育の成果等

評価の視点

“国際的な科学研究の領域で指導的役割を担える可能性と意欲を持つ質の高い学生の選抜を行うとともに、科学的に卓越し、自立性に富んだ人材として養成するために、世界最高水準の教育及び必要な支援を提供しているか。”

OIST の視点

- 我々は、世界中から優秀な博士課程の候補者を選抜している。統一された総合的な選考プロセスを通じ、学術的な優秀性、研究能力、およびリーダーとしての潜在能力を審査している。
- 博士課程は OIST の研究環境と完全に統合されており、初日から実践的なトレーニング、早期の研究への参加、ニーズに合わせた学業指導を提供している。
- 学生と教員の比率が低いことで、きめ細やかな指導を保障、個々の進捗状況を丁寧に追跡し、一貫した研究指導を確保。
- 学生には全面的な経済的サポートが提供され、研究倫理、コミュニケーション、リーダーシップ、起業家精神などのトレーニングを含む専門能力開発へのアクセスも提供される。
- 本学の卒業生は、世界の学術界、産業界、公共部門でリーダーとして活躍しており、科学的独立性とグローバル・リーダーシップを育成する本学の教育モデルの有効性を実証している。

OIST's Perspective on the Evaluation Criteria

Vision Statement

OIST is a globally oriented, English-speaking graduate university that integrates interdisciplinary research, education, and innovation. We aspire to be internationally recognized for advancing science that benefits humanity, to serve as the destination of choice for global talent, and to act as a gateway between Japan and the world—linking science, learning, and societal impact through an agile and efficient institutional model. As part of our commitment to regional development, we aim to catalyze innovation and contribute to the sustainable growth of Okinawa by fostering a vibrant ecosystem of research, entrepreneurship, and community engagement.

(1) Research Outcomes

Government Criterion:

“Has a research implementation framework been established to maintain world-class research capabilities, and are internationally outstanding scientific and technological achievements being produced?”

OIST's Perspective:

- OIST operates a globally competitive, PI-led research framework—**independent, interdisciplinary, and excellence-driven** at the highest international standard.
- **Faculty recruitment is global, rigorous, and merit-based**, with a focus on early independence and long-term potential.
- **Core research infrastructure is centralized and shared**, giving all researchers equal access to cutting-edge technology and expert support.
- **Strong performance indicators:** ~70% Q1 journal publications, top CNCI in Japan, and a growing impact in emerging strategic areas.

- **Strategic initiatives like open centers and global partnerships** strengthen focus on global challenges and facilitate partnerships with industry and academia gateway for international collaboration in science and innovation.
- **Active translation of research into impact**, including IP generation, start-ups, and engagement with local and global industry.

(2) Educational Outcomes

Government Criterion:

“Are high-quality students... being selected, and are they being trained to become scientifically excellent and independent individuals by providing world-class education and necessary support?”

OIST’s Perspective:

- **We admit highly qualified PhD candidates** from around the world through a unified, holistic selection process that evaluates academic excellence, research aptitude, and leadership potential.
- **The PhD program is fully integrated with OIST’s research environment**, offering hands-on training, early research engagement, and tailored academic guidance from day one.
- **A low student-to-faculty ratio ensures close mentorship**, personalized progress tracking, and consistent research supervision.
- **Students receive full financial support and access to professional development**, including training in research ethics, communication, leadership, and entrepreneurship.
- **Our graduates go on to excel** as leaders in academia, industry, and public sectors worldwide—demonstrating the effectiveness of our education model in cultivating scientific independence and global leadership.

添付資料 3-1-2 優れた教員の獲得に係る取組

1. 採用戦略

- ・ 卓越した人材を惹きつける採用プログラム：若手の有望な研究者やシニアリーダー層をターゲットとする
- ・ グローバル人材の探索、ターゲット採用、および招聘プログラム：
 - 海外向け求人掲載（例：NatureJobs、AcademicJobsOnline）
 - OIST がテニユア候補者にアプローチし、採用プロセスを開始
 - 客員プログラムの招聘研究者が OIST に関心を持ち、公募に応募
- ・ 多様性を重視したターゲット型採用：社会的に十分に代表されていないグループに対する積極的な採用

2. 採用プロセス

戦略的かつインクルーシブ（包括的）な採用プロセス：

- ・ 共同意思決定：教員、研究者代表、学生代表が採用決定に関与し、透明性と包括性を確保
- ・ 多様性のある教員選考委員会：バイアスを最小限に抑え、候補者を公正に評価するため、多様性があり、適切な訓練を受けた委員会を構成

3. 処遇と支援

国際的に競争力のある処遇およびスタートアップ支援パッケージ：

- ・ 研究室の立ち上げ、機器購入、研究支援スタッフ（RUA）確保のための充実したスタートアップ資金
- ・ 一定期間、研究費の支給を保証

デュアルキャリア支援：

- ・ 配偶者・パートナーの雇用機会または職業能力開発支援の提供
- ・ 家族に優しい制度（引越し支援、育児支援サービスなど）

4. キャリア開発

専門能力開発とキャリア支援：

- ・ メンター制度：新規教員に対し、テニユア取得や昇進に向けた支援を行うシニアメンターを配置
- ・ リーダーシップ研修

テニユアトラック制度：定期的な評価を伴う有望なキャリア昇進の仕組み

5. 組織の魅力

組織としての価値提案の強調：

- ・ ミッション、研究基盤、多様性の取り組み、ワークライフバランスの充実を示し、優秀な人材を惹きつける

研究の自由と自律性の重視：

- ・ 最小限の教育負担
- ・ 専任スタッフによる最先端のコアファシリティへのアクセス

添付資料3-1-3 Achievements (honors and awards)
受賞実績(教員)

No.	研究ユニット	受賞者・受賞理由	URL	受賞日
1	ホーエン ユニット 量子ビットと時空ユニット	ホーエン准教授は、優れた研究成果が認められ、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL)より「名誉准教授」の称号を授与されました。UCL物理学部と連携し、大学訪問、共同オンラインセミナーやグループ会議の開催、UCL学生への教育指導などを含む様々な活動を行います。	N/A	2020年6月29日
2	カズ (田中) ユニット 記憶研究 ユニット	田中和正准教授は、海馬における空間記憶と文脈記憶の痕跡についての功績により、日本神経科学学会の若手研究者賞（奨励賞）を受賞しました。	https://jnss.org/en/2020awardees?u=aa2a02c1132b21a9d7e62f309df28c24&c=5	2020年7月30日
3	ニコーマックユニット 量子技術のための光・物質相互作用ユニット	ニコーマック教授は光ナノファイバ、冷却原子とのナノファイバを介した相互作用、スパリングギャラリモード、および微小粒子捕捉の基本的な理解と応用への貢献に対して米国光学会の2021 OSA フェローを受賞しました。	https://www.osa.org/en-us/awards_and_grants/fellow_members/recent_fellows/2021_fellows/	2020年9月1日
4	新竹ユニット 量子波光学顕微鏡ユニット	オーストラリアで創設された国際環境賞エネルギーグローブ賞 (ENERGY GLOBE Award) は、環境課題に対する重要なプロジェクトに授与される国際的な賞です。2020年国別部門にて、モルディブ受賞プロジェクトとしてOIST波力発電チームが選ばれました。	https://www.energyglobe.info/national/winner/maldives	2020年11月27日
5	ロスティユニット 複雑流体・流動ユニット	ロスティ准教授は第34回数値流体力学シンポジウムにて、ベストCFDグラフィックス・アワードを受賞しました。	https://www.wccm-eccomas2020.org/frontal/scholarships.asp	2020年12月2日
6	山本ユニット 細胞シグナルユニット	山本教授 (ICSB2019組織委員会) は、「先進性」、「独創性」を含んだ企画力や「地域貢献等を含んだレガシー」に優れている会議として、日本政府観光局(JNTO)の国際会議誘致・開催貢献賞を受賞しました。	https://mice.into.go.jp/news/	2021年1月29日

受賞実績（教員以外の研究者）

No.	Research Unit	Award Winner/Honor Title	URL	Date Awarded
1	銅谷ユニット 神経計算ユニット	李玉哲博士（ポスドク）が2020年9月に開催された2020 AP-CCN(アジア太平洋計算論的及び認知神経科学) 会議においてポスター賞を受賞しました。 ポスタータイトル：Neuron hubs distributed differently in deep layers and superficial layers in different brain states	http://www.ap-ccn.org/site/page.aspx?pid=237&mp:sid=1321&lang=en	2020年9月27日
2	ロスティユニット 複雑流体・流動ユニット	オリビエリステファノ博士(ポスドク) は、2021年1月11-15日に開催されたWCCM-ECCOMAS（欧州共同体応用履行の計算手法に関する欧州会議）オンライン学会2020にて、ECOMAS奨学金を獲得しました。	https://www.wccm-eccomas2020.org/frontal/scholarships.asp	2020年10月06日
3	ウーシサーリ 神経活動リズムと運動遂行 ユニット	ドゴスケビン博士（スタッフサイエンティスト）は、"Imaging subthreshold voltage oscillation with cellular resolution in the inferior olive in vitro"により、南アフリカ・ステレンボス大学で開催されたPDS research summit 2020にてポスタープレゼンテーション賞を受賞しました。	N/A	2020年11月
4	シェンユニット マイクロ・バイオ・ナノ流体 ユニット	吉澤僚太（リサーチインターン）は、[優れた研究発表を行った功績]により、[プラスチック成形加工学会関西支部]の[優秀発表賞]を受賞しました。	https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/info/8959/	2020年12月8日
5	デシュッター ユニット 計算脳科学ユニット	オードリー・デニゾット博士(ポスドク) は北米神経科学会からTrainee Professional Development Awardを受賞しました。	https://www.sfn.org/meetings/meeting-awards/trainee-professional-development-award	2020年12月

令和3年度 研究に関する受賞実績

受賞実績(教員)

No	研究ユニット	受賞者・受賞理由	URL	受賞日
1	カズ (田中) ユニット 記憶研究 ユニット	田中和正准教授は、文部科学省の若手科学者賞を受賞した。	https://www.mext.go.jp/content	2021年4月
2	ラバシユニット 海洋気候変動ユニット	ラバシ教授は、ジェームズクック大学のオーストラリア研究会議 (ARC) サンゴ礁研究センターの共同研究者に選ばれた。	https://www.oist.jp/news-center/news/2020/9/29/oist-marine-scientist-allied-prestigious-coral-reef-center	2021年4月1日から現在
3	嘉部ユニット 有機光エレクトロニクスユニット	嘉部准教授は、英国王立化学会が発行するNanoscale誌のEmerging Investigators 2021 (2021年 注目の若手研究者) に選出された。	https://pubs.rsc.org/en/content/articlelanding/2021/nr/d1nr90087k#!divAbstractA	2021年5月5日
4	シェンユニット マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット	シェン教授は、2021年のRoyal Society of Chemistry のフェローに選出された。	N/A	2021年5月
5	シェンユニット マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット	シェン教授は、短尺な規模による複雑流体の流れでの分岐及び不安定性に対する考察を深め、独創的なマイクロ流体実験をデザインした功績により、2021年のAPS フェローに選出された。	https://www.aps.org/programs/honors/fellowships/archive-all.cfm?unit_id=DFD	2021年11月
6	ウォルフユニット 生体分子電子顕微鏡解析ユニット	ウォルフ教授が、構造生物学分野における功績が認められ、Vorarlberg 科学賞を受賞した。	https://tida.oist.jp/tida-stories/professor-matthias-wolf-accepts-vorarlberg-science-award	2021年11月18日
7	ニコーマックユニット 量子技術のための光・物質相互作用ユニット	ニコーマック教授は、フランス LabEx PLAM 研究所の客員研究員に選出された。	N/A	2021年12月
8	ペーボ ユニット ヒト進化ゲノミクスユニット	ペーボ教授は、古代人のDNA解明の貢献が認められ、米国の生命科学分野におけるマスリー賞 (Massry Prize) を受賞した。	https://keck.usc.edu/massry-prize/current-laureates	2021年12月
9	クリスティーン・ラスカムユニット バイ共役ポリマーユニット	英国王立化学会が発行するChemicalScience誌の論文査読者として多大な貢献が認められ、クリスティーン・ラスカム教授が「優秀な論文査読者2021」に選出された。査読数、迅速性、査読内容のクオリティーが高い査読者に贈られる。	https://www.rsc.org/journals-books-databases/author-and-reviewer-hub/reviewer-information/outstanding-peer-reviewers/	2022年2月
10	クリスティーン・ラスカムユニット バイ共役ポリマーユニット	英国王立科学会が発行するEnergy and Environmental Science 誌において、reviewer (論文査読者) として多大な貢献を果たしたものとして、クリスティーン・ラスカム教授が「Outstanding Reviewers 2021」の一人に選出された。Outstanding Reviewersは、査読数、迅速性、査読内容のクオリティーによって選ばれた。	https://www.rsc.org/journals-books-databases/author-and-reviewer-hub/reviewer-information/outstanding-peer-reviewers/	2022年2月
11	根本ユニット 量子情報科学・技術ユニット	根本教授は、フランス共和国より国家功労勲章を受賞した。	https://jp.ambafrance.org/article17580	2022年3月2日
12	ホーエン ユニット 量子ビットと時空ユニット	テンプレート財団の資金提供のもと、「時空の量子情報構造 (QISS)」の第2フェーズの共同研究者として、ホーエン准教授率いる研究ユニットが選ばれた。オックスフォード大学、ペリメーター理論物理学研究所、ウィーン大学、オーストリア科学アカデミー、カリフォルニア大学サンタバーバラ校などの著名な研究者や研究所が含まれる。資金提供は2022年9月から3年間行われる。	https://www.qiss.fr/consortium/	2022年3月16日

受賞実績（教員以外の研究者）

No	研究ユニット	受賞者・受賞理由	URL	受賞日
1	田中ユニット 生体制御分子創製化学ユニット	サンタヌ・モンダル（博士課程学生）は、日本薬学会の第141年会学生優秀発表賞（ポスター発表の部）を受賞した。	https://confit.atlas.jp/guide/event/pharm141/static/prize?lang=ja	2021年4月
2	ニコーマックユニット 量子技術のための光・物質相互作用ユニット	ブルミス・テオドロス（博士課程学生）は、光学・フォトンクスまたはその関連分野への貢献が期待されるとして、光学とフォトンクスの国際学会であるSPIEから2021年光学・フォトンクス教育奨学金を受賞した。	https://spie.org/membership/student-services/scholarships/winners/2021-optics-and-photonics-education-scholarship-recipients	2021年5月
3	ウーシサーリユニット 神経活動リズムと運動遂行ユニット	イグナトフスカ・ヤンコフスカ・ボグナ博士（ポスドクフェロウ）は、2021年6月にイスラエルで開催された第31回国際カンナビノイド研究会シンポジウム（ICRS）の講演で、「博士研究員プレゼンテーション賞」を受賞した（オンライン参加）。	N/A	2021年6月
4	山本ユニット 細胞シグナルユニット	マイバス・アイスル（博士課程学生）は、優秀なRNA研究が認められ、RNA SOCIETY のRNA 2021 Poster賞を受賞した。	https://www.rnasociety.org/rna-2021-poster-prize-winners	2021年7月6日
5	カズ（田中）ユニット 記憶研究 ユニット	與世山倫可（博士課程学生）は、日本神経科学学会のジュニア研究者ポスター育成賞を受賞した。	N/A	2021年7月
6	横林ユニット 核酸化学・工学ユニット	福永圭佑博士（ポストドクトラルスカラー）は、甲南大学先端生命工学研究所のFIBER核酸化学若手講演賞を受賞した。	http://konan-fiber.jp/archives/2871	2021年8月5日
7	横林ユニット 核酸化学・工学ユニット	福永圭佑博士（ポストドクトラルスカラー）は、日本化学会 生体機能関連化学部会のバイオ関連化学シンポジウム講演賞を受賞した。	https://seitai.chemistry.or.jp/activity/	2021年9月
8	クスヌディノワユニット 錯体化学・触媒ユニット	デオルカ・シュプハム（博士課程学生）は、錯体化学会第71回討論会で、錯体化学会の学生講演賞を受賞した。	http://www.sakutai.jp/awardees/award-14	2021年10月19日
9	フロースユニット 身体性認知科学ユニット	ロドリゲス ジャミラ博士（研究補助員）は、"The Moral Roots of Quarantine: the East and the West" 学会での研究発表でベストアブストラクト賞を受賞した。	N/A	2021年12月
10	御手洗ユニット 海洋生態物理学ユニット	石川昂汰（博士課程学生）は、2022 Ocean Sciences MeetingよりRegistration Awardを受賞した。	N/A	2022年2月28日
11	エコノモユニット 生物多様性・複雑性研究ユニット	キヤス・ジェイミ博士（リサーチフェロー）は、今後優れた研究展開が期待できる研究者に贈られる、一般社団法人日本生態学会の日本生態学会奨励賞（鈴木賞）を受賞した。	https://esj.ne.jp/meeting/abst/69/prize_winners.html	2022年3月15日

令和4年度研究に関する受賞実績受賞実績(教員)

No.	研究ユニット	受賞者・受賞理由	URL	受賞日
1	マイヤーズ ユニット (生息・進化ゲノミクスアルゴリズム ユニット)	マイヤーズ教授(アジャント)は、国電気電子学会フランス・アレンメダルを受賞しました。	https://www.mpi-cbg.de/news-outreach/news-media/article/first-ieee-frances-e-allen-medal-for-eugene-myers-and-webb-miller	2022年5月6日
2	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学 ユニット)	ヤビン・チー教授は花王科学賞を受賞しました。	https://www.kao-foundation.or.jp/award/science/result/r3.html	2022年6月2日
3	嘉部 ユニット (有機光エレクトロニクス ユニット)	嘉部量太准教授は、有機素光を発見し、その機構解明を行っていることにより、日本画像学会コミニタ科学技術振興財団研究奨励賞を日本画像学会より受賞しました。	n/a	2022年6月22日
4	銅谷 ユニット (神経計算 ユニット)	琉球大学と沖縄科学技術大学院大学の研究グループによる電子情報通信学会ニューロコンピューティング研究会で2021年6月に発表した論文「Partial information decompositionを用いた大脳基底核の活動と過去の経験がラットの選択行動に与える影響」が、2022年度の日本神経回路学会最優秀研究賞を受賞しました。メンバーは杉浦伊織(琉球大学修士課程学生)、伊藤可(琉球大学修士課程学生)、銅谷寛治教授(OIST)、倉田耕治(琉球大学教授)、宮田龍太(琉球大学助教)です。	https://jnns.org/winner/2022%E%9B%4%E%9B%A%6/	2022年7月
5	高橋 ユニット (細胞分子シナプス機能 ユニット)	高橋智幸教授が生理学への卓越した貢献により、2022年国際生理科学連合(IUPS)のアカデミーフェローに選出されました。	https://www.iups.org/physiology/iups-academy-of-physiology/	2022年7月20日
6	河野 ユニット (膜生物学 ユニット)	河野恵子教授は酵母遺伝学フォーラムから酵母遺伝学フォーラム会長賞を授与されました。	https://www.yeast-forum.org/meeting_student.html	2022年9月9日
7	ロスティ ユニット (複雑流体・流動 ユニット)	ロスティエドアルドマルコ准教授は、実験と理論の両面から取り組む姿勢が高く評価され、今後益々の発展が期待できる研究者として、日本流体力学学会から専門賞を授与されました。	https://www.nagare.or.jp/en/awards.html	2022年9月21日
8	スティーブズ ユニット (理論生物物理学 ユニット)	グレッグ・スティーブズ教授がアメリカ物理学会のフェローに選出されました。	https://www.aps.org/programs/honors/fellowships/	2022年10月
9	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学ユニット ユニット)	ヤビン・チー 教授はクラリベイトから高被引用研究者の1 人に選ばれました。	https://clarivate.com/highly-cited-researchers/	2022年11月15日
10	ペーボ ユニット (ヒト進化ゲノミクスユニット ユニット)	スバンテ・ペーボ教授(アジャント)は、絶滅したヒトのゲノムと人類の進化に関する発見で、2022年のノーベル生理学・医学賞を受賞しました。	https://www.nobelprize.org/prizes/medicine/2022/press-release/	2022年12月1日
11	シッド ユニット (応用暗号 ユニット)	カルロス・シッド 教授は 国際サイバーセキュリティセンター 拠点 (INCS-CoE) のコミュニティーフェローに任命されました。	https://incs-coe.org/about/	2022年12月12日
12	リュウ ユニット (幾何学的偏微分方程式 ユニット)	柳青准教授は「退化を許す非線形放物型方程式の解の形状の解析」により第14回日本数学会函数方程式論分科会福原賞を受賞しました。	https://www.mathsoc.jp/section/dfe/index.html	2022年12月24日
13	クリスティーン・ラスカム ユニット (バイ共役ポリマー ユニット)	クリスティーン・ラスカム教授が2022年度高分子学会学術賞を受賞しました。 研究題目: 直接アリアル化および触媒移動に基づく縮合重合による半導体ポリマーの合成	https://main.spjs.or.jp/c15/gakujutsu/gakujutsuran.php	2023年2月23日
14	ピゴロッチ ユニット (生物複雑性 ユニット)	シモーネ・ピゴロッチ教授は、APSジャーナルの査読に卓越した貢献をした科学者として、Outstanding Referee programを受賞しました。	https://journals.aps.org/OutstandingReferees	2023年3月
15	クリスティーン・ラスカム ユニット (バイ共役ポリマー ユニット)	ポスター「The “step-growth” and “chain-growth” dilemma: Why we need to reconsider terminology used」が英国王立化学会主催の Global Twitter Poster Conference (材料分野)で1位を獲得しました。クリスティーン・ラスカム教授はポスター共著者の一人です。	https://www.rsc.org/our-events/rsc-poster/winners/#RSCMat	2023年3月17日

受賞実績(研究員・学生)

No.	研究ユニット	受賞者・受賞理由	URL	受賞日
1	ウーシサーリ ユニット (神経活動リズムと運動遂行 ユニット)	研究員のグウォダ博士は、日本神経科学学会の国際連携委員より、2022年度JNS-CNS Exchange Travel Awardプログラムに選出されました。	https://www.jnss.org/ete?id=220516-01&ampu=1c986208fa74cfdf52835fd65ee678&amp;c=2	2022年5月13日
2	ダニ ユニット (フェムト秒分光法 ユニット)	研究員のバグシカン フィルチレニ博士は「Terahertz Excitronics in Carbon Nanotubes: Exciton Autoionization and Multiplication」の論文功績により 大阪大学から「第16回大阪大学近藤賞(論文賞)」を受賞しました。	https://www.ile.osaka-u.ac.jp/ja/education/kondo-prize/list/index.html	2022年6月22日
3	岡田 ユニット (量子物質科学 ユニット)	研究員の藤澤唯太博士は2022年応用物理学会春季学術講演会で行った講演論文で講演奨励賞を受賞しました。	https://www.jsap.or.jp/young-scientist-presentation-award/recipients52	2022年9月
4	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学ユニット ユニット)	研究員の大野ルイス博士はクラリベイトから高被引用研究者の1 人に選ばれました。	https://clarivate.com/highly-cited-researchers/	2022年11月15日
5	シェン ユニット (マイクロ・バイオ・ナノ流体 ユニット)	ポルトドス サントス タティアナ博士はマリーキュリー欧州ポストドクフェローシップを獲得しました。	n/a	2023年2月
6	ジャンソン ユニット (量子理論 ユニット)	ホイナツキ レイリ(博士課程学生)は、2022年度強磁性国際学会のベストポスターアワードを受賞しました。	https://hfm2022.sciencesconf.org/	2022年6月22日
7	ウーシサーリ ユニット (神経活動リズムと運動遂行 ユニット)	サルバトーレ・ラカヴァ(博士課程学生)は、2022年度のNCM(Neural Control of Movement)学会において、Satellite Meeting Travel Awardを受賞しました。	n/a	2022年7月
8	ラウリーノ ユニット (タンパク質工学・進化 ユニット)	神初 弾(博士課程学生)は、サンフランシスコで開催された第36回Protein Society Annual Symposiumにてポスター賞を受賞しました。	n/a	2022年7月8日
9	ジャンソン ユニット (量子理論 ユニット)	ホイナツキ レイリ(博士課程学生)は、第29回低温物理学国際学会のベストポスターアワードを受賞しました。	https://www.lt29.jp/prizes_awards.html	2022年8月22日
10	トゥウムリー ユニット (量子マシン ユニット)	タチャナ・アイコブレバ(博士課程学生)は2022年8月18-24日に札幌で開催された“29th International Conference on Low Temperature Physics”にてベストポスター賞を受賞しました。	https://www.lt29.jp/prizes_awards.html	2022年8月24日
11	ラウリーノ ユニット (タンパク質工学・進化 ユニット)	落合佳樹(博士課程学生)は、第62回生命科学夏の学校にて、“祖先再構成法によるDNA/RNAアデニンメチル化酵素の機能変遷の追跡”の口頭発表を行いベストプレゼンテーション賞を受賞しました。	n/a	2022年8月26-28日
12	ニコマック ユニット (量子技術のための光・物質相互作用 ユニット)	前田真貴(博士課程学生)は応用物理学会 第7回フォトニクスワークショップにて優秀ポスター賞を受賞しました。	https://annex.jsap.or.jp/photronics/en/event-schedule/221125-1126	2022年11月26日
13	河野 ユニット (膜生物学 ユニット)	須田晃治郎(博士課程学生)は、第45回日本分子生物学会年会における優秀な発表に対して、日本分子生物学会よりMBSJ2022 サイエンスピッチアワードを受賞しました。	https://www.mbsj.jp/meetings/annual/2022/science_pitch_award.pdf	2022年12月2日
14	河野 ユニット (膜生物学 ユニット)	須田晃治郎(博士課程学生)は、第45回日本分子生物学会年会での優れた発表に対して、欧州分子生物学会よりEMBO Science Pitch Prizeを受賞しました。	https://www.mbsj.jp/meetings/annual/2022/embo_science_pitch_prize.pdf	2022年12月2日
15	御手洗 ユニット (海洋生態物理学 ユニット)	オーティス プラナー(博士課程学生)は2022年12月19日、英国エディンバラで開催されたBritish Ecological Society Meeting 2022にて、最優秀学生発表賞を受賞しました。	n/a	2022年12月19日
16	ブーギニョン ユニット (進化ゲノミクス ユニット)	菊池顕生(博士課程学生)は、日本生態学会第70回全国大会英語口頭発表 ベストプレゼンテーション賞を受賞しました。	https://www.esj.ne.jp/esj/award/epa/list.html	2023年3月1日
17	ダニ ユニット (フェムト秒分光法 ユニット)	ビベック バリック(博士課程学生)はDivision of Material Physics (DMP), APS March meeting 2023よりオプティクス学生旅行賞を受賞しました。	https://engage.aps.org/dmp/honors/prizes-awards/student-travel-awards	2023年3月7日

令和5年度研究に関する受賞実績受賞実績(教員)

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
1	クリスティーヌ・ラスカム ユニット (パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーヌ・ラスカム	Materials Horizons誌・2022年優秀レビュー賞	クリスティーヌ・ラスカム教授が筆頭著者である論文“Organic building blocks at inorganic nanomaterial interfaces”が、英国王立化学会の「Materials Horizons Outstanding Review Winner 2022」に選ばれました。	https://www.rsc.org/journals-books-databases/about-journals/materials-horizons/outstanding-paper-award-of-materials-horizons/	2023年4月25日
2	ニコーマック ユニット (量子技術のための光・物質相互作用ユニット)	シーレ・ニコーマック	ケムニッツ工科大学客員研究員賞	シーレ・ニコーマック教授はケムニッツ工科大学から研究パートナーシップの確立を評価され、客員研究員賞を受賞しました。		2023年5月16日
3	合田 ユニット (シナプス生物学ユニット)	合田裕紀子	欧州分子生物学機構Associate Member	欧州分子生物学機構 (EMBO) のAssociate Memberに合田裕紀子教授が選出されました。	https://www.embo.org/people/connecting-minds/	2023年7月4日
4	クリスティーヌ・ラスカム ユニット (パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーヌ・ラスカム	Nanoscale誌・優秀査読者2022	英国王立化学会 (Royal Society of Chemistry) が発行するNanoscale誌において、reviewer (論文査読者) として多大な貢献を果たしたものとして、クリスティーヌ・ラスカム教授が“Outstanding Reviewers 2022”の一人に選出されました。Outstanding Reviewersは、査読数、迅速性、査読内容のクオリティによって選ばれます。	https://pubs.rsc.org/en/content/articlelanding/2023/nr/d3nr90105j	2023年7月6日
5	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学ユニット)	ヤビン・チー	AVSフェロー	ヤビン・チー教授は、AVSの関心分野における継続的かつ顕著な貢献により、米国真空学会 (AVS) のフェローに選出されました。	https://avs.org/awards/society-honors/fellow-of-the-society/	2023年8月
6	ウーシサーリ ユニット (神経活動リズムと運動遂行ユニット)	マリルカ・ヨエ・ウーシサーリ	優秀プレゼンテーション特別賞	マリルカ・ヨエ・ウーシサーリ准教授と、博士課程学生のデヴィアナ・デイヴィッドさんは、2023年8月に米国で行われた「ゴードン・リサーチ・カンファレンス」学会において、優秀プレゼンテーション特別賞を受賞しました。		2023年8月
7	シェン ユニット (マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット)	エイミー・シェン	2022ウォルターズブライズ	エイミー・シェン教授とユニットメンバーのスタイリアノス・ヴァルカハニス博士、サイモン・ハワード博士は、論文によりウォルターズブライズを受賞しました。		2023年8月3日
8	パオラ ユニット (タンパク質工学・進化ユニット)	パオラ・ラウリーノ	ChemBioTalentに特集	パオラ・ラウリーノ准教授は、4年に1度発行されるChemBioTalentジャーナルで特集されました。このジャーナルは才能のある若手生物化学研究者を取り上げるものです。		2023年8月7日
9	深井 ユニット (神経情報・脳計算ユニット)	深井朋樹	2023年度日本神経回路学会学術賞	深井朋樹教授は、長年に亘って神経回路学分野の発展に貢献した研究者に贈られる、2023年度日本神経回路学会 (JNNS) 学術賞を授与されました。	https://jnns.org/winner/2023%e5%b9%b4%e5%ba%a6/	2023年9月6日
10	ペーボ ユニット (ヒト進化ゲノミクスユニット)	スバンテ・ペーボ	アメリカ自然史博物館名誉博士号	古代ネアンデルタール人のDNA塩基配列の解読など、驚異的な業績により2022年にノーベル賞を受賞した古遺伝学のパイオニア、スバンテ・ペーボ教授 (アジャンクト) にアメリカ自然史博物館より名誉科学博士号が授与されました。	https://www.amnh.org/about/press-center/richard-gilder-graduate-school-commencement-2023	2023年9月27日
11	ペーボ ユニット (ヒト進化ゲノミクスユニット)	スバンテ・ペーボ	中国科学院外国人会員	スバンテ・ペーボ教授 (アジャンクト) が、中国北京の中国科学院から外国人会員の称号を授与されました。	http://casad.cas.cn/ysxx2022/wjys/202312/t20231205_4990333.html	2023年10月
12	ペーボ ユニット (ヒト進化ゲノミクスユニット)	スバンテ・ペーボ	ウプサラ大学2023年最優秀学友賞	2022年にノーベル生理学・医学賞を受賞したスバンテ・ペーボ教授 (アジャンクト) に対し、ウプサラ大学2023年最優秀学友賞が贈られました。	https://www.uu.se/en/about-uu/academic-traditions/traditions/alumnus-of-the-year	2023年10月9日

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
13	ダニ ユニット (フェムト秒分光法ユニット)	ケシャヴ・ダニ	Falling Walls Science Breakthrough in Physical Science, Winners 2023	ケシャヴ・ダニ教授はThe Falling Walls Foundationより「暗い励起子」の視覚化に成功した実績により Winner 2023 Falling Walls Science Breakthrough in Physical Science を受賞しました。	https://falling-walls.com/science-summit/winners/	2023年11月9日
14	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学ユニット)	ヤビン・チー	クラリベイト高被引用研究者賞	ヤビン・チー教授は、その影響力のある研究成果により、クラリベイトの高被引用研究者として認められました。	https://clarivate.com/highly-cited-researchers/	2023年11月15日
15	クリスティーン・ラスカム ユニット (パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーン・ラスカム	IUPAC (国際純正・応用化学連合) 理事就任	クリスティーン・ラスカム教授がIUPAC (国際純正・応用化学連合) の理事へ就任されました。	https://iupac.org/2023-nominees-for-election-of-iupac-officers-executive-and-science-boards/	2024年1月
16	クリスティーン・ラスカム ユニット (パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーン・ラスカム	Materials Research Society 理事就任	クリスティーン・ラスカム教授がMaterials Research Societyの理事へ就任されました。	https://www.mrs.org/about-mrs/governance/board-of-directors	2024年1月
17	エカート ユニット (量子情報セキュリティユニット)	アーサー・エカート	The Royal Society Milner Award and Lecture	この賞は、ヨーロッパの傑出したコンピュータ科学者、多大な貢献をし、さらにトップレベルの業績を残すと思われる人物を表彰するために授与されるもので、この度アーサー・エカート教授 (アジャクト) が受賞しました。	https://royalsociety.org/medals-and-prizes/milner-award/	2024年1月
18	成田 ユニット (有機・炭素ナノ材料ユニット)	成田 明光	JAFOE Best Speaker Award	成田 明光教授は2023年7月18日から20日に開催された第16回日米先端工学 (JAFOE) シンポジウムにおける優れた講演により日本工学アカデミーと全米工学アカデミーからBest Speaker Awardを授与されました。	https://www.eaj.or.jp/?p=13454; https://www.eaj.or.jp/?ai1ec_event=event-20240118-jafoe-award2023	2024年1月18日
19	クリスティーン・ラスカム ユニット (パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーン・ラスカム	Industrial Chemistry and Materials誌 優秀査読者 2023	英国王立化学会 (Royal Society of Chemistry) が発行するIndustrial Chemistry and Materials誌において、reviewer (論文査読者) として多大な貢献を果たしたものとして、クリスティーン・ラスカム教授が "Outstanding Reviewers 2023" の一人に選出されました。Outstanding Reviewersは、査読数、迅速性、査読内容のクオリティによって選ばれます。	https://blogs.rsc.org/im/2024/02/05/congratulations-industrial-chemistry-materials-outstanding-reviewers-2023/?doing_wp_cron=170	2024年2月5日
20	ダニ ユニット (フェムト秒分光法ユニット)	ケシャヴ・ダニ	第20回 (令和5年度) 日本学術振興会賞	ダニ・ケシャヴ教授は、第20回 (令和5年度) 日本学術振興会賞を「実空間および運動量空間における光励起現象の可視化」の功績により受賞した。	https://www.jsps.go.jp/j-jspz-prize/kettei.html	2024年3月7日
21	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学ユニット)	ヤビン・チー	日本学術振興会賞	ヤビン・チー教授は、表面科学とペロブスカイト太陽電池への顕著な貢献により、日本学術振興会より日本学術振興会賞を受賞しました。	https://www.jsps.go.jp/j-jspz-prize/kettei.html	2024年3月7日
22	アミテージ ユニット (統合群集生態学ユニット)	デイヴィッド・アミテージ	日本生態学会宮地賞	日本生態学会宮地賞は、生態学に大きな貢献をしている本学会の若手会員に対して、その研究業績を表彰するものです。	https://www.esj.ne.jp/esj/award/index.html	2024年3月18日

受賞実績(研究員・学生)

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
1	ウーシサーリ ユニット (神経活動リズムと運動遂行ユニット)	イグナトフスカ ヤンコフスカ ボグナ (研究員)	2023年度ICRS研究助成賞	ポストドクのイグナトフスカ ヤンコフスカ ボグナ博士は、国際カナピノイド学会の「2023年度研究助成賞 (450米ドル)」を受賞しました。		2023年5月1日
2	シェン ユニット (マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット)	安倍紘平 (日本学術振興会特別研究員)	第13回アジアコーティングワークショップにて金賞	日本学術振興会特別研究員の安倍紘平博士は第13回アジアコーティングワークショップにて "In-situ measurement of particle-concentration profiles in a drying suspension with optical coherence tomography" と題した発表を行い金賞を受賞しました。		2023年5月12日

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
3	新竹 ユニット (量子波光学顕微鏡ユニット)	安谷屋秀仁 (技術員)	顕微鏡学会編集委員賞	安谷屋秀仁博士 (技術員) が筆頭著者である、顕微鏡学会発行の"Microscopy" Vol.72 に掲載された"Low-energy scanning transmission electron microscopy applied to ice-embedded biological macromolecules" が、顕微鏡学会編集委員賞に選出されました。	https://doi.org/10.1093/jmicro/dfac056	2023年6月
4	ラウデット ユニット (海洋生態進化発生生物学ユニット)	柏本理緒 (博士課程学生)	日本動物学会 Zoological Science Award 2023 (論文賞)	博士課程学生の柏本理緒さんは、公益社団法人日本動物学会のZoological Science Award (論文賞) を受賞しました。 *Zoological Science Awardとは、年度内にZoological Scienceに掲載された論文のうち、特に優れた研究に対して贈られるものです。	https://www.zoology.or.jp/news/230617_zoological-science-award-2023	2023年6月17日
5	パオラ ユニット (タンパク質工学・進化ユニット)	落合佳樹 (博士課程学生)	日本生化学会九州支部例会ポスター賞	博士課程学生落合佳樹さんは令和5年日本生化学会九州支部例会でポスター賞を受賞しました。		2023年6月24日
6	パオラ ユニット (タンパク質工学・進化ユニット)	アレッサンドロ・ベピラクア (博士課程学生)	分子生物進化学会からの奨学金	分子生物進化学会のカンファレンスに参加費用と旅費を補助する奨学金を授与されました。		2023年7月11日
7	パオラ ユニット (タンパク質工学・進化ユニット)	落合佳樹 (博士課程学生)	プロテイン・ソサイエティ若手研究員トラベルアワード	第37回プロテイン・ソサイエティの学会でトラベルアワードを受賞しました。		2023年7月16日
8	エコノモ ユニット (生物多様性・複雑性研究ユニット)	水野理央 (研究員)	第25回大会 ポストドクトル発表賞	水野理央博士 (ポストドクトラルスカラー) は、進化学の発展に寄与する研究を行っていることから、日本進化学会第25回沖縄大会から第25回大会ポストドクトル発表賞優秀賞を授与されました。	http://sesj.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=41048#an1	2023年9月2日
9	サイエンス・テクノロジー・グループ	太田緑 (研究員)	トラベルアワード	トルコ開催EMBOワークショップのためのトラベルアワードを受賞しました。	https://meetings.embo.org/event/23-centrosomes	2023年9月26日
10	サイエンス・テクノロジー・グループ	太田緑 (研究員)	ベストポスター賞	トルコ開催EMBOワークショップにて、ベストポスター賞を受賞しました。	https://meetings.embo.org/event/23-centrosomes	2023年9月29日
11	エコノモ ユニット (生物多様性・複雑性研究ユニット)	レオナルド・トゼット (博士課程学生)	第26回シンポジウム・デ・ミルメロロジャ：国際アリ会議2023、マナウス、アマゾナス、ベストオーラルプレゼンテーション賞	レオナルド・トゼットさん (博士課程学生) は、アリの変態期間中の体の発達における急激な変化の理解に寄与したこと、そしてこれまであまり探求されてこなかったアリの多様性と発達の新しい側面を発表したことが認められ、「第26回シンポジウム・デ・ミルメロロジャ：国際アリ会議2023、マナウス、アマゾナス (XXVI Simpósio de Mimerologia: An International Ant Meeting 2023, Manaus, Amazonas)」のベストオーラルプレゼンテーション賞を受賞しました。	https://mirmeco.com.br/main	2023年10月26日
12	横林 ユニット (核酸化学・工学ユニット)	サミュエル・ハウフ (研究員)	大塚賞 (ISNAC Outstanding Oral Presentation Award for Young Scientist)	ハウフ博士は第50回国際核酸化学シンポジウム (ISNAC 2023) における口頭発表において、大塚賞 (ISNAC Outstanding Oral Presentation Award for Young Scientist) を受賞しました。	https://web.apollon.nta.co.jp/isnac2023/award_winners.html	2023年11月2日

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
13	チー ユニット (エネルギー材料と表面科学ユニット)	大野勝也 (研究員)	クラリベイト高被引用研究者賞	大野勝也博士は、その影響力のある研究成果により、クラリベイトの高被引用研究者として認められた。	https://clarivate.com/highly-cited-researchers/	2023年11月15日
14	パオラ ユニット (タンパク質工学・進化ユニット)	ベンジャミン・クリフトン (研究員)	日本生物物理学会若手招待講演賞	スタッフサイエンティストのクリフトン博士は生物物理学の発展に貢献する優秀な発表を行った会員に贈呈する若手招待講演賞を受賞しました。		2023年11月16日
15	根本 ユニット (量子情報科学・技術ユニット)	西尾真 (特別研究学生)	LOQCathon 2.0's Hackathon champions 第3位	特別研究学生の西尾真さんのTeam6は、フランス ハッカソンイベント LOQCathon 2.0において、優秀な発表として第3位に選ばれました。		2023年11月17日
16	河野 ユニット (膜生物学ユニット)	須田晃治郎 (博士課程学生)	ポスター賞	博士課程学生の須田晃治郎さんは、日中韓フォーサイトプログラム キックオフミーティングでの優れた発表に対して、日本学術振興会 日中韓フォーサイト事業部からポスター賞を受賞しました。	https://www.a3senescence2023jfc.jp/exchange/20231012/index.html	2024年1月12日
17	エコノモ ユニット (生物多様性・複雑性研究ユニット)	エイドリアン・リヒター (研究員)	第25回 R.J.H. Hintelmann 動物分類学賞	エイドリアン・リヒター博士 (リサーチフェロー) は、進化生物学 (特に動物学に焦点を当てたもので、動物分類学、系統学、古生物学、形態学、動物学、または動物地理学が含まれる) における優れた業績に対して、ミュンヘン州立動物園コレクション友の会 (Friends of the Zoological State Collection Munich) から第25回R.J.H. Hintelmann賞を受賞しました。	https://de.wikipedia.org/wiki/Hintelmann_Wissenschaftspreis https://freunde-zsm.de/aktivitaeten/	2024年1月12日
18	サラーン ユニット (大進化ユニット)	久保泰 (研究員)	古生物学会学術賞	スタッフサイエンティストの久保泰博士は「主竜形類を中心とした四肢動物の進化古生物学的・機能形態学的研究」に対して古生物学会から学術賞を授与されました。	https://www.palaeo-soc-japan.jp/awards/	2024年1月31日
19	パオラ ユニット (タンパク質工学・進化ユニット)	アレックスandro・ベビラクア (博士課程学生)	国際生化学・分子生物学連合トラベルアワード	博士課程学生のアレックスandro・ベビラクアさんは、ヤングサイエンティストフォーラムおよび欧州生化学会連盟の学会の参加費用となるトラベルアワードを授与されました。		2024年2月13日
20	トリップ ユニット (発達神経生物学ユニット)	イザベラ・ステファニア・ボレブスカ (博士課程学生)	最優秀ポスター・プレゼンテーション賞	博士課程学生のイザベラ・ステファニア・ボレブスカさんは、第15回HOPEミーティングにて日本学術振興会より最優秀ポスター・プレゼンテーション賞を受賞しました。	https://www.jsps.go.jp/j-hope/	2024年3月

令和6年度研究に関する受賞実績受賞実績(教員)

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
1	ダニユニット(フェムト秒分光法ユニット)	ケシャヴ ダニ	2025年度Opticaフェロー	ケシャヴ・ダニ教授は2025年度のOpticaフェローに選出されました。Opticaは、光学およびフォトニクス分野における世界有数の学会であり、今年は27カ国から121名が学会フェローに選出されました。	https://www.optica.org/get_involved/awards_and_honors/fellow_members/elected_fellows/2025_fellows/	2025年1月16日
2	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	エヴァン エコノモ	フロンティアズ・プラネット賞 日本代表チャンピオン	エヴァン・エコノモ教授は、既知および未発見のアリの生物多様性の世界的な分布に関する研究により、フロンティアズ・プラネット賞の日本代表チャンピオンに選出されました。	https://www.frontiersplanetprize.org/news/blog-post-title-four-93k9t-87bsr-ac4yh-m3ktl-cpyt3-93cnl-e2s6n-xd3kd-rhwkr-ztcnp-gdcd-d-yhz5-5by44	2024年4月22日
3	福永ユニット(知覚と行動の神経科学ユニット)	福永 泉美	応用物理学会論文賞 優秀論文賞	福永准教授は、脳表面での光遺伝学的刺激のための「接着可能な柔軟性を持つGaNベースのマイクロLEDアレイフィルム」に関する研究で、第46回(2024年度)の応用物理学会論文賞 優秀論文賞を受賞しました。	https://www.jsap.or.jp/outstanding-paper-award	2024年
4	クスヌディオワユニット(錯体化学・触媒ユニット)	ジュリア クスヌディオワ	Organometallics 優秀著者賞	ジュリア クスヌディオワ准教授は2024年のOrganometallics 優秀著者賞を受賞しました。この賞は、有機金属化学分野で重要な論文を執筆した研究者を称えるものです。	https://axial.acs.org/organometallic-chemistry/meet-julia-khusnutdinova-the-2024-organometallics-distinguished-author-award-winner	2024年
5	清光ユニット(細胞分裂動態ユニット)	清光 智美	ニコン最優秀JOICO賞	清光准教授は、「メダカ初期胚の協調的かつ神秘的な細胞分裂ダイナミクス」の研究によりNikon社による顕微鏡画像コンテストでニコン最優秀JOICO賞を受賞しました。		2025年4月1日
6	クリスティーヌ・ラスカムユニット(パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーヌ ラスカム	ジャン＝マリー・レーン賞	クリスティーヌ・ラスカム教授は、ジャン＝マリー・レーン賞(Jean-Marie Lehn Award)を受賞しました。この賞は、材料科学および工学の分野、特に高分子化学における革新的な研究で多大な貢献を果たしたことを評価したものです。	https://www.degruyter.com/document/doi/10.1515/ci-2024-0418/html?lang=en&srsId=AfmBOor5QoEYTYRZE9AcGtxKq6cjKYsL4dhoPJxGm6ioi2bf20LfLsQ	2024年
7	クリスティーヌ・ラスカムユニット(パイ共役ポリマーユニット)	クリスティーヌ ラスカム	優秀査読者	クリスティーヌ・ラスカム教授は、ジャーナル「Energy & Environmental Science」の優秀査読者(Outstanding Reviewer)として表彰されました。この賞は、エネルギーおよび環境科学分野での研究の質と信頼性を支える査読プロセスにおいて、重要な貢献を果たしたことを評価したものです。		2024年
8	マンロユニット(量子工学ユニット)	マンロ ウィリアム ジョン	SPIEシニアメンバーシップ	マンロ ウィリアム ジョン教授は、SPIEシニアメンバーシップ(SPIE Senior Membership)に認定されました。これは、光学およびフォトニクス分野での専門的な経験や貢献が認められた個人に与えられる称号です。	https://spie.org/membership/member-recognition/spie-senior-members	2024年7月26日
9	マイヤーズユニット(生態・進化ゲノミクス アルゴリズムユニット)	ジーン マイヤーズ	ザクセン州功労勲章	ジーン マイヤーズ 教授は、ザクセン自由州功労勲章(Order of Merit of the Free State of Saxony)を受賞しました。この勲章は、ドイツのザクセン州がその州や住民に対して顕著な貢献をした個人に授与する最高の荣誉です。	https://www.mpi-cbg.de/news-outreach/news-media/article/order-of-merit-of-the-free-state-of-saxony-awarded-to-eugene-myers#:~:text=The%20Saxon%20Order%20of%20Merit%20is%20the%20highest%20state%20honor,awarded%20on%20October%2027%2C%201997.	2024年10月1日
10	ニコーマックユニット(量子技術のための光・物質相互作用ユニット)	シーレ ニコーマック	SPIE シニアメンバーシップ	シーレ ニコーマック 教授は、専門的な経験、光学コミュニティやSPIEへの積極的な関わりが評価され、SPIE 上級会員に選出されました。	https://spie.org/membership/member-recognition/spie-senior-members	2024年
11	ペーボユニット(ヒト進化ゲノミクスユニット)	スバンテ ペーボ	名誉博士号	スバンテ ペーボ 教授は、リエージュ大学より名誉博士号を授与されました。	https://www.uliege.be/cms/c_20238949/en/svante-paabo-docteurs-honoris-causa	2024年12月17日
12	ペーボユニット(ヒト進化ゲノミクスユニット)	スバンテ ペーボ	名誉博士号	スバンテ ペーボ 教授は、オビエド大学より名誉博士号を授与されました。	https://www.uniovi.es/actualidad/noticias/-/asset_publisher/Ru0cAJNPrm1m/content/la-universidad-de-oviedo-inviste-como-doctor-honoris-causa-al-bi%25C3%25B3logo-molecular-sueco-svante-p%25C3%25A4%25C3%25A4bo	2024年4月19日
13	ロスティユニット(複雑流体・流動ユニット)	マルコ エドアルド ロスティ	Outstanding Reviewers 2023	マルコ エドアルド ロスティ 准教授は、2023年に「Outstanding Reviewers」賞を受賞しました。この賞は、学術誌における査読プロセスで高品質なレビューを提供し、研究の質を向上させた個人を称えるものです。彼の貢献は、特に流体力学分野の学術誌で評価されました。		2024年12月31日
14	シェンユニット(マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット)	エイミー シェン	Annual FLOW Lecturer	エイミーシェン教授は、「Annual FLOW Lecturer」として選ばれました。この称号は、流体力学や関連分野で卓越した研究を行い、講演を通じてその知識を共有する研究者に与えられるものです。		2025年1月1日
15	ソローシユニット(モデルベース進化ゲノミクスユニット)	ゲルゲイヤーノシュ ソローシ	ハンガリー科学アカデミー物理学賞	ゲルゲイヤーノシュ ソローシ 准教授は、ハンガリー科学アカデミーの物理学賞を受賞しました。この賞は、物理学分野での卓越した研究成果を称えるもので、彼の進化生物学や物理学的モデリングにおける貢献が評価されました。	https://mta.hu/kozgyules2024/a-fizika-fejlodesi-iranyai-video-az-mta-197-kozgyuleshez-kapcsolodo-tudomanyos-ulesrol-113743	2024年
16	ソローシユニット(モデルベース進化ゲノミクスユニット)	ゲルゲイヤーノシュ ソローシ	ピエール＝ジル・ド・ジェンヌ賞	ゲルゲイヤーノシュ ソローシ 准教授は、ピエール＝ジル・ド・ジェンヌ賞を受賞しました。この賞は、物理学や材料科学の分野で革新的な研究を行った研究者に授与されるものです。	https://dubrovnik.epfl.ch	2024年

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
17	山田ユニット(機械学習とデータ科学ユニット)	山田 誠	IEICE TC-IBISML研究会賞	山田 准教授は、IEICE TC-IBISML研究会賞を受賞しました。この賞は、情報論的学習理論と機械学習 (IBISML) 研究会で発表された優れた研究論文に対して授与されるものです。		2024年11月1日
18	杉山(矢崎)ユニット(臨界期の神経メカニズム研究ユニット)	杉山(矢崎) 陽子	塚原仲見記念賞	矢崎(杉山) 陽子氏は、塚原仲見記念賞を受賞しました。この賞は、生命科学分野で独創的な研究を行った50歳以下の研究者に贈られるもので、彼女の発声学習の神経メカニズムに関する研究が評価されました。	https://www.bs-f.jp/tsukahara_title.html	2024

受賞実績(研究員・学生)

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
1	ディークマンユニット(複雑性科学と進化ユニット)	影山 舜	ポスター賞	技術員の影山舜さんは、ウルム大学にてポスター賞を受賞しました。		2024年9月1日
2	銅谷ユニット(神経計算ユニット)	原 修平	COSYNE 学会渡航費	博士課程学生の原修平さんは、2024年にCOSYNE 学会渡航費を授与されました。	https://www.cosyne.org/travel-grants	2025年3月27日
3	銅谷ユニット(神経計算ユニット)	山内 直寛	若手育成道場 優秀発表賞	博士課程学生の山内直寛さんは、NEURO2024にて若手育成道場 優秀発表賞を受賞しました。	https://neuro2024.jnss.org/img/ExcellenceAward-Career%20Scientists.pdf	2024年7月24日
4	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	久高 愛実	女性研究者ポスター発表賞	研究補助員の久高愛実さんは、琉球諸島における樹皮に営巣するアリの系統的研究により、第27回国際昆虫学会議(ICE2024-International Congress of Entomology2024, Kyoto, Japan)で女性研究者ポスター発表賞を受賞しました。	https://ice2024.org/wp/wp-content/uploads/2024/08/Presentation-Award.pdf	2024年8月30日
5	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	カーツク ユリアン	メアリー・ライス最優秀講演賞(無脊椎動物学部門)	博士課程学生のユリアン・カーツクさんは、アリの大顎の巨大進化における捕食と多機能性に関する研究により、The Society for Integrative and Comparative Biology (SICB 2025, Atlanta, USA)の年次大会で最優秀講演賞であるメアリー・ライス賞を受賞しました。	https://sicb.org/sicb-news/congratulations-sicb-2025-bsp-winners/	2025年1月3日
6	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	ガウタム シュブハム	若手研究者ポスター発表賞	博士課程学生のシュブハム・ガウタムさんは、膜翅目昆虫の嗅覚受容体レパートリーの進化に関する研究で、第27回国際昆虫学会議(ICE2024-International Congress of Entomology2024, Kyoto, Japan)で若手研究者ポスター発表賞を受賞しました。	https://ice2024.org/wp/wp-content/uploads/2024/08/Presentation-Award.pdf	2024年8月30日
7	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	久高 愛実	若手研究者ポスター発表賞	研究補助員の久高愛実さんは、琉球諸島における樹皮に営巣するアリの系統的研究により、第27回国際昆虫学会議(ICE2024-International Congress of Entomology2024, Kyoto, Japan)で若手研究者ポスター発表賞を受賞しました。	https://ice2024.org/wp/wp-content/uploads/2024/08/Presentation-Award.pdf	2024年8月30日
8	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	水野 理央	若手研究者ポスター発表賞	ポストドクトラルスカラー水野理央さんは、非軍隊アリと軍隊アリの進化の比較研究により、第27回国際昆虫学会議(ICE2024-International Congress of Entomology2024, Kyoto, Japan)で若手研究者ポスター発表賞を受賞しました。	https://ice2024.org/wp/wp-content/uploads/2024/08/Presentation-Award.pdf	2024年8月30日
9	エコノモユニット(生物多様性・複雑性研究ユニット)	カーツク ユリアン	若手研究者口頭発表賞	博士課程学生のユリアン・カーツクさんは、アリの大顎の巨大進化における捕食と多機能性に関する研究により、第27回国際昆虫学会議(ICE2024-International Congress of Entomology2024, Kyoto, Japan)で若手研究者口頭発表賞を受賞しました。	https://ice2024.org/wp/wp-content/uploads/2024/08/Presentation-Award.pdf	2024年8月26日
10	エルコウスユニット(ネットワーク型量子デバイスユニット)	ゾン シン	NTT BRL奨学金	博士課程学生のゾン シンさんは、2024年に日本電信電話株式会社(Nippon Telegraph and Telephone Corporation)より、NTT BRL奨学金を授与されました。	https://group.ntt/en/	2024年12月1日
11	エルコウスユニット(ネットワーク型量子デバイスユニット)	ゾン シン	ポスター賞	博士課程学生のゾン シンさんは、国際シンポジウムQuantum Innovation 2024にてポスター賞を受賞しました。	https://quantum-innovation.riken.jp/	2024年10月24日
12	エルコウスユニット(ネットワーク型量子デバイスユニット)	マヌエル ゴウラオ	Vencer o Adamastor 賞	ポストドクトラルスカラーのマヌエル ゴウラオさんはVencer o Adamastor 賞を受賞しました。この賞は、情報通信技術分野の若手科学者による革新的な研究を認識するためのものです。	https://tecnico.ulisboa.pt/en/events/vencer-o-adamastor-award-ceremony-2/	2024年7月23日
13	福永ユニット(知覚と行動の神経科学ユニット)	ロイシュンバッハ ヨセフィーヌ	二酸化炭素排出除去に関する大会にてファイナリストに選出	博士課程学生のロイシュンバッハ ヨセフィーヌさんは、ニューヨークで開催された二酸化炭素排出除去に関する大会ヘチームで応募、ファイナリストに選出されました。	https://openaircollective.com/2024crc/	2024年5月21日
14	ホーエンユニット(量子ビットと時空ユニット)	ドゥ ヴェスト ジュリアン	IOP 優秀査読賞 2024	博士課程学生のルー ウェン シンさんは、IOP優秀査読賞2024を受賞しました。	https://accreditations.ioppublishing.org/46920e82-a7e6-4b10-ac02-8d02dc25cf87#acc.5DTRiYyl	2025年3月1日
15	フスニックユニット(進化・細胞・共生の生物学ユニット)	ブア ヨン ヘン	ポスター優秀賞	博士課程学生のブア ヨン ヘンさんは、欧州分子生物学機構の超構造膨張顕微鏡法ワークショップにてポスター優秀賞を受賞しました。	https://www.embl.org/about/info/course-and-conference-office/events/eic24-02/	2024年
16	フスニックユニット(進化・細胞・共生の生物学ユニット)	島 堯杜	ポスター優秀賞	リサーチインターンの島堯杜さんは、アジア微生物生態シンポジウムにてポスター優秀賞を受賞しました。	https://sites.google.com/view/asme2024-taipei/home	2024年
17	フスニックユニット(進化・細胞・共生の生物学ユニット)	ブア ヨン ヘン	ポスター優秀賞	博士課程学生ブア ヨン ヘンさんは、CGUE単細胞真核生物会議にてポスター優秀賞を受賞しました。	https://www.mbl.edu/research/research-centers/josephine-bay-paul-center/2024-cgue-conference-unicellular-eukaryotes	2024年
18	フスニックユニット(進化・細胞・共生の生物学ユニット)	島 堯杜	口頭発表優秀賞	リサーチインターンの島堯杜さんは、第37回一般社団法人日本機械学会流体工学部門会議にて口頭発表優秀賞を受賞しました。	https://2024.jsme-conference.net/	2024年

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
19	フスニックユニット(進化・細胞・共生の生物学ユニット)	エミアネンコ ベラ	口頭発表優秀賞	博士課程学生のエミアネンコ ベラさんは第15回国際カイアシ類学会にて口頭発表優秀賞を受賞しました。	https://www.google.com/url?sa=t&source=web&rc=tj&opi=89978449&url=https://www.facebook.com/p/15th-International-Conference-on-Copepoda-100069929739686/&ved=2ahUKEwj14Nj30tGLAxUyfvUHHa_BA9cQFnoECBYQAQ&usg=AOvVaw0wMY8jFD1xQckg_M5Uix1d	2024年
20	河野ユニット(膜生物学ユニット)	グラシッチ ヤン	A3フォーサイトミーティング最優秀ポスター賞	博士課程学生のグラシッチ ヤンさんは、延世大学校および大邱慶北科学技術院(韓国)にてA3フォーサイトミーティング最優秀ポスター賞を受賞しました。		2025年3月9日
21	河野ユニット(膜生物学ユニット)	グラシッチ ヤン	RAM Blitz Talk 優勝者	博士課程学生のグラシッチ ヤンさんは、OISTリサーチコミュニティにてRAM Blitz Talk 優勝者として表彰されました。	https://www.oist.jp/events/ram2024-blitz-talks	2024年10月4日
22	コンスタンチノフユニット(量子ダイナミクスユニット)	イップ カ エイ	Quantum Innovation 2024 Poster Presentation Awards for Young Researchers	博士課程学生のイップ カ エイさんは、国際シンポジウムQuantum Innovation 2024にて若手研究者ポスター発表賞を受賞しました。		2024年
23	ラウリーノユニット(タンパク質工学・進化ユニット)	クリフトン ベンジャミン	Excellent Presentation Award	スタッフサイエンティストのクリフトン ベンジャミンさんは日本微生物生態学会にて優秀発表者賞を受賞しました。		2024年
24	ラウリーノユニット(タンパク質工学・進化ユニット)	神初 弾	特別研究員奨励金	博士課程学生の神初弾さんは、日本学術振興会より特別研究員奨励金を授与されました。		2024年
25	ラウリーノユニット(タンパク質工学・進化ユニット)	マタイ パウル	Benjamin Walther Stipendium 奨学金	リサーチフェローのマタイ パウルさんは、ドイツ研究振興協会よりBenjamin Walther Stipendium奨学金を授与されました。		2024年
26	ラウリーノユニット(タンパク質工学・進化ユニット)	グウチ エイミー スタントン	ポスター賞銅賞	博士課程学生のグウチ エイミー スタントンさんは、環境バイオテクノロジー分野においてJ.C.バンター研究所よりポスター賞(銅賞)を受賞しました。		2024年
27	ラウリーノユニット(タンパク質工学・進化ユニット)	落合 佳樹	優秀ポスター発表賞	博士課程学生の落合佳樹さんは、第64回生物物理若手の会 夏の学校にて優秀ポスター発表賞を受賞しました。		2024年
28	ラウリーノユニット(タンパク質工学・進化ユニット)	落合 佳樹	BPS2025 トラベルアワード	博士課程学生の落合佳樹さんは、生物物理学会よりBPS2025トラベルアワードを受賞しました。		2024年
29	ミラーユニット(物理生物学ユニット)	ジフチャコヴァ ルツィア	CephNeuro 2024トラベルアワード	ポストドクトラルスカラーのジフチャコヴァ ルツィアさんは、CephNeuro 2024トラベルアワードを受賞しました。		2024年4月18日
30	ニコーマックユニット(量子技術のための光・物質相互作用ユニット)	ジャラルディーン モハンメド ズィア	ベストポスター賞	博士課程学生のジャラルディーン モハンメド ズィアさんはWOMA 2024学会でベストポスター賞を受賞しました。		2024年11月29日
31	ペーボユニット(ヒト進化ゲノクスユニット)	リキン ユ	若手研究者トミー賞	ポストドクトラルスカラーのリキン ユさんは、30th EAJS-Taipeiにて優れた若手研究者に贈られるトミー賞を受賞しました。		2024年10月1日
32	ペーボユニット(ヒト進化ゲノクスユニット)	ジュ シアンチュン	若手研究者トミー賞	ポストドクトラルスカラーのジュ シアンチュンさんは、30th EAJS-Taipeiにて優れた若手研究者に贈られるトミー賞を受賞しました。		2024年10月1日
33	ラバシユニット(海洋気候変動ユニット)	ハドソン カルム ジェームズ	欧州海洋生物資源センターイタリア(EMBRC-IT) Funded Access Call Award	博士課程学生のハドソン カルム ジェームズさんは、プロジェクト「将来の海洋状況の自然類似物を使用した海水酸性化がウニに与える影響理解」に対して欧州海洋生物資源センターイタリア(EMBRC-IT)より助成金を授与されました。		2024年4月1日
34	ラバシユニット(海洋気候変動ユニット)	ディエキセンス ニコラス	Revolutionizing Next-Generation Sequencing学会参加のための旅費補助	学際的ポストドクトラルフェローのディエキセンス ニコラスさんは、Revolutionizing Next-Generation Sequencing学会参加のための旅費補助金を授与されました。	https://www.vibconferences.be/events/revolutionizing-next-generation-sequencing-6th-edition	2025年3月19日
35	ロスティユニット(複雑流体・流動ユニット)	アモル ロドリゲス クリスティアン	国際HPCサマースクール参加の奨学金	博士課程学生のアモル ロドリゲス クリスティアンさんは、理化学研究所より国際HPCサマースクール参加の為の奨学金を授与されました。	https://www.ihpcss.org/index.html	2024年7月1日
36	ロスティユニット(複雑流体・流動ユニット)	フォッジ ロタ ジュリオ	the European Drag Reduction and Flow Control Meeting参加の奨学金	博士課程学生のフォッジ ロタ ジュリオさんは、ERCOTACよりthe European Drag Reduction and Flow Control Meeting参加の為の奨学金を授与されました。	https://www.oist.jp/research/research-units/cffu/presentations	2024年9月1日
37	ロスティユニット(複雑流体・流動ユニット)	小関 森恵	the European Drag Reduction and Flow Control Meeting参加の奨学金	博士課程学生の小関 森恵さんは、ERCOTACよりthe European Drag Reduction and Flow Control Meeting参加の為の奨学金を授与されました。	https://www.oist.jp/research/research-units/cffu/presentations	2025年9月1日
38	ロスティユニット(複雑流体・流動ユニット)	フォッジ ロタ ジュリオ	若手優秀発表賞	博士課程学生のフォッジ ロタ ジュリオさんは、一般社団法人日本機械学会流体工学部門より若手優秀発表賞を受賞しました。	https://www2.nagare.or.jp/nenkai2024/	2024年12月1日
39	サラーンユニット(大進化ユニット)	畑 晴陵	Editor's Choice(MDPI)	スタッフサイエンティストの畑晴陵さんは、MDPI(Multidisciplinary Digital Publishing Institute)の学術誌において、編集者が特に注目すべきと判断した論文を選定するEditor's Choiceに選出されました。	https://doi.org/10.3390/taxonomy3030021	2025年1月16日

No.	研究ユニット	受賞者	賞名等	受賞理由	URL	受賞日
40	サラーンユニット(大進化ユニット)	畑 晴陵	日本魚類学会奨励賞	スタッフサイエンティストの畑晴陵さんは、2024年度の日本魚類学会奨励賞を受賞しました。この賞は、魚類学分野で顕著な業績を挙げた研究者を称えるものです。	https://www.fish-isj.jp/about/award.html	2024年9月7日
41	シェンユニット(マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット)	シュテッフエン・レックテンヴァルト	最優秀ポスター賞	スタッフサイエンティストのシュテッフエン・レックテンヴァルトさんは、レオロジー学会の第95回年次大会で最優秀ポスター賞を受賞しました。		2024年10月13日
42	谷ユニット(認知脳ロボティクス研究ユニット)	カルロス オオヤマ エンヒッケ	第16回HOPEミーティング参加資格	ポストドクトラルスカラーのカルロス オオヤマ エンヒッケさんは、第16回日本学術振興会HOPEミーティングの参加者に選出されました。	https://www.jsps.go.jp/j-hope/hope16/gaiyou16.html	2024年12月4日
43	杉山(矢崎)ユニット(臨界期の神経メカニズム研究ユニット)	コモロスカ ムラー ヨアンナ	ベストプレゼンテーションアワード	博士研究員のコモロスカ ムラー ヨアンナさんは、安芸市で開催された第1回エリア会議において、最優秀発表賞を受賞しました。		2024年12月24日

添付資料3-1-5 Programs Initiative for Professional Development

OIST Innovation主催プログラム/OIST Innovation Programs		参加者数 / Number of Participants	開催日 / Date									
FY2021	Seminar: Pitching Your Science	30	2021/4/28	FY2023	Seminar: OIST Innovation Society - What Makes a Great Entrepreneur	70	2023/4/10	FY2024	Seminar: GreenTech Insights by Rik van Gorp	35	2024/4/12	
	Seminar: Intro to Entrepreneurship Training Program	5	2021/9/11		Networking: INO June Event FY2023 in Tokyo	60	2023/6/2		Networking: ASEAN TechCrossroads Mixer	100	2024/5/14	
	Workshop: Lean Startup Entrepreneurial Training Program	30	2021/9/11		Networking: Inspired Lab	50	2023/6/2		Networking: Impact Forum	20	2024/5/14	
	Seminar: Global Entrepreneurship Week: Meet the Innovation Supporters at OIST	25	2021/11/10		Workshop: Sustainable Transport Hackathon	25	2023/6/9		Seminar: Innovations along microscaled liquid-liquid interfaces	30	2024/5/14	
	Seminar: Panel discussion "The power of academia-industry collaborations on innovation"	96	2021/12/9		Networking: Startup Okinawa Night with AgVentures	70	2023/7/28		Networking: Suntory Networking Event	70	2024/5/22	
	Seminar: OIST Innovators Society - When and Why to Incorporate a Company	20	2022/2/3		Networking: Kyusoukai Kick-off Meeting	20	2023/8/18		Seminar: Fostering Academic-Industry Collaborations in Japan	30	2024/5/29	
	Seminar: OIST Innovator Society - How to Make a Capitalization Table	16	2022/2/10		Workshop: Communication Training by Scott Morgan	25	2023/8/28		Seminar: Suntory Researcher Visit Program - Debriefing Session	30	2024/6/17	
	Seminar: OIST Innovators Society - Non-Disclosure Agreements	14	2022/3/3		Workshop: Pitch Training for Startups by Scott Morgan	10	2023/8/28		Seminar: Harnessing the Power of Networking	30	2024/6/25	
	Seminar: OIST Innovators Society - How to Raise Startup Funding with Convertible Notes	11	2022/3/24									
	総参加者数 / Total Participants:		247			Seminar: Finance for Early Tech Startup-JP	8		2023/8/29	Networking: INO Event in Tokyo June 2024	100	2024/6/28
	FY2022	Seminar: Careers in Venture Capital for PhDs by UTEC	30		2022/4/11	Networking: OIST Innovation tea time	50		2023/9/7	Workshop: GIAC Ideathon	20	2024/7/4
		Seminar: OIST Innovators Society - Fireside chat with Lifetime Ventures	14		2022/4/14	Seminar: Introduction to Lean Startup	22		2023/9/8	Seminar: Expanding Your Startup in Southeast Asia	60	2024/7/31
		Seminar: OIST Innovators Society - Early-stage Recruiting and Compensation	9		2022/5/12	Workshop: Lean Startup - Boot Camp with PARKS	28		2023/9/8	Seminar: Key points in making a business plan	45	2024/8/8
		Networking: TDIC Salon Event May 2022	25		2022/5/21	Workshop: Lean Startup Program	30		2023/9/8	Networking: Council for Promotion of OIST (Kenmin Gaigi)	110	2024/8/21
		Seminar: OIST Innovators Society - Early-stage Recruiting Role Play	10		2022/5/26	Seminar: Finance for Early Tech Startup-EN	9		2023/9/12	Workshop: GIAC Ideathon Demo Day	40	2024/8/29
Seminar: OIST Innovators Society - Evaluating Startups		12	2022/6/2	Seminar: Venture Financing for Future Entrepreneurs	42	2023/9/25	Workshop: Ryudai x OIST Collaboration Workshop DAY 1	12	2024/8/29			
Networking: Htotsubashi MBA interns Information Session		30	2022/6/3	Seminar: Researcher Appreciation Month	50	2023/10/19	Networking: CIC Tokyo Pitch Event	170	2024/9/2			
Networking: AgVenture Lab-OIST Startup Event		70	2022/7/8	Networking: Meet-up with Stanford GSB Alumni	19	2023/10/24	Seminar: VC Mentoring Session	11	2024/9/2			
Seminar: Zeiss Career Session		16	2022/7/8	Workshop: OIST Deep Tech Entrepreneurship Training - Session 1	30	2023/11/1	Seminar: Intro to IP	15	2024/9/18			
Seminar: Zeiss Imaging Seminar		25	2022/7/8	Seminar: Training for Startup Grant	41	2023/11/7	Workshop: Ryudai x OIST Collaboration Workshop DAY 2	20	2024/9/25			
Seminar: Technology Transfer Webinar: Pitching Your Science		60	2022/7/22	Seminar: How to create a successful university startup	75	2023/11/8	Workshop: Lean Startup 2024 - Intro	15	2024/9/27			
Seminar: Science Commucation Trainings		14	2022/8/2	Workshop: OIST Deep Tech Entrepreneurship Training - Session 2	30	2023/11/8	Workshop: Lean Startup 2024 - Workshop	30	2024/9/27			
				Workshop: OIST Deep Tech Entrepreneurship Training - Session 3	30	2023/11/15	Seminar: Fireside Chat: James Higa Silicon Valley Entrepreneurs	60	2024/9/30			
				Workshop: Video editing	30	2023/11/15	Networking: Ryudai Summer Internship Debriefing Session @ RYULAB		2024/10/2			
Seminar: University IP Seminar		11	2022/8/10	Netwkring: Startup Synapse - Where researchers and startups connect-	85	2023/11/17	Networking: LINK-J Member's Meetup Academia Industry Collaboration Gathering!	40	2024/10/18			
Seminar: OIST Innovators Society - Entrepreneur talk - Fluigo	22	2022/9/8	Networking: INO Event Nov 2023	70	2023/11/17	Seminar: OIST Innovation Celebrates RAM	40	2024/10/25				
Workshop: Deep Tech Training - Founder's Dream & Deal (Intro class)	10	2022/9/16	Networking: INO Member Event	20	2023/11/17	Networking: INO Event FY2024 at OIST	70	2024/11/15				
Seminar: OIST Innovators Society Meeting: Angel Investing	22	2022/9/29	Workshop: CO2 Removal Challenge Hackathon	30	2023/12/2	Networking: Suntory Sip and Connect	100	2024/11/20				
Workshop: Fall 2022 Lean Startup Entrepreneurial Training	37	2022/9/30	Seminar: Go Austria Program by Advantage Austria	20	2023/12/6	Networking: Innovation created by OIST and Okinawa	58	2024/11/27				
						Seminar: OIST Innovation Society: Lessons on Succeeding with Early-Stage Venture	25	2024/12/3				
Workshop: Deep Tech Training	15	2022/10/3	Seminar: English Presentation	20	2023/12/7	Seminar: Chemistry and Optics of Semiconductor Manufacturing	65	2024/12/4				
Seminar: University IP	13	2022/10/13	Networking: POC Projects Showcase and Networking Event	40	2023/12/8	Seminar: Academic Collaborations with Startups and Big Pharma	50	2024/12/18				
Workshop: BRAVE GLOBAL Startup Boot Camp	30	2022/10/22	Seminar: Introduction to IP	71	2023/12/11	Seminar: The Human Phenotype Project	50	2024/12/20				
Seminar: OIST Innovators Society - Entrepreneur story - Estelle Ingenuity	12	2022/10/27	Networking: JAFCO Online Meetup	6	2023/12/13	Seminar: Sysmex Talk	40	2025/2/14				
Seminar: OIST Innovators Society - Ecoatoms	25	2022/11/4	Networking: OIST-Shibuya Uniting for Startup Success	38	2023/12/15	Seminar: Intro to IP	30	2025/2/27				
Networking: GEW OIST Startup Pitch	60	2022/11/17	Workshop: Startup Accelerator Bootcamp	40	2024/1/15	Networking: Keizai Doyuki Symposium 2025	54	2025/3/1				
Networking: INO Member Event	36	2022/11/17	Event: Okinawa Startups Taking on the Globe	70	2024/1/19	Seminar: VMS In-Person Mentors Meeting	20	2025/3/3				
Networking: GEW: Open House to Meet OIST Researchers	35	2022/11/18	Seminar: Dominik Steiner	20	2024/1/26	Seminar: OIST Innovation Society: Beyond Publishing: Turning Research into Impact	25	2025/3/5				
						総参加者数 / Total Participants: 1720						
Seminar: Accelerating biomedical science innovation: the SPARK model	35	2022/11/18	Networking: OIST x Okinawa Startup Ecosystem Meetup	30	2024/1/30							
Seminar: OIST Innovators Society: Accelerating Biomedical Science Innovation	25	2022/11/18	Networking: OIST-LINK-J x OIST Innovation	253	2024/1/30							
Networking: Okinawa Konwakai Poster Session	10	2023/1/18	Networking: OIST Innovation New Year's Networking	17	2024/2/2							
Seminar: OIST Innovators Society: Bringing medical devices to the market	26	2023/1/20	Networking: Teatime with Suntory	25	2024/2/6							
Networking: DBIC Dinner	40	2023/1/27	Seminar: Okinawa Medtech Seminar		2024/2/7							
Seminar: Design Seminar (DBIC & Danish Design Center)	25	2023/1/27	Seminar: OISTER Meetup #1: EF Polymer Yoshikawa	7	2024/2/8							
Networking: Stanford GSB Alumni Visit	9	2023/1/31	Workshop: OIST x NTT Joint Workshop	60	2024/2/8							
Networking: DNx Ventures	14	2023/2/7	Networking: Connecting Innovators and Communities	60	2024/2/9							
Networking: Sanjo Kogyokai	15	2023/2/10	Seminar: OISTER Meetup #2: Kanju Tech Alex	5	2024/2/15							
Workshop: Deep Tech Training - masterclass 2, session 1	10	2023/2/13	Seminar: OISTER Meetup #3: ekei Labs Bilal	7	2024/2/22							
Networking: Keidanren Bio-Industry Delegation	28	2023/2/22	Seminar: OISTER Meetup #4: GenomeMiner Nick	5	2024/2/29							
Workshop: Deep Tech Training - masterclass 2, session 2	10	2023/2/22	Networking: Okinawa Campus Idea Pitch Contest Finale	50	2024/3/1							
Workshop: Deep Tech Training - masterclass 3, session 1	10	2023/3/6	Seminar: Menopause in Your 40's	25	2024/3/6							
Networking: OIST Innovators Society - Coffee and Conversation Global Hands-on VC	15	2023/3/13										
Seminar: OIST Innovators Society: Sustainable Clothing	35	2023/3/17	Seminar: NEDO Debriefing Session @RYULAB	10	2024/3/11							
Workshop: Deep Tech Training - masterclass 3, session 2	10	2023/3/20	Workshop: Masterclass 1: Marketing and Branding	12	2024/3/11							
総参加者数 / Total Participants:		960		Seminar: VMS Mentor Training	20	2024/3/12						
				Seminar: OISTER Meetup #5: Lenovo Ryan Nakata	9	2024/3/14						
				Workshop: Masterclass 2: Negotiation strategies and tactics	8	2024/3/25						
				Workshop: Masterclass 3: Valuation, term sheets investment types	9	2024/3/26						
				Seminar: OISTER Meetup #6: Mitsubishi UFJ Trust and Banking Corp	7	2024/3/28						
総参加者数 / Total Participants:		1973										

添付資料3-1-5 Programs Initiative for Professional Development

Programs/initiatives for professional development facilitated by C-Hub

能力向上に係る取組 C-Hub主催

	Name of the program	Number of participation
2021		
	C-Hub Focus group	28
	Other professional talks	81
	Total	109
2022		
	Mini-Symposium "Inclusive/Inclusive Mentoring"	52
	Alumni Postdoc Career Talk	6
	Faculty Retreat 2022	16
	Peer Mentoring Circle	18
	The Japan-U.S. Science Communication & Policy Fellowship Network Program	4
	Consultations	11
	Gender Equality in Japan and Okinawa	9
	Postdoctoral Teaching Fellows Program	3
	Effective, fabulous poster presentations workshop	3
	Other professional talks	80
	Dean of Research-C-Hub Kakenhi Grant clinic Day1	23
	Total	225
2023		
	Symposium 2023 "Inclusive Leadership"	31
	Faculty Retreat 2023	29
	Teaching and Course Design Certificate program	41
	Peer Mentoring Circle	11
	Academic Job Market Series	69
	Other professional talks	49
	Consultations	131
	Total	361
2024		
	Symposium 2023 "Inclusive Communication"	19
	Faculty Retreat 2024	20
	Consultations	125
	New Postdoctoral Scholar Orientation	10
	Junior Faculty Roundtable	10
	Teaching and Course Design Certificate program	60
	Academic Job Market Series	61
	Non-Academic Job Market Series	51
	Peer Mentoring Circle	8
	Self Reflection Workshop	10
	Other professional talks	16
	Total	390
2025		
	Junior Faculty Roundtable	20
	Faculty Retreat 2025	14
	Teaching and Course Design Certificate program	42
	C-Hub Teaching and Course Design Certificate Bootcamp 2025	43
	Academic Job Market Series	10
	Non-Academic Job Market Series	8
	Self Reflection Workshop	2
	Other professional talks	10
	Consultations	27
	Total	188

開催年	プログラム名	教員・研究院の参加人数
2021		
	C-Hub 座談会（ニーズ分析）	28
	その他講演・ワークショップ	81
	総計	109
2022		
	ミニシンポジウム「インクルーシブ・メンタリング」	52
	ポスト卒業者によるキャリアアトーク	6
	教員リトリート2022	16
	ピア・メンタリング・サークル	18
	日米科学コミュニケーション&政策フェロシップ・ネットワークプログラム	4
	個別コンサルテーション	11
	日本および沖縄におけるジェンダー平等	9
	ポストドク向けティーチング・フェロー制度	3
	効果的素晴らしいポスター発表ワークショップ	3
	その他講演・ワークショップ	80
	研究担当ディーン・C-Hub主催：科研費クリニック	23
	総計	225
2023		
	シンポジウム2023「インクルーシブ・リーダーシップ」	31
	教員リトリート2023	29
	教育・授業デザイン認定プログラム	41
	ピア・メンタリング・サークル	11
	アカデミック・ジョブマーケット講座シリーズ	69
	その他の専門的な講演	49
	個別コンサルテーション	131
	総計	361
2024		
	シンポジウム2024「インクルーシブ・コミュニケーション」	19
	教員リトリート2024	20
	個別コンサルテーション	125
	新任ポストドク向けオリエンテーション	10
	若手教員ラウンドテーブル	10
	教育・授業デザイン認定プログラム	60
	アカデミア：就職支援シリーズ	61
	産業・企業：就職支援シリーズ	51
	ピア・メンタリング・サークル	8
	セルフ・リフレクション・ワークショップ	10
	その他講演・ワークショップ	16
	総計	390
2025	（1月～6月）	
	若手教員ラウンドテーブル	20
	教員リトリート2025	14
	教育・授業デザイン認定プログラム	42
	教育・授業デザイン認定プログラム・ブートキャンプ2025	43
	アカデミア：就職支援シリーズ	10
	産業・企業：就職支援シリーズ	8
	セルフ・リフレクション・ワークショップ	2
	その他講演・ワークショップ	10
	個別コンサルテーション	27
	総計	188

*Keyword: OIST Workshop

令和3年度OIST主催によるワークショップ

	開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数	内、リモート参加者	内海外参加者
1	延期	2021年5月24日	2021年5月28日	OISTワークショップ「距離空間における解析学」	OISTカンファレンス・センター	50	-	-	-
2	中止	2021年6月28日	2021年7月15日	OISTワークショップ「OIST計算神経科学コース2021」	OISTシーサイドハウス	50	-	-	-
3	中止	2021年7月30日	2021年8月13日	OISTワークショップ「OIST神経科学コース2021」	OISTカンファレンス・センター	50	-	-	-
4	延期	2021年9月20日	2021年9月24日	OISTワークショップ「Informational Architecture of Spacetime」	OISTシーサイドハウス	60	-	-	-
5	延期	2021年10月3日	2021年10月6日	OISTワークショップ「軸索変性および再生に関するOISTワークショップ」	OISTシーサイドハウス	60	-	-	-
6	延期	2021年10月25日	2021年10月28日	OISTワークショップ「手足の運動を制御する神経回路」	OISTメインキャンパス	60	-	-	-
7	延期	2021年11月1日	2021年11月5日	OISTワークショップ「身体性認知科学国際会議 (EcogS)」	OISTシーサイドハウス	50	-	-	-
8	延期	2021年11月22日	2021年11月26日	OISTワークショップ「応用トポロジ」	OISTカンファレンス・センター	50	-	-	-
9	延期	2021年12月14日	2021年12月19日	OISTワークショップ「ヘッケ代数の表現論と圏化理論の進展」	OISTメインキャンパス	60	-	-	-
10	延期	2022年1月11日	2022年1月13日	OIST Workshop "Recent trends in microrheology and microfluidics"					
11	延期	2022年1月24日	2022年1月28日	OISTワークショップ「細胞, エナジエティクス, 情報: 非平衡系の新しい視点」	OISTシーサイドハウス	50	-	-	-
12	中止	2022年2月7日	2022年2月11日	OISTワークショップ「生物群集解析のための生物多様性ゲノミクスの発展: 理論と実証アプローチの統合」	OISTシーサイドハウス	50	-	-	-
13	中止	2022年2月21日	2022年3月2日	OISTワークショップ「CEDA2021/2022」	OISTシーサイドハウス and メインキャンパス	50	-	-	-
14	延期	2022年3月7日	2022年3月11日	OISTワークショップ「光電子デバイス国際シンポジウム」	OISTカンファレンス・センター	60	-	-	-
					合計	-	-	-	-

*Keyword: OIST Mini Symposium

令和3年度開催のOIST主催によるミニシンポジウム

開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数	内、リモート参加者	内、リモート海外参加者	内、国不明(リモート参加者)
1 オンライン開催	2021年11月15日	2021年11月17日	OISTミニシンポジウム「進化分子工学による新規タンパク質の創出」	オンライン (Zoom)	-	88	88	49	5
2 延期	2021年11月30日	2021年12月2日	OISTミニシンポジウム「シロアリの細菌エコロジーと進化」	OISTメインキャンパス	15	-	-	-	-
3 中止	2022年1月6日	2022年1月7日	OISTミニシンポジウム「機能フォトニクスへのフロンティアの探求」	OISTシーサイドハウス	20	-	-	-	-
4 延期	2022年1月18日	2022年1月20日	OISTミニシンポジウム「ADHD動機づけ過程変動に関する研究エビデンスを基にした行動管理の実践応用に向けて: 新たな研究課題への展開」	OISTメインキャンパス	15	-	-	-	-
5 延期	2022年2月23日	2022年2月24日	OISTミニシンポジウム「神経回路の性的二型」	OISTメインキャンパス	15	-	-	-	-
6 延期	2022年3月15日	2022年3月17日	OISTミニシンポジウム「ソフトマターシステムの降伏と流れ」	OISTメインキャンパス	15	-	-	-	-
合計						88	88	49	5

*Keyword: OIST Jointly Funded WS, Acad/OIST Executive WS

令和3年度開催のOIST共催ワークショップ、エグゼクティブワークショップ

開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数	内、リモート参加者	内、リモート海外参加者	内、国不明(リモート参加者)
1 中止	2021年4月12日	2021年4月16日	Interdisciplinary Science Conference on Okinawa (ISCO-2020) — Physics and Mathematics meet Medical Science — (Kavli IPMU, RIKENとの合同シンポジウム)	OISTカンファレンス・センター	100	-	-	-	-
2 延期	2021年9月12日	2021年9月16日	Workshop on Advanced Spectroscopy and Transport for 2D Materials at Surfaces	OISTカンファレンス・センター	130	-	-	-	-
3 オンライン開催	2021年10月11日	2021年10月15日	RIMSxOIST合同ワークショップ「代数幾何と特異点における新潮流の相互作用」	オンライン (Zoom)	-	83	83	7	3
4 中止	2021年11月22日	2021年11月28日	EMBO Workshop “Library Design for Protein Engineering” *Postponed indefinitely*	OISTシーサイドハウス	30	-	-	-	-
5 延期	2021年12月9日	2021年12月12日	OIST共催ワークショップ「IEEE-NANOMED 2021学会に関する、バイオマイクロ流体工学・バイオプリンティングセッションとの共同提案」	OISTカンファレンス・センター	250	-	-	-	-
6 延期	2022年3月17日	2022年3月18日	Marine Microbial Diversity — Genomes to Communities	OISTメインキャンパス	40	-	-	-	-
7 中止	2022年3月21日	2022年3月25日	Information Security in the Quantum Age (ISQA)	OISTシーサイドハウス	50	-	-	-	-
合計						83	83	7	3

令和4年度OIST主催によるワークショップ

	開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	ハイブリッド	2022年4月12日	2022年4月14日	OISTワークショップ「日本冷却原子国際会議」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	225	40	185	97
2	ハイブリッド	2022年5月23日	2022年5月27日	OISTワークショップ「距離空間における解析学」	OISTカンファレンス・センター	非該当	75	12	63	27
3	オンライン	2022年5月30日	2022年6月3日	OISTワークショップ「Informational Architecture of Spacetime」	オンライン(Zoom)	非該当	124	0	124	100
4	オンライン	2022年6月6日	2022年6月9日	OISTワークショップ「細胞, エナジェティクス, 情報: 非平衡系の新しい視点」	オンライン(Zoom)	非該当	147	147	0	88
5	ハイブリッド	2022年6月13日	2022年6月29日	OISTワークショップ「OIST計算神経科学コース2022」	OISTシーサイドハウス	非該当	42	39	3	30
6	ハイブリッド	2022年7月4日	2022年7月5日	国際シンポジウム「人工知能と脳科学」2022	OISTカンファレンス・センター	非該当	756	149	607	260
7	ハイブリッド	2022年10月3日	2022年10月7日	OISTワークショップ「軸索変性および再生に関するOISTワークショップ」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	84	39	45	37
8	ハイブリッド	2022年11月7日	2022年11月11日	OISTワークショップ「身体性認知科学国際会議(ECogS)」	OISTシーサイドハウス	非該当	38	38	0	9
9	ハイブリッド	2023年1月10日	2023年1月12日	OISTワークショップ「マイクロレオロジーとマイクロ流体技術に関する近年の動向」	OISTメインキャンパス, OISTカンファレンス・センター及びOISTシーサイドハウス	非該当	40	40	0	11
10	ハイブリッド	2023年3月6日	2023年3月9日	OISTワークショップ「神経発生形成」	OISTカンファレンス・センター	非該当	43	41	2	22
11	会場開催	2023年3月20日	2023年3月24日	OISTワークショップ「トポロジー、可積分系、そして双対性 ~女性による研究会~」	OISTメインキャンパス	非該当	48	48	0	15
12	中止	2022年11月18日	2022年11月28日	OISTワークショップ「OIST神経科学コース2022」	OISTメインキャンパス	42	-	-	-	-
13	延期	2023年2月13日	2023年2月17日	OISTワークショップ「光電子デバイス国際シンポジウム」	OISTカンファレンス・センター	63	-	-	-	-
合計							1622	593	1029	696

令和4年度開催のOIST主催によるミニシンポジウム

	開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	会場開催	2022年11月29日	2022年12月1日	OISTミニシンポジウム「シロアリの細菌エコロジーと進化」	OISTメインキャンパス	非該当	19	19	0	10
2	会場開催	2023年1月25日	2023年1月27日	OISTミニシンポジウム「ADHD動機づけ過程変動に関する研究エビデンスを基にした行動管理の実践応用に向けて: 新たな研究課題への展開」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	17	17	0	7
3	会場開催	2023年2月28日	2023年3月2日	OISTミニシンポジウム「ソフトマターシステムの降伏と流れ」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	30	30	0	7
4	中止	2023年2月23日	2023年2月24日	OISTミニシンポジウム「神経回路の性的二型」	OISTメインキャンパス	15	-	-	-	-
合計							66	66	0	24

令和4年度開催のOIST共催ワークショップ

	開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	ハイブリッド	2022年9月18日	2022年9月21日	The 92nd IUVSTA workshop on Advanced Spectroscopy and Transport for 2D Materials at Surfaces and The 4th Asia-Pacific Symposium on Solid Surfaces (APSSS-4)	OISTカンファレンス・センター及びZoom	非該当	56	44	12	24
合計							56	44	12	24

令和5年度OIST主催によるワークショップ

	開催状況/開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	会場開催	2023年4月4日	2023年4月14日	OISTワークショップ「再帰、復活、組み合わせ論、おいで学会」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	50	50	0	22
2	会場開催	2023年5月30日	2023年6月2日	OISTワークショップ「Potential and random analysis in metric spaces」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	37	37	0	19
3	会場開催	2023年6月5日	2023年6月10日	OISTワークショップ「ヘッケ代数の表現論と圏化理論の進展」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	69	69	0	51
4	会場開催	2023年6月12日	2023年6月16日	OISTワークショップ「解析と偏微分方程式」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	38	38	0	16
5	会場開催	2023年6月19日	2023年7月6日	OISTワークショップ「OIST計算神経科学コース2023」	OISTシーサイドハウス	非該当	46	46	0	23
6	会場開催	2023年7月11日	2023年7月23日	OISTワークショップ「OIST神経科学コース2023」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	56	56	0	26
	中止	2023年7月26日	2023年7月28日	OISTワークショップ「シナプスシグナル機構の原理と睡眠制御」		65	-	-	-	-

7	ハイブリッド	2023年7月31日	2023年8月4日	OISTワークショップ「確率論から重力理論への共形理論の新しい潮流」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	26	24	2	11
8	ハイブリッド	2023年8月21日	2023年8月23日	OIST-RIKEN 合同脳シンポジウム	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	39	38	1	2
9	会場開催	2023年9月26日	2023年10月5日	OISTワークショップ「物理サマースクール おきなわ: コヒーレント量子ダイナミクス (2023)」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	85	85	0	40
10	会場開催	2023年10月17日	2023年10月24日	形態の進化的解析に関するOISTワークショップ	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	47	47	0	26
11	ハイブリッド	2023年11月6日	2023年11月9日	OISTワークショップ「タンパク質工学におけるライブラリデザイン」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	57	41	16	13
12	会場開催	2023年11月13日	2023年11月17日	OISTワークショップ「身体性認知科学国際会議 (ECogS)」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	51	51	0	28
13	会場開催	2023年11月27日	2023年12月1日	OISTワークショップ「量子機械のフィードバック制御」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	83	83	0	40
14	ハイブリッド	2024年1月15日	2024年1月18日	OISTワークショップ「偏微分方程式の幾何学的側面」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	106	41	65	23
	ハイブリッド	2024年1月29日	2024年2月2日	OISTワークショップ「応用トポロジ」	-		35	-	-	-
15	会場開催	2024年2月26日	2024年3月1日	OISTワークショップ「Manifolds in Nature」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	57	57	0	18
16	ハイブリッド	2024年3月5日	2024年3月8日	OISTワークショップ「手足の運動を制御する神経回路」	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	94	91	3	65
	延期	2024年3月11日	2024年3月15日	OISTワークショップ「光電子デバイス国際シンポジウム」	-		65	-	-	-
合計							941	854	87	423

令和5年度開催のOIST共催ワークショップ

	開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	会場参加	2023年12月5日	2023年12月8日	The 16th IEEE International Conference on Nano/Molecular Medicine and Engineering	OISTメインキャンパス及びOISTシーサイドハウス	非該当	222	222	0	193
合計							222	222	0	193

令和6年度OIST主催によるワークショップ

	開催状況/開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	会場開催	2024年4月9日	2024年4月12日	日本冷却原子国際会議	OISTシーサイドハウス	非該当	67	67	0	17
2	会場開催	2024年4月16日	2024年4月19日	乱流および混相流研究における現在の取り組み	OISTシーサイドハウス	非該当	48	48	0	24
3	会場開催	2024年5月28日	2024年5月31日	浮揚荷電粒子による量子技術	OISTシーサイドハウス	非該当	65	65	0	33
4	会場開催	2024年6月17日	2024年7月4日	OIST計算神経科学コース 2024	OISTシーサイドハウス	非該当	46	46	0	28
5	会場開催	2024年9月25日	2024年10月3日	物理サマースクール おきなわ: コヒーレント量子ダイナミクス (2024)	OISTメインキャンパス、シーサイドハウス	非該当	48	48	0	39
6	会場開催	2024年11月5日	2024年11月7日	進化から得るシナプス機構と神経ネットワーク制御の原理	OIST カンファレンス・センター	非該当	64	64	0	15
7	会場開催	2025年3月4日	2025年3月6日	OIST 機械学習ワークショップ	OIST カンファレンス・センター	非該当	69	69	0	23
8	ハイブリッド	2025年3月11日	2025年3月14日	今までの、そして今後の脊髄研究	OIST カンファレンス・センター	非該当	86	84	2	50
合計							493	491	2	229

令和6年度開催のパートナーシップワークショップ

	開催状況	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期されたイベントの予定参加者数	参加者数(リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者(リモート参加含む)
1	ハイブリッド	2024年4月22日	2024年4月26日	OIST-CNRS Joint Symposium on West Pacific Marine Biology	OIST カンファレンス・センター	非該当	150	148	2	79
2	会場開催	2024年7月29日	2024年8月10日	解析と偏微分方程式に関するSLMath-Oxford-OISTサマーワークショップ	OISTシーサイドハウス	非該当	49	49	0	30
3	会場開催	2024年10月6日	2024年10月10日	軸索変性および再生に関するワークショップ	OISTシーサイドハウス	非該当	82	82	0	66
4	会場開催	2024年10月21日	2024年10月25日	量子極限宇宙:物質、情報、重力	OIST カンファレンス・センター	非該当	199	199	0	94
5	会場開催	2024年11月11日	2024年11月15日	量子マテリアルから量子情報へ:トランススケール量子科学と量子マテリアル創成に関するシンポジウム	OISTシーサイドハウス	非該当	69	69	0	26
6	会場開催	2024年12月9日	2024年12月13日	シュレディンガーの猫 - 量子世界の端を見つける探求	OISTメインキャンパス	非該当	73	73	0	49
合計							150	148	2	79

令和6年度ユニット・AP・TSVP主催によるワークショップ

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	中止/延期された イベントの予定参 加者数	参加者数(リ モート参加含 む)	内、会場参加 者	内、リ モート参 加者	内、海外参加者 (リモート参加含 む)
1	ハイブリッ ド	2024年6月5日	2024年6月8日	OIST-JST-AIMR Joint International Symposium: Interaction between various chiral fields and chiral materials	OISTメインキャン パス	非該当	67	67	0	17
2	会場開催	2024年6月17日	2024年6月17日	JST創発自発的な融合の場 第3回分子生命反応 創発討論会	OISTメインキャン パス	非該当	48	48	0	24
3	ハイブリッ ド	2024年6月24日	2024年6月24日	TSVP: Transboundary Workshop on Human Augmentation and Open Lab	OISTメインキャン パス	非該当	65	65	0	33
4	会場開催	2024年7月8日	2024年7月10日	適応学習の神経調節: 生物学的ニューラルネット ワークと人工ニューラルネットワークの橋渡し	OISTメインキャン パス	非該当	46	46	0	28
5	会場開催	2024年10月1日	2024年10月1日	BBSRC UKAN Researchers on Ageing: Approaches to Ageing Issues	OISTメインキャン パス	非該当	48	48	0	39
6	会場開催	2024年11月22日	2024年11月22日	おきなわマリンサイエンスワークショップ	OISTメインキャン パス	非該当	97	97	0	0
7	会場開催	2024年11月27日	2024年11月27日	Collaborative Innovation for Sustainable Future through Advanced Materials Science	OISTメインキャン パス	非該当	45	45	0	0
8	会場開催	2024年11月27日	2024年11月27日	OIST-NanoLSI Joint Symposium "Exploring Uncharted Nanoscale Frontiers in Life Sciences"	OISTメインキャン パス	非該当	60	60	0	0
9	会場開催	2024年12月5日	2024年12月5日	グリーンモビリティ アイデアソン	OISTメインキャン パス	非該当	64	64	0	15
10	ハイブリッ ド	2025/01/27, Mon	2025/01/30, Thu	The 13th International Symposium on Dynamic Exciton (ISDyEx)	OISTメインキャン パス、シーサイドハ ウス	非該当	69	69	0	23
11	会場開催	2025年1月31日	2025年1月31日	OIST-KEIO SHOWCASE TALK シリーズ 7 - 科学 と社会の出会い: 生命科学における学際的アプ ローチの最前線	OISTメインキャン パス	非該当	86	84	2	50
合計							695	693	2	229

令和3年度OISTセクション・ユニット主催/共催及びOIST名義上共催学術会議

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数	内、リモート参加者	内、リモート海外参加者
1	ハイブリッド	2021年4月6日	2021年4月7日	OIST-RIKEN 1st Collaboration Symposium "Green and Blue Planet-How can ecological research shape our future?"	ハイブリッド (OIST カンファレンス・センター+)	167	66	1
2	オンライン	2021年6月1日	2021年6月1日	Quantum/Cyber Security Initiative	オンライン (Zoom)	200	200	-
3	ハイブリッド	2021年7月17日	2021年7月25日	SHIMA: Okinawa-Hawaii STEM Education Collaborative	ハイブリッド (OIST カンファレンス・センター+)	23	23	10
4	ハイブリッド	2021年10月6日	2021年10月7日	Kinds of Minds - what is thinking?- RIKEN-OIST Joint Symposium, Series 2	ハイブリッド (OIST カンファレンス・センター+)	252	201	0
5	オンライン	2021年10月11日	2021年10月12日	ADR2021: Axonal Degeneration and Regeneration Workshop	オンライン (Zoom)	72	80	60
6	オンライン	2021年10月21日	2021年12月13日	Catch-all Mathematical Colloquium of Japan	オンライン (Zoom)	130	130	-
7	ハイブリッド	2021年11月11日	2021年11月13日	日本動物実験代替法学会 第34回大会	ハイブリッド (OIST カンファレンス・センター+)	475	465	24
8	オンライン	2021年11月22日	2021年11月22日	第6回おきなわマリンサイエンスワークショップ	オンライン (Zoom)	90	90	0
9	ハイブリッド	2021年12月4日	2021年12月4日	Neural Computation Workshop 2021	ハイブリッド (OIST カンファレンス・センター+)	55	16	3
10	オンライン	2021年12月6日	2021年12月8日	APAC Cryo-EM conference	オンライン (Zoom)	325	325	285
11	ハイブリッド	2022年1月11日	2022年1月12日	シルバーワークショップ 2022	ハイブリッド (国際文化会館 + Zoom)	29	23	1 (会場参加)
12	オンライン	2022年1月12日	2022年1月12日	脳と心のメカニズム第21回冬のワークショップ	オンライン (Zoom)	150	150	36
13	オンライン	2022年1月18日	2022年1月18日	第4回BMSA公開セミナー『新型コロナウイルス感染症～過去、現在、未来』	オンライン (Zoom)	129	129	0
14	オンライン	2022年1月24日	2022年1月25日	第6回ABIS光学顕微鏡トレーニングコース	オンライン (Zoom)	28	28	0
15	オンライン	2022年2月12日	2022年2月12日	日本産業衛生学会 第62回産業精神衛生研究会	オンライン	98	94	0
16	ハイブリッド	2022年2月28日	2022年3月4日	OISTにおけるCryo-Electron Microscopy Course	ハイブリッド (OIST メインキャンパス + Zoom)	26	1	1
17	オンライン	2022年3月3日	2022年3月4日	RNAフロンティアミーティング2021	オンライン (Zoom)	60	60	0
合計						2309	2081	421

令和4年度OISTセクション・ユニット主催/共催及びOIST名義上共催学術会議

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数 (リモート参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加者	内、海外参加者 (リモート参加含む)
1	オンライン	2022年4月21日	2022年4月22日	The 1st Workshop on Nobel Turing Challenge	オンライン (Zoom)	83	0	83	不明
2	会場開催	2022年4月25日	2022年4月26日	"Oceans – and the impact of humans and climate change" - OIST-Tohoku U. 2nd Joint Workshop on Marine Science	OISTメインキャンパス及びZoom	141	43	98	7
3	オンライン	2022年5月11日	2022年5月11日	令和4年度国際会議「幾何学モデルとプロセス: GMP2022」	オンライン (Zoom)	91	0	91	85
4	会場開催	2022年5月24日	2022年5月26日	Alumni Workshop 2022	OISTメインキャンパス	51	51	0	0
5	会場開催	2022年6月2日	2022年7月4日	NEURO2022後の会議	OISTメインキャンパス	15	15	0	0
6	会場開催	2022年7月4日	2022年7月6日	アストロサイトについて	OISTメインキャンパス	25	25	0	1
7	会場開催	2022年8月1日	2022年8月10日	OIST-KEIO International Research Summer Camp 2022	OISTメインキャンパス	38	38	0	0
8	会場開催	2022年8月16日	2022年8月19日	SHIMA	OISTメインキャンパス, OISTカンファレンス	18	18	0	0
9	会場開催	2022年8月27日	2022年8月28日	ALIFE Workshop 2022	OISTシーサイドハウス	25	25	0	0
10	会場開催	2022年9月7日	2022年9月9日	酵母遺伝学フォーラム第55回研究報告会	OISTカンファレンス・センター	239	167	72	0

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数 (リモート 参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加 者	内、海外参加者 (リモート参加含 む)
11	会場開催	2022年9月8日	2022年9月9日	第10回植物イメージングの会	OISTメイン キャンパス	23	23	0	0
12	会場開催	2022年9月12日	2022年9月15日	水産養殖ワークショップ	OISTメイン キャンパス 及びOIST シーサイド キャンパス	20	20	0	4
13	会場開催	2022年9月23日	2022年9月30日	QEdサマースクール2022	OISTメイン キャンパス 及びリザン ス・センター	140	85	55	0
14	会場開催	2022年10月8日	2022年10月10日	SKY Labo x OIST: STEAM & Design Thinking Workshop	OISTカン ファレン ス・セン ター	15	15	0	0
15	会場開催	2022年10月24日	2022年10月25日	OIST-Tohoku University Joint Workshop on Biodiversity: From Genes and Species to Ecosystem Services and Resilience	東北大学	157	56	101	10
16	会場開催	2022年10月31日	2022年10月31日	人為環境への生態学アプローチ：基礎から応用まで	OISTカン ファレン ス・セン ター	35	30	5	0
17	会場開催	2022年11月1日	2022年11月1日	Nobel Turing Challenge Initiative (NTCI): The 2nd Workshop on Nobel Turing Challenge	RIKEN (神 戸キャンパ ス)、Zoom	98	98	0	不明
18	会場開催	2022年11月2日	2022年11月4日	OIST-Kyoto University Joint Workshop -Challenges in Biomedical Complexity-	OISTメイン キャンパス	100	70	30	2
19	会場開催	2022年11月9日	2022年11月11日	Silver Workshop V: Complex Geometry and related topics	OISTメイン キャンパス	25	20	5	3
20	会場開催	2022年11月21日	2022年11月22日	ラダーポリマー研究会 第二回ワークショップ	OISTシー サイドハウ ス、 OISTカン ファレン ス・セン ター	18	18	0	0
21	会場開催	2022年11月22日	2022年11月22日	Collective Intelligence in Living/Non-Livings Populations	OISTメイン キャンパス	25	25	0	0
22	会場開催	2022年11月25日	2022年11月25日	第7回おきなわマリンサイエンスワークショップ	琉球大学	50	50	0	0
23	会場開催	2022年11月25日	2022年11月25日	Workshop on Life Mind Continuity	OISTカン ファレン ス・セン ター	40	40	0	0
24	会場開催	2022年12月1日	2022年12月1日	OIST/Humanoids 2022 Joint Workshop	OISTカン ファレン ス・セン ター	70	70	0	30
25	会場開催	2022年12月17日	2022年12月17日	Neural Computation Workshop 2022	OISTシー サイドハウ ス	46	33	13	2
26	会場開催	2022年12月21日	2022年12月21日	沖縄における侵略的外来種と取組事例ワークショッ プ	OISTカン ファレン ス・セン ター	80	50	30	0
27	会場開催	2022年12月26日	2022年12月27日	GEAR5.0 第1回ライフサイエンス・カンファレンス	OISTカン ファレン ス・セン ター	55	55	0	0
28	会場開催	2023年1月16日	2023年1月18日	Geometric PDEs and Applications	OISTメイン キャンパス 及びZoom	16	14	2	8
29	会場開催	2023年2月1日	2023年2月2日	Inclusive Leadership Symposium 2023	OISTカン ファレン ス・セン ター	138	138	0	11
30	会場開催	2023年2月6日	2023年2月10日	2023 Cryo-Electron Microscopy Course at OIST	OISTメイン キャンパス	37	37	0	4
31	会場開催	2023年2月27日	2023年2月28日	Japan-U.S. Science Communication and Policy Fellowship Network	OISTメイン キャンパス	31	28	3	16
32	会場開催	2023年2月27日	2023年3月3日	沖縄学際科学国際会議 (ISCO2023) - 物理学・数学 と医学の出会い -	OISTカン ファレン ス・セン ター	135	134	1	25
33	会場開催	2023年3月10日	2023年3月10日	COI-NEXT クロ=バル・バイオコンバージョンサイ ンセーション共創拠点 キックオフシンポジウム - One World One Health : 「心・体・環境の健康」を 基盤とした持続可能型社会の実現	OISTカン ファレン ス・セン ター	241	199	42	11
34	会場開催	2023年3月21日	2023年3月25日	OIST x OYW Spring Camp 2023	OISTメイン キャンパス	30	30	0	0
					合計	2351	1720	631	219

令和5年度OISTセクション・ユニット主催/共催及びOIST名義上共催学術会議

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数 (リモート 参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加 者	内、海外参加者 (リモート参加含 む)
1	会場開催	2023年4月13日	2023年4月15日	JST-OIST Joint Symposium on Circularly Polarized Luminescence and the Related Phenomena	OISTメイン キャンパス	25	25	0	0
2	会場開催	2023年4月17日	2023年4月19日	MODEST-23 JM	OISTシー サイドハウ ス	17	17	0	7
3	ハイブリッド	2023年4月21日	2023年4月21日	メタバースとバーチャルリアリティ：デジタルワールド を行き来する科学技術	OISTメイン キャンパス	105	66	39	10
4	会場開催	2023年5月18日	2023年5月19日	情報処理学会MBL/ITS/DPS・電子情報通信学会SeMI合同 研究会	OISTメイン キャンパス	100	100	0	0

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数 (リモート 参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加 者	内、海外参加者 (リモート参加含 む)
5	会場開催	2023年5月23日	2023年5月26日	ERATO深津共生進化機構プロジェクト全体会議	OISTメイン キャンパス	80	80	0	0
6	ハイブリッド	2023年5月29日	2023年5月29日	A recipe for scientific synergy -Series 4- "Advancing biotechnology through multidisciplinary approaches"	大阪大学	88	35	53	0
7	会場開催	2023年6月26日	2023年6月30日	G-Lectures: Discussion on Soft matter and Statistical Physics	OISTメイン キャンパス	20	20	0	6
8	ハイブリッド	2023年6月29日	2023年7月1日	今回の主議題は、「機械学習によるバイオデータマイニング、一般」とし、4つの研究会が合同で開催した。	OISTカン ファレンス・ センター	138	103	35	0
9	ハイブリッド	2023年7月25日	2023年7月27日	"Integrability, Deformations and Chaos" Workshop	OISTメイン キャンパス& シーサイドハ ウス	26	25	1	10
10	ハイブリッド	2023年7月26日	2023年7月26日	量子生物学における最先端	OISTメイン キャンパス	22	20	2	2
11	会場開催	2023年7月31日	2023年8月9日	OIST-KEIO International Research Summer Camp 2023	OISTメイン キャンパス& シーサイドハ ウス	60	60	0	0
12	ハイブリッド	2023年8月7日	2023年8月9日	シルバーワークショップVI: 複素幾何学と関連トピック	OISTメイン キャンパス	28	20	8	3
13	会場開催	2023年8月14日	2023年8月18日	SHIMA 2023	OISTメイン キャンパス、 シーサイドハ ウス、カン	31	31	0	0
14	会場開催	2023年8月30日	2023年8月30日	量子断熱制御とショートカット (QUACS)	OISTメイン キャンパス	32	32	0	9
15	ハイブリッド	2023年9月4日	2023年9月15日	[Symposium] Frontiers in Nonlinear Differential Equations and Stokes Phenomena	OISTメイン キャンパス	52	49	3	28
16	ハイブリッド	2023年10月11日	2023年10月13日	1st International Workshop on Quantum Information Engineering (QIE2023)	OISTメイン キャンパス	68	66	2	11
17	ハイブリッド	2023年10月26日	2023年10月27日	視覚科学フォーラム 2023	OISTカン ファレンス・ センター	112	31	81	3
18	会場開催	2023年10月30日	2023年11月3日	2023 Japan-US Seminar on Polymer Chemistry: - Meeting the Challenges of a Sustainable Society with Macromolecules-	OISTメイン キャンパス	58	58	0	15
19	ハイブリッド	2023年11月4日	2023年11月5日	学術変革領域研究 (A) 統一理論 第2回領域会議	OISTカン ファレンス・ センター	35	32	3	2
20	ハイブリッド	2023年11月16日	2023年11月17日	OIST-KEIO Showcase Talk Series 5 -科学と社会の交差点で: 持続可能で幸せな地球の未来を考える	OISTメイン キャンパス	278	194	84	2
21	ハイブリッド	2023年11月17日	2023年11月17日	第39回遺伝子研究安全管理協議会総会及び安全研修会	OISTカン ファレンス・ センター	201	60	141	1
22	会場開催	2023年11月20日	2023年11月22日	Japan Scicom Forum 2023	OISTカン ファレンス・ センター	100	100	0	30
23	会場開催	2023年11月20日	2023年11月20日	第1回ナノエレクトロニクス・ワークショップ 第II部 (アカデミックセッション)	OISTメイン キャンパス	40	40	0	0
24	会場開催	2023年12月15日	2023年12月16日	ONNA2023: ナノ光ファイバーの諸応用	OISTメイン キャンパス	32	32	0	0
25	ハイブリッド	2023年12月17日	2023年12月19日	第49回量子情報技術研究会 (QIT49)	OISTカン ファレンス・ センター	211	184	27	1
26	会場開催	2023年12月20日	2023年12月22日	OIST-RIKEN Joint Workshop on Prediction Science	OISTメイン キャンパス	50	50	0	0
27	会場開催	2024年1月19日	2024年1月19日	OIST-JST JOINT WORKSHOP Biomolecular Super Assembly insights	OISTメイン キャンパス	71	71	0	1
28	会場開催	2024年1月25日	2024年1月26日	8th ABIS Advanced Light Microscopy Course at OIST	OISTメイン キャンパス	18	18	0	2
29	会場開催	2024年2月8日	2024年2月8日	OIST x NTT Joint Workshop	OISTメイン キャンパス	60	60	0	0
30	会場開催	2024年2月13日	2024年2月14日	The 4th Nobel Turing Challenge Initiative Workshop	日本橋ライフ サイエンスハ ブ (LINK-J)、 東京	123	123	0	106
31	ハイブリッド	2024年2月20日	2024年2月20日	2023年度 COI-NEXT 年次シンポジウム "Cutting-edge science toward social implementation" (社会実装に向けた卓越研究)	OISTメイン キャンパス	164	127	37	0
32	ハイブリッド	2024年2月29日	2024年2月29日	OIST-Kyudai Joint Symposium Series 1: Bio-Inspired Wonders and Energy Innovations	OISTメイン キャンパス	124	104	20	1
33	ハイブリッド	2024年3月4日	2024年3月6日	OIST x iTHEMS workshop series - Will We Find Answers? Exploring the Mysteries of the Universe and Life - Series 1 Cosmic ray and Life project	OISTメイン キャンパス	75	64	11	2
34	ハイブリッド	2024年3月4日	2024年3月15日	The Machine Learning Summer School in Okinawa 2024	OISTカン ファレンス・ センター	228	227	1	148
35	ハイブリッド	2024年3月7日	2024年3月8日	Inclusive Communication Symposium 2024	OISTメイン キャンパス	127	126	1	19
36	会場開催	2024年3月9日	2024年3月11日	結び目理論、LMO不変量と関連するトピック	OISTメイン キャンパス	15	15	0	1

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数 (リモート 参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加 者	内、海外参加者 (リモート参加含 む)
37	ハイブリッド	2024年3月16日	2024年3月16日	Neural Computation Workshop 2024	OISTメイン キャンパス	53	44	9	1
38	会場開催	2024年3月18日	2024年3月19日	The 1st International Workshop on Cognitive Neurorobotics	OISTカン ファレンスセ ンター	50	50	0	5
39	会場開催	2024年3月25日	2024年3月28日	TSVP Workshop: The Future of Response Diversity and Ecosystem Stability	OISTメイン キャンパス	60	60	0	27
40	会場開催	2024年3月26日	2024年3月26日	OIST-UCSB Mini Symposium "Materials of Tomorrow: Harnessing Responsiveness, Intelligence, and Sustainability"	OISTメイン キャンパス	79	79	0	6
合計						3256	2698	558	459

令和6年度OISTセクション・ユニット主催/共催及びOIST名義上共催学術会議

	開催状況/ 開催形式	開始日	終了日	テーマ	開催場所	参加者数 (リモート 参加含む)	内、会場参加者	内、リモート参加 者	内、海外参加者 (リモート参加含 む)
1	会場開催	2024年4月22日	2024年4月26日	Representation Theory of Algebras and related areas	OISTメイン キャンパス	35	35	0	6
2	会場開催	2024年4月22日	2024年4月26日	EU-Japan Symposium on Emerging Nanomaterials for Photonics and Catalysis Official title of workshop in English EU-Japan Symposium on Emerging Nanomaterials for Photonics and Catalysis	OISTメイン キャンパス	31	31	0	9
3	会場開催	2024年5月29日	2024年5月29日	Fostering Academic-Industry Collaborations in Japan Kenji Takeda	OISTメイン キャンパス	50	50	0	0
4	会場開催	2024年6月20日	2024年6月22日	IBISML, NC, JPSJ-MPS, JPSJ-BIO 合同研究会	OISTメイン キャンパス	99	99	0	0
5	ハイブリッド	2024年6月30日	2024年6月30日	WCCI 2024 AIガバナンス公開フォーラム	パシフィコ横 浜	449	118	331	60
6	ハイブリッド	2024年9月9日	2024年9月13日	Theory of Quantum Computation, Communication and Cryptography (TQC) Conference	OISTメイン キャンパス及 びOISTカン ファレンス・	369	355	14	298
7	会場開催	2024年9月21日	2024年9月24日	トラップされたイオンのための先端量子技術	OISTシーサ イドハウス	83	83	0	48
8	会場開催	2024年10月1日	2024年10月1日	BBSRC UKAN Researchers on Ageing: Approaches to Ageing Issues	OISTメイン キャンパス	50	50	0	6
9	会場開催	2024年10月16日	2024年10月17日	RMAN-J in Okinawa	OISTメイン キャンパス及 びOISTカン ファレンス・	500	500	0	0
10	会場開催	2024年10月31日	2024年11月1日	【OISTxサントリーウェルネス共同シンポジウム】「健康社会の実現に向けた細胞メカニズムの解明」	OISTメイン キャンパス	50	50	0	0
11	会場開催	2024年11月19日	2024年11月29日	Speyer Unit WS	OISTシーサ イドハウス	0	0	0	0
12	会場開催	2024年11月22日	2024年11月22日	おきなわマリンサイエンスワークショップ	OISTメイン キャンパス	97	97	0	0
13	会場開催	2025年1月20日	2025年1月21日	DOE/MEXT Workshop 2025	OISTカン ファレンスセ ンター	102	102	0	52
合計						1915	1570	345	479

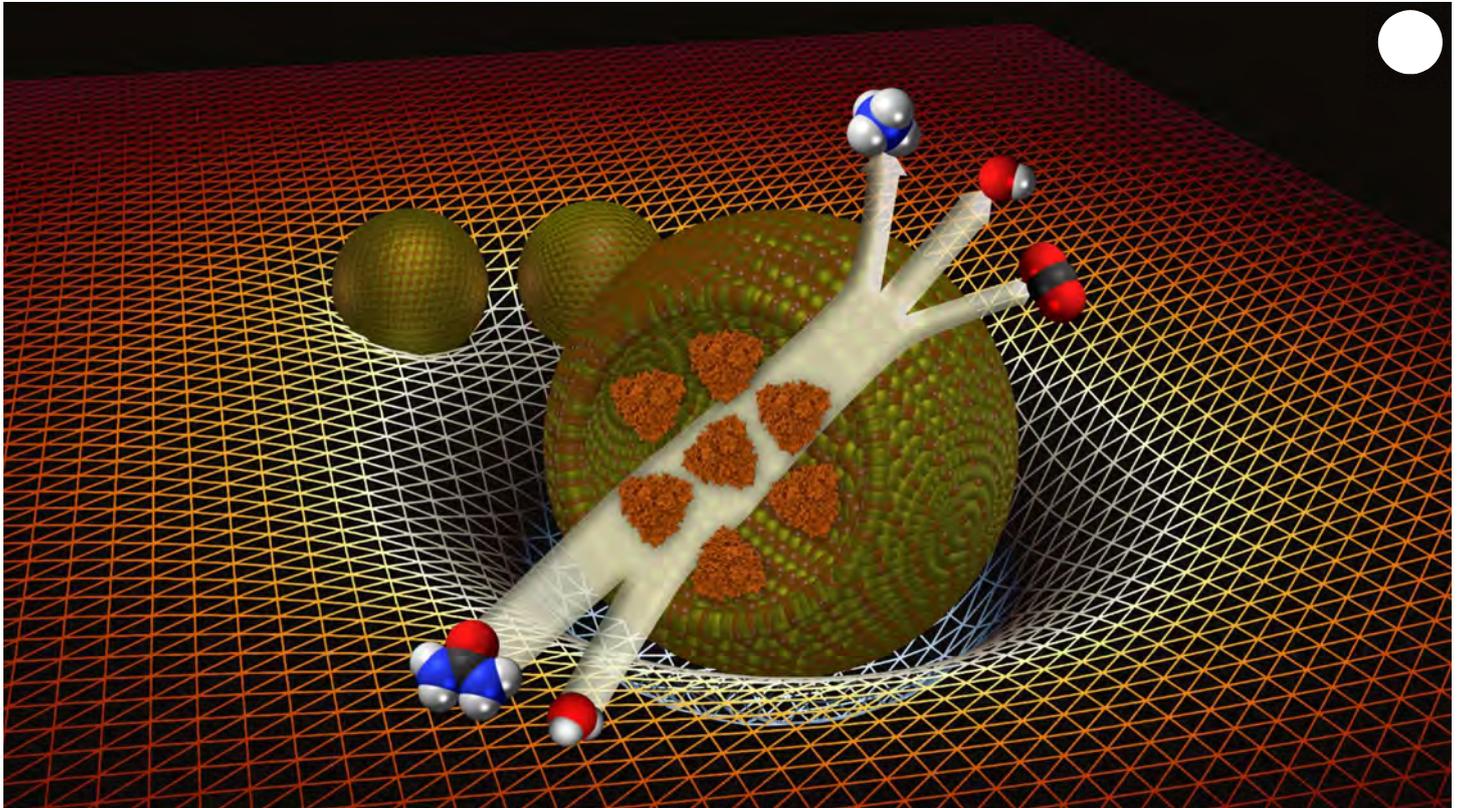
添付資料3-1-8 Inter-units-news-2020-2025

entity_id	langcode	news_type	page_title	created_date	creator_name	full_url	research_unit
35287	en	research_update	Marine drifters: Interdisciplinary study explores plankton diversity	2020/7/15	Lucy Dickie	https://www.oist.jp/news-center/news/2020/7/16/marine-drifters-interdisciplinary-study-explores-plankton-diversity	Biological Complexity Unit, Evolutionary Genomics Unit
35363	en	research_update	Faster rates of evolution are linked to tiny genomes, study finds	2020/8/6	Dani Ellenby	https://www.oist.jp/news-center/news/2020/8/6/faster-rates-evolution-are-linked-tiny-genomes-study-finds	Biological Complexity Unit, Evolutionary Genomics Unit
36833	en	research_update	The pumice around Okinawa: How long will it last and where will it go?	2021/12/23	Lucy Dickie	https://www.oist.jp/news-center/news/2021/12/23/pumice-around-okinawa-how-long-will-it-last-and-where-will-it-go	Marine Biophysics Unit, Shocks, Solitons and Turbulence Unit
37026	en	research_update	Striking lane-like patterns found in bacteria populations	2022/3/22	Lucy Dickie	https://www.oist.jp/news-center/news/2022/3/22/striking-lane-patterns-found-bacteria-populations	Biological Complexity Unit, Micro/ Bio/ Nanofluidics Unit
37697	en	research_update	Jumping gene found to be strongly linked to depression, fear, and anxiety	2022/9/9	Lucy Dickie	https://www.oist.jp/news-center/news/2022/9/9/jumping-gene-found-be-strongly-linked-depression-fear-and-anxiety	Cell Signal Unit, Neural Computation Unit
37716	en	research_update	New Center of Innovation at OIST	2022/11/4		https://www.oist.jp/news-center/news/2022/11/4/new-center-innovation-oist	Integrated Open Systems Unit, Marine Biophysics Unit, Marine Climate Change Unit, Marine Genomics Unit, Membranology Unit
37717	en	research_update	OIST Quantum Research Teams Join New Sustainable Quantum AI Research Center Project	2022/11/4		https://www.oist.jp/news-center/news/2022/11/4/oist-quantum-research-teams-join-new-sustainable-quantum-ai-research-center-project	Quantum Information Science and Technology Unit, Quantum Systems Unit
38872	en	research_update	Four challenging OIST research projects selected for FOREST (Fusion Oriented REsearch for disruptive Science and Technology) program	2023/3/20		https://www.oist.jp/news-center/news/2023/3/20/four-challenging-oist-research-projects-selected-forest-fusion-oriented-research-disruptive-science	Cell Division Dynamics Unit, Computational Neuroethology Unit, Femtosecond Spectroscopy Unit, Integrative Community Ecology Unit
38972	en	research_update	Inhaled ethanol may treat respiratory infections and stop pandemics	2023/4/27	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2023/4/27/inhaled-ethanol-may-treat-respiratory-infections-and-stop-pandemics	Immune Signal Unit, Quantum Wave Microscopy Unit
39749	en	research_update	OIST research paper on sea anemones receives 2023 Zoological Science Award	2023/6/29		https://www.oist.jp/news-center/news/2023/6/29/oist-research-paper-sea-anemones-receives-2023-zoological-science-award	Marine Eco-Evo-Devo Unit, Marine Genomics Unit
39764	en	research_update	The incredible journey of clownfish larvae: Mini athletes, maximum performance	2023/7/6		https://www.oist.jp/news-center/news/2023/7/6/incredible-journey-clownfish-larvae-mini-athletes-maximum-performance	Computational Neuroethology Unit, Marine Eco-Evo-Devo Unit
39987	en	research_update	Tiny spirits roam the corals of Japan - two new pygmy squids discovered	2023/10/24	Adrian Skov	https://www.oist.jp/news-center/news/2023/10/24/tiny-spirits-roam-corals-japan-two-new-pygmy-squids-discovered	Marine Climate Change Unit, Molecular Genetics Unit
40007	en	research_update	Exploring Neurons' Molecular Highways: How a Key Protein Regulates Neuronal Health	2023/10/31	Letizia Diamante	https://www.oist.jp/news-center/news/2023/10/31/exploring-neurons-molecular-highways-how-key-protein-regulates-neuronal-health	Membranology Unit, Molecular Neuroscience Unit
40051	en	institutional_news	Deep dive into marine science: Dynamic duo boosts coral reef research at OIST	2023/11/13	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2023/11/28/deep-dive-marine-science-dynamic-duo-boosts-coral-reef-research-oist	Marine Climate Change Unit, Marine Genomics Unit
40122	en	institutional_news	Two OIST faculty members to receive JSPS Prize	2023/12/20	Tomomi Okubo	https://www.oist.jp/news-center/news/2023/12/20/two-oist-faculty-members-receive-jsp-s-prize	Energy Materials and Surface Sciences Unit, Femtosecond Spectroscopy Unit
40184	en	research_update	実行機能を高める脳回路を発見	2024/1/15	Joint Press Release	wofajian">https://www.oist.jp/news-center/news/2024/1/15/shixingjinegowaomerunaohuilu>wofajian	Cell Signal Unit, Memory Research Unit
40281	en	research_update	Making sci-fi healthcare with microfluidic devices and anti-senescence supplements	2024/2/5	Adrian Skov	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/2/5/making-sci-fi-healthcare-microfluidic-devices-and-anti-senescence-supplements	Membranology Unit, Micro/ Bio/ Nanofluidics Unit
40325	en	institutional_news	OIST's Coral Project celebrates noteworthy achievements in its first year	2024/2/21	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/2/21/oists-coral-project-celebrates-noteworthy-achievements-its-first-year	Marine Climate Change Unit, Marine Genomics Unit
41201	en	institutional_news	Okinawa, Japan, and the world: accelerating industry-academia-government collaboration	2024/4/3	Tomomi Okubo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/4/3/okinawa-japan-and-world-accelerating-industry-academia-government-collaboration	Membrane Cooperativity Unit, Quantum Information Science and Technology Unit
41373	en	research_update	Synthetic droplets cause a stir in the primordial soup	2024/4/25	Adrian Skov	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/4/24/synthetic-droplets-cause-stir-primordial-soup	Complex Fluids and Flows Unit, Micro/ Bio/ Nanofluidics Unit, Protein Engineering and Evolution Unit
41403	en	institutional_news	OIST professors honored with JSPS Prizes as creative and outstanding researchers	2024/5/2	Tomomi Okubo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/5/1/oist-professors-honored-jsp-s-prizes-creative-and-outstanding-researchers	Energy Materials and Surface Sciences Unit, Femtosecond Spectroscopy Unit
41580	en	research_update	How does oxygen depletion disrupt memory formation in the brain?	2024/6/3	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/6/7/how-does-oxygen-depletion-disrupt-memory-formation-brain	Optical Neuroimaging Unit, Sensory and Behavioural Neuroscience Unit
41612	en	research_update	Simplicity versus adaptability: Understanding the balance between habitual and goal-directed behaviors	2024/6/14	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/6/14/simplicity-versus-adaptability-understanding-balance-between-habitual-and-goal-directed-behaviors	Cognitive Neuroethology Research Unit, Neural Computation Unit
41618	en	institutional_news	New research projects launched at OIST!	2024/6/20	Rahel Collyer-Hoar	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/6/20/new-research-projects-launched-oist	pi-Conjugated Polymers Unit, Sensory and Behavioural Neuroscience Unit
42110	en	institutional_news	Happy 20th Anniversary, OCNC!	2024/8/26	Rahel Collyer-Hoar	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/8/26/happy-20th-anniversary-ocnc	Computational Neuroscience Unit, Neural Computation Unit
42153	en	institutional_news	Big fish, big value: Malabar groupers show an unusual activation of thyroid and corticoid genes in the early larval stage	2024/8/26	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/8/26/big-fish-big-value-malabar-groupers-show-unusual-activation-thyroid-and-corticoid-genes-early-larval	Marine Climate Change Unit, Marine Eco-Evo-Devo Unit
43698	en	research_update	Surprising hormone-related gene activity discovered in the early larval stage of the Malabar grouper	2024/9/10	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2024/9/10/surprising-hormone-related-gene-activity-discovered-early-larval-stage-malabar-grouper	Marine Climate Change Unit, Marine Eco-Evo-Devo Unit
45440	en	research_update	Marine mystery solved: How anemonefish avoid stings from their sea anemone hosts	2025/2/15	Merle Naidoo	https://www.oist.jp/news-center/news/2025/2/15/marine-mystery-solved-how-anemonefish-avoid-stings-their-sea-anemone-hosts	Computational Neuroethology Unit, Marine Eco-Evo-Devo Unit
	en	research_update	Squid study sparks interdisciplinary insight into the physics of growth	2025/5/22	Catherine Hodges	https://www.oist.jp/news-center/news/2025/6/3/squid-study-sparks-interdisciplinary-insight-physics-growth	Biological Complexity Unit, Computational Neuroethology Unit



合成液滴が生命の始まりである液体「原始スープ」に波紋を広げる

合成液滴は、地球上で最も単純な生命体がどのようにこの世界を移動したかを知る手掛かりを与えてくれるかもしれない。



私たちの体は何兆個もの細胞で構成されていて、それぞれの細胞が独自の機能を果たすことで生命を維持しています。

このように非常に複雑な生物システムの中で、細胞はどのように移動しているのでしょうか？ また、どのようにして動く方向を決めるのでしょうか？ そしてそもそも、なぜこれほどまでに複雑になったのでしょうか？ このような素朴かつ奥深い疑問が、自然現象の基本原理に焦点を当てる好奇心に基づいた基礎研究においては核心となります。その重要な例として、化学走性と呼ばれる、細胞や微生物が環境中の化学シグナルに反応して移動するプロセスが挙げられます。

沖縄科学技術大学院大学（OIST）の三つの研究ユニットからなる研究チームは、化学走性に関する根本的な疑問に答えるため、実験室で現象を模倣する合成液滴を作成し、現象を正確に分離、制御、研究できるようにしました。この研究成果は、単純な生物学的システムにおける運動の原理に関する疑問に答える一助となるもので、学術誌『[米国化学会誌 \(Journal of the American Chemical Society\)](#)』に掲載されまし

た。[タンパク質工学・進化ユニット](#)の博士課程学生で、論文の共同筆頭著者のアレッサンドロ・ベヴィラクワさんは、「単純な化学的相互作用によってタンパク質の液滴を移動させることが可能であることを確かめました」と本研究の意義を語ります。責任著者で、同ユニットを率いるパオラ・ラウリーノ准教授は、「非常に複雑な現象を模倣する単純なシステムを作り上げ、酵素活性によって調節できるようにしました」と付け加えました。

Synthetic droplets driven by enzymatic activity

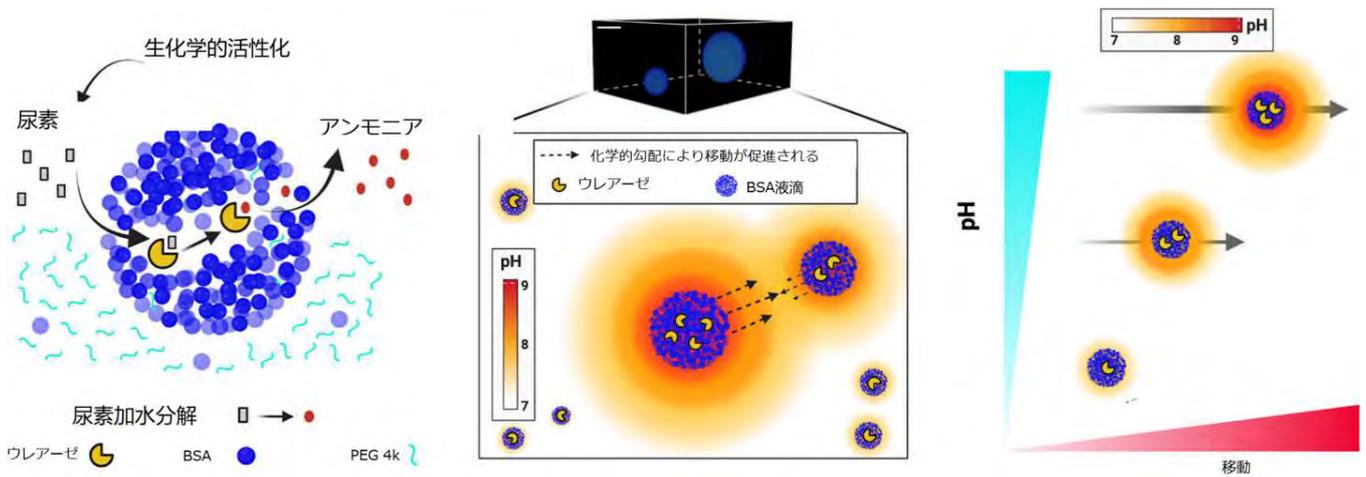


液滴はどのように動き、その動きの方向性を決めているのは何か？ 緑色の液滴にはタンパク質がぎっしりと詰まっており、液滴の内部と周囲のpH値を上昇させる酵素も存在する。それらが答えを導き出してくれるかもしれない。

表面の引っ張り

液滴を作るのはそれほど難しい作業ではないと思われるかもしれませんが、すべての変数を正確に制御しながら、生物学的プロセスを可能な限り現実に近い形で模倣することは、大変困難です。合成された膜のない液滴には、細胞内の混雑状態を模倣するために、ウシのタンパク質BSAが非常に高濃度で含まれており、また尿素をアンモニアに分解する酵素ウレアーゼも含まれています。

アンモニアはpH値が高い、塩基性（アルカリ性）の化合物です。酵素がアンモニアの生成を触媒するにつれて、アンモニアは溶液中に拡散し、pH値の高い「ハロー」を液滴の周りに形成します。その結果、液滴は他の液滴を検知して、互いに向かって移動することができます。



マランゴニ対流による液滴移動の原理を示した三つの図。合成液滴には、尿素をアンモニアに分解する酵素ウレアーゼが含まれており、この酵素はpH値が高い。マランゴニ効果により、液滴はpH勾配に沿って、低pHから高pHへ移動する。

研究チームは、液滴の化学走性を理解する鍵はpH勾配にあることを発見しました。pH勾配は、分子がどのように表面張力の高い領域から低い領域へ流れるかを説明するマランゴニ効果を促進します。表面張力は、糊のように表面の分子をつなぎ合わせるのに必要なエネルギーの尺度です。pHが高くなると、この接着力が弱くなり、分子が広がって表面張力が低下し、分子が動きやすくなります。浴槽の水面の片側に、高いpHの石鹼を加えることで、マランゴニ効果によって水が石鹼に向かって流れるのが観察できます。

二つの合成液滴が十分に近づくと、それぞれのハローが相互作用し、それらの間の環境のpHが上昇し、二つが一緒に動くようになります。液滴の反対側の端では表面張力がまだ強いため、液滴は表面が接触するまで形を保ち、液滴内部の凝集力が表面張力に打ち勝ち、合体します。大きな液滴はアンモニアの生成量が多く、表面積が広くなる（よって、表面張力が低下する）ため、大きい液滴が小さい方の液滴を引き寄せます。

Two simulations of droplets merging



二つの合成液滴のハローが相互作用する際に起こる現象を示した数値モデル。液滴間のpHが高く（表面張力が低い）、これにより液滴は球形を保ちながら、互いに向かって移動する。これは、液滴が合体するまで、液滴内部のpHが低いためである。大きな液滴は小さな液滴を引き寄せる。

「原始スープ」と未来のバイオテクノロジーのコラボレーション

この液滴の開発により、研究チームは生物学的な動きに関する根本的な疑問に対する答えに一步近づきました。本研究は、数十億年前の「原始スープ」（生命を生んだ液体）で、最も初期の生命体がどのように方向付けられて動いたのかについての知見が得られたとともに、生物学的な発想からインスピレーションを受けた新材料の開発にもつながります。

数十億年前の生命に関しては、よく分かっていません。有力な仮説は、有機分子が「原始スープ」の中で徐々に集まり、洗練され、海洋で生命が誕生したというものです。マランゴニ効果による化学走性によって、この移動が促進された可能性があります。「生命の起源に関する仮説のシナリオでは、液滴がこのような移動メカニズムを持っていることは有益だったでしょう」とラウリーノ准教授は言います。この移動によって、酵素が様々な物質を触媒する原始的な代謝経路が形成され、最終的に化学的な勾配が発生して液滴が集まり、より大規模で洗練された共同体につながった可能性があります。

本研究はまた、時代を先取りし、新技術の手掛かりも提供します。「一例として、生物学に着想を得た応答性材料の開発があります」とベヴィラクワさんは話します。「私たちの研究で、単純な液滴が化学的濃度勾配のおかげで移動できることが示されました。将来的には、化学的濃度勾配を感知したり反応したりする技術、例えばマイクロロボティクスやドラッグデリバリーへの応用が考えられます。」

合成液滴の作成と分析作業は、OISTに深く根付いた学際性と、研究を支える人々の努力によって成し遂げられました。このプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、タンパク質工学・進化ユニットのメンバーが複雑流体・流動ユニットのメンバーと共に隔離されたときに始まりました。二人の研究者が話し始めたことをきっかけに、二つの研究ユニットはそれぞれ生化学と機械工学という異分野であるにもかかわらず、プロジェクトは連動して発展していきました。やがてマイクロ・バイオ・ナノ流体ユニットのメンバーもプロジェクトに加わり、液滴の表面張力の高度な測定が行えるようになりました。

OISTの特徴である学部・学科のない学際的な研究環境が、この共同研究のきっかけとなりました。ラウリーノ准教授は、「もし私たちが研究科ごとに分かれていたら、このプロジェクトは存在していなかったでしょう。私たちは領域ごとに異なるやり方でコミュニケーションしているため、共同研究は簡単ではありませんでしたが、お互いが近くにいたことで、非常にやりやすくなりました」と話します。ベヴィラクワさんは「一緒にコーヒーを飲むような時間が非常に重要でした。他のユニット・メンバーと和気あいあいと過ごすことで、より速く、より生産的なプロセスが可能になりました」と話します。共同研究はこれで終わりではありません。むしろ、この論文は3ユニットの実りあるパートナーシップの始まりです。ラウリーノ准教授は、「私たちの研究には多くの相乗効果があり、効果的かつ効率的に協力しています。私たちが共同研究をやめる理由は見当たりません」と話します。この3ユニットが力を合わせ、生命の微細な動きについて、最も小さなスケールで、最も早く、そしておそらく未来にわたって、より多くのことを知ることができるのです。



本研究に携わったOISTの研究者ら。(写真左から) ジオバンニ・ソリゴ博士、博士課程のアlessandro・ベヴィラクワさん、パオラ・ラウリーノ准教授、エイミー・シェン教授、ヴィンチェンゾ・カラブレセ博士、マルコ・ロスティ教授。写真には写っていないが、現在はペルージャ大学(イタリア)に在籍している共同筆頭著者のミルコ・ディンド博士と、現在イタリアのNATO 科学技術機構(STO) 海洋研究実験センター(CMRE)に在籍しているアlessandro・モンティ博士。このプロジェクトは、モンティ博士とディンド博士がコロナ禍で共に隔離されていたときに始まった。写真提供: エイドリアン・スコウ(OIST)

日付: 2024年4月24日

カテゴリー: 研究関連記事

作者

スコウ エイドリアン

論文情報

タイトル: Chemotactic Interactions Drive Migration of Membraneless Active Droplets

ジャーナル: Journal of the American Chemical Society

著者: Mirco Dindo, Alessandro Bevilacqua, Giovanni Soligo, Vincenzo Calabrese, Alessandro Monti, Amy Q. Shen, Marco Edoardo Rosti, and Paola Laurino

日付: 2024年4月15日

DOI: 10.1021/jacs.4c02823

専門分野

生化学

生物物理

生物工程学

化学

流体力学

機械学

研究ユニット

タンパク質工学・進化ユニット

マイクロ・バイオ・ナノ流体ユニット

複雑流体・流動ユニット

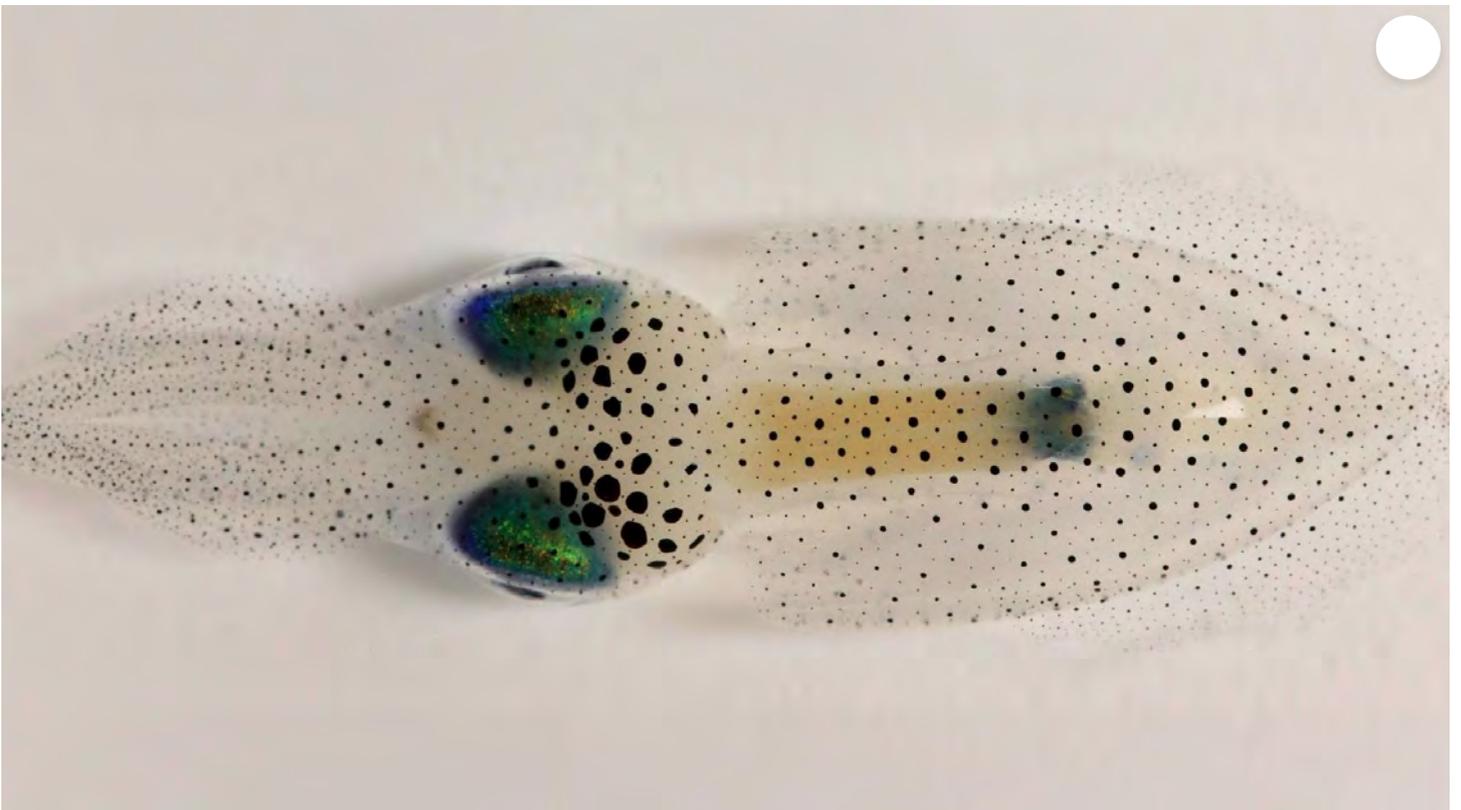
広報・取材に関するお問い合わせ

報道関係者専用問い合わせフォーム

Copyright © 2011-2025 沖縄科学技術大学院大学

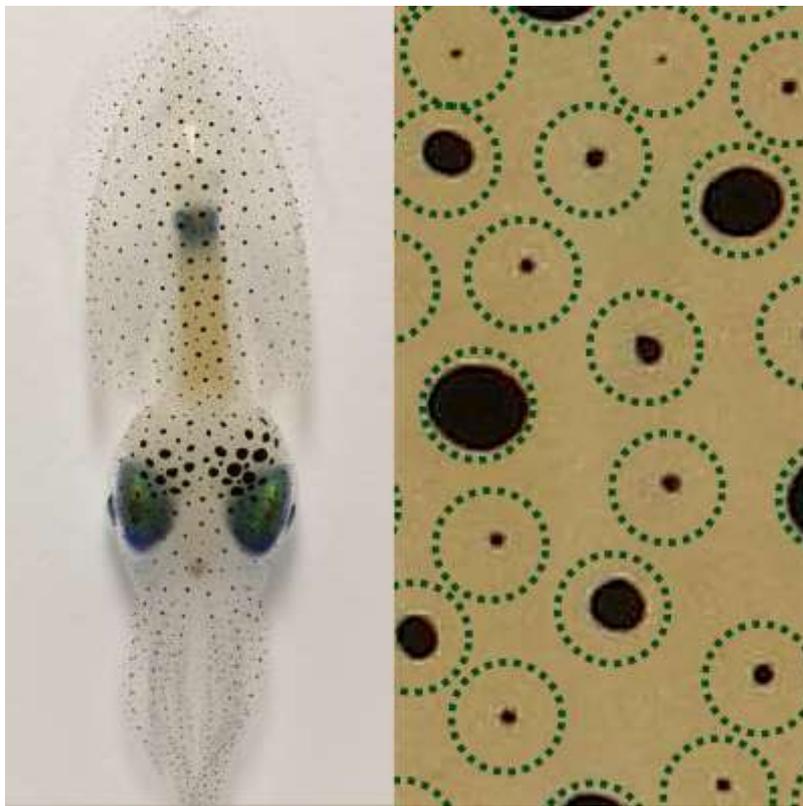
イカの皮膚が解き明かす成長の物理学 - 分野を超えた新発見

イカの皮膚細胞の並び方を通じて、成長が物理的特性にどのように影響するかを解明。さらに、さまざまな成長システムに応用できる新しいモデルも開発しました。



物理学は、潮の満ち引きに対する重力の影響を理解したり、顕微鏡のような高度な物理装置を用いて細胞の内部構造を探ったりするなど、自然界のさまざまな現象を解明するのに役立ってきました。ところが近年では、物理学に新たな洞察をもたらすために、生物学的なシステムに注目する研究が増えています。今回、研究者らはイカの皮膚を研究することで、「超乱雑性 (hyperdisorder)」と呼ばれる物理現象が生物において初めて確認されることを明らかにし生物の成長が物理現象にどのような影響を及ぼすのかについて新たな理解が得られました。

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) の学際的研究チームが、イカの皮膚細胞の成長がパターン形成に与える影響を明らかにし、その研究成果が『PRX』誌に掲載されました。実験的なイメージング手法と理論的モデリングを組み合わせることで、これらの細胞の独特な配置について新たな知見を得るとともに、さまざまな成長システムに応用可能な超乱雑性の汎用モデルを構築しました。



左の写真は生後6週間のイカで、右の写真はその色素胞のパターンを拡大したもの。色素胞を強調するために緑色の点線で色素胞を囲んだ。色素胞のパターンは、大きくて古い色素胞が、小さくて若い色素胞に囲まれている。

ロス他（2025年）

配置の分析：均一性と乱雑性

「超乱雑性」とは、ある特定の空間内の計測される点の数のばらつきが、その空間の体積の増加に対して、それよりも速く増大する現象です。つまり、非常に小さな範囲で見るとシステムは整然として見えますがより広い範囲で観察するとそのばらつきが顕著に増幅されるのです。

「鶏の目の細胞のような他の成長システムでは、これまでの研究において『超均一性 (hyperuniformity)』が確認されています。これは、近距離ではランダムに見えるものの、遠距離にわたって秩序やパターンが維持される現象です」と、本研究の筆頭著者であり、OIST学際的ポストドクトラルフェローのロバート・ロス博士は述べています。「私たちはイカでも同様の現象が見られると予想していましたが、実際に観察されたのはまったく異なる現象でした。このような細胞の配置パターンが生物の中で確認されたのは初めてです。とはいえ、同様の成長システムにはこの種の乱雑性が存在する可能性が高く、成長という要素が物理的特性に与える影響の重要性を浮き彫りにしています。」

乱雑さの理解

本研究では、研究チームが12週間にわたってイカを観察し、実験装置を用いて3D画像を撮影することで、皮膚表面に現れる「色素胞」と呼ばれる特殊な細胞の出現を調べました。「色素胞は互いに決まった位置関係で特定のパターンを形成します」と、本研究の共著者で、OIST計算行動神経科学ユニットを率いるサムエル・ライター准教授は説明します。「色素胞は、カモフラージュやコミュニケーションに欠かせません。そのため、私たちはこれらの細胞の空間的な配置とパターンの発達過程を研究することに興味を持ちました。」

観察された超乱雑性をもたらす物理現象を理解するために、研究チームはイカの皮膚の挙動を表すモデルとして、成長する表面上のハードディスク（硬い円盤）を用いた数学モデルを開発しました。一見複雑に見える問題にもかかわらず、非常にシンプルで広く応用可能なモデルを考案することに成功しました。



00:12

超乱雑性を示すシステムでは、平均数の増加に比べて変動がより大きくなる。このアニメーションは、秩序が保たれた小さな領域が無秩序な広がりを取り囲まれている様子を示している。

ロス他（2025年）

本研究の共著者で、OIST生物複雑性ユニットを率いるシモーネ・ピゴロッチ教授は、次のように述べています。「この研究は、成長という要素がさまざまなシステムの物理的挙動に与える重要な影響を示すとともに、学際的な視点から研究することで初めて得られる独自の知見を明らかにしています。今後、私たちは、このモデルを生物学的なシステムに限らず、より広範な成長システムに適用していくことを楽しみにしています。このモデルは汎用性が高く、探求すべき科学的な方向性は無限に広がっています。」

日付: 2025年6月3日

カテゴリー: 研究関連記事

作者

キャサリン ホッジス

論文情報

タイトル: [Hyperdisordered Cell Packing on a Growing Surface](#)

ジャーナル: Physical Review X

著者: R. J. H. Ross, Giovanni D. Masucci, Chun Yen Lin, Teresa L. Iglesias, Sam Reiter, and Simone Pigolotti

日付: 2025年5月22日

DOI: [10.1103/PhysRevX.15.021064](https://doi.org/10.1103/PhysRevX.15.021064)

専門分野

生物物理

複雑系

海洋学

物理学

研究ユニット

生物複雑性ユニット

計算行動神経科学ユニット

広報・取材に関するお問い合わせ
報道関係者専用問い合わせフォーム

Copyright © 2011-2025 沖縄科学技術大学院大学

添付資料3-1-8 Joint Publications by Multiple Units

複数教員による共同出版数（令和3年度）

Number of joint publications between different faculty members (FY2021)

FY2021 OIST Internal Collaborative Publications

1. Wang, Z. Y., et al. (2021). "Visualizing superconductivity in a doped Weyl semimetal with broken inversion symmetry." *Physical Review B* 104(11). doi: 10.1103/PhysRevB.104.115102
2. Le Kien, F., et al. (2021). "Optical trap for an atom around the midpoint between two coupled identical parallel optical nanofibers." *Physical Review A* 103(6): 10. doi: 10.1103/PhysRevA.103.063106
3. Sarma, B., et al. (2021). "Cavity magnomechanical storage and retrieval of quantum states." *New Journal of Physics* 23(4). doi: 10.1088/1367-2630/abf535
4. Matthews, M.M., Kim, T.G., Shibata, S. et al. (2021). COVID-19 serological survey using micro blood sampling. *Sci Rep* 11, 9475. doi: 10.1038/s41598-021-88850-z
5. Maeda, K., et al. "Do colour-morphs of an amphidromous goby represent different species? Taxonomy of *Lentipes* (Gobiiformes) from Japan and Palawan, Philippines, with phylogenomic approaches." *SYSTEMATICS AND BIODIVERSITY*. doi: 10.1080/14772000.2021.1971792
6. Kinjo, Y., et al. (2021). "Enhanced Mutation Rate, Relaxed Selection, and the "Domino Effect" are associated with Gene Loss in *Blattabacterium*, A Cockroach Endosymbiont." *Molecular Biology and Evolution* 38(9): 3820-3831. doi: 10.1093/molbev/msab159
7. Monti, A., et al. (2021). "A fast and efficient tool to study the rheology of dense suspensions." *Physics of Fluids* 33(10): 103314. doi: 10.1063/5.0065655
8. Paterno, G. M., et al. "Excited states engineering enables efficient near-infrared lasing in nanographenes." *Materials Horizons*. doi: 10.1039/d1mh00846c
9. Le Kien, F., et al. (2021). "Spatial distributions of the fields in guided normal modes of two coupled parallel optical nanofibers." *New Journal of Physics* 23(4). doi: 10.1088/1367-2630/abea44
10. Nakano, T., et al. (2022). "An On-Demand Drug Delivery System for Control of Epileptiform Seizures." *Pharmaceutics* 14(2): 18. doi:

10.3390/pharmaceutics14020468

11. Koldaeva, A., Tsai, H. F., Shen, A. Q. and Pigolotti, S. (2022). "Population genetics in microchannels." Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. doi:10.1073/pnas.2120821119

The above collaborative publications were published by the following units:

1. Dani, K./Okada, Y.
2. Nic Chormaic, S./Busch, T.
3. Busch, T./Twamley, J.
4. Collins, M./Wolf, M.
5. Laudet, V./Satoh, Nori
6. Pigolotti, S./ Bourguignon, T.
7. Shen, A./ Rosti, M.
8. Kabe, R./ Narita, A.
9. Nic Chormaic, S./ Busch, T.
10. Dani, K. / Wickens, J.
11. Pigolotti, S. / Shen, A.

複数教員による共同出版数（令和4年度）

Number of joint publications between different faculty members (FY2022)

FY2022 OIST Internal Collaborative Publications

- (1) Tsai, H.-F.; Carlson, D. W.; Koldaeva, A.; Pigolotti, S.; Shen, A. Q. Optimization and Fabrication of Multi-Level Microchannels for Long-Term Imaging of Bacterial Growth and Expansion. *Micromachines* **2022**, *13* (4), 576.
<https://doi.org/10.3390/mi13040576>.
- (2) Le Kien, F.; Kornovan, D. F.; Nic Chormaic, S.; Busch, T. Repulsive Casimir-Polder Potentials of Low-Lying Excited States of a Multilevel Alkali-Metal Atom near an Optical Nanofiber. *Phys. Rev. A* **2022**, *105* (4), 042817.
<https://doi.org/10.1103/PhysRevA.105.042817>.
- (3) Kashimoto, R.; Tanimoto, M.; Miura, S.; Satoh, N.; Laudet, V.; Khalturin, K. Transcriptomes of Giant Sea Anemones from Okinawa as a Tool for Understanding Their Phylogeny and Symbiotic Relationships with Anemonefish. *Zoolog. Sci.* **2022**, *39* (4), 374–387. <https://doi.org/10.2108/zs210111>.
- (4) Le Kien, F.; Nic Chormaic, S.; Busch, T. Optical Force between Two Coupled Identical Parallel Optical Nanofibers. *Phys. Rev. A* **2022**, *105* (6), 063517.
<https://doi.org/10.1103/PhysRevA.105.063517>.
- (5) Le Kien, F.; Nic Chormaic, S.; Busch, T. Transfer of Angular Momentum of Guided Light to an Atom with an Electric Quadrupole Transition near an Optical Nanofiber. *Phys. Rev. A* **2022**, *106* (1), 013712.
<https://doi.org/10.1103/PhysRevA.106.013712>.
- (6) Wepfer, P. H.; Nakajima, Y.; Fujimura, A.; Mikheyev, A. S.; Economo, E. P.; Mitarai, S. The Oceanographic Isolation of the Ogasawara Islands and Genetic Divergence in a Reef-Building Coral. *J. Biogeogr.* **2022**, *49* (11), 1978–1990.
<https://doi.org/10.1111/jbi.14475>.
- (7) Bhat, D.; Hauf, S.; Plessy, C.; Yokobayashi, Y.; Pigolotti, S. Speed Variations of Bacterial Replisomes. *eLife* **2022**, *11*, e75884. <https://doi.org/10.7554/eLife.75884>.
- (8) Youssef, M. M. M.; Hamada, H. T.; Lai, E. S. K.; Kiyama, Y.; El-Tabbal, M.; Kiyonari, H.; Nakano, K.; Kuhn, B.; Yamamoto, T. TOB Is an Effector of the Hippocampus-Mediated Acute Stress Response. *Transl. Psychiatry* **2022**, *12* (1), 1–15. <https://doi.org/10.1038/s41398-022-02078-7>.
- (9) Sonnenschein, J.; Tsulaia, M. A Note on Shape Invariant Potentials for Discretized Hamiltonians. *Mod. Phys. Lett. A* **2022**, *37* (23), 2250153.
<https://doi.org/10.1142/S021773232250153X>.
- (10) Dronova, M. G.; Ye, F.; Cooper, S. E.; Krishnadas, A.; Hoffmann, C. M.; Fujisawa, Y.; Okada, Y.; Khomskii, D. I.; Feng, Y. Controlling Inversion Disorder in a Stoichiometric Spinel Magnet. *Proc. Natl. Acad. Sci.* **2022**, *119* (43), e2208748119.
<https://doi.org/10.1073/pnas.2208748119>.

- (11) Wu, T.; Ono, L. K.; Yoshioka, R.; Ding, C.; Zhang, C.; Mariotti, S.; Zhang, J.; Mitrofanov, K.; Liu, X.; Segawa, H.; Kabe, R.; Han, L.; Qi, Y. Elimination of Light-Induced Degradation at the Nickel Oxide-Perovskite Heterojunction by Aprotic Sulfonium Layers towards Long-Term Operationally Stable Inverted Perovskite Solar Cells. *Energy Environ. Sci.* **2022**, *15* (11), 4612–4624. <https://doi.org/10.1039/D2EE01801B>.
- (12) Xu, X.; Serra, G.; Villa, A.; Muñoz-Mármol, R.; Vasylevskyi, S.; Gadea, M.; Lucotti, A.; Lin, Z.; Boj, P. G.; Kabe, R.; Tommasini, M.; Díaz-García, M. Á.; Scotognella, F.; Paternò, G. M.; Narita, A. Synthesis of Zigzag- and Fjord-Edged Nanographene with Dual Amplified Spontaneous Emission. *Chem. Sci.* **2022**, *13* (44), 13040–13045. <https://doi.org/10.1039/D2SC04208H>.
- (13) Purba, E. R.; Saita, E.; Akhouri, R. R.; Öfverstedt, L.-G.; Wilken, G.; Skoglund, U.; Maruyama, I. N. Allosteric Activation of Preformed EGF Receptor Dimers by a Single Ligand Binding Event. *Front. Endocrinol.* **2022**, *13*.
- (14) Furukawa, E.; Bado, P.; da Costa, R. Q. M.; Melo, B.; Erthal, P.; de Oliveira, I. P.; Wickens, J. R.; Moll, J.; Tripp, G.; Mattos, P. Reward Modality Modulates Striatal Responses to Reward Anticipation in ADHD: Effects of Affiliative and Food Stimuli. *Psychiatry Res. Neuroimaging* **2022**, *327*, 111561. <https://doi.org/10.1016/j.pscychresns.2022.111561>.
- (15) Takeuchi, T.; Suzuki, Y.; Watabe, S.; Nagai, K.; Masaoka, T.; Fujie, M.; Kawamitsu, M.; Satoh, N.; Myers, E. W. A High-Quality, Haplotype-Phased Genome Reconstruction Reveals Unexpected Haplotype Diversity in a Pearl Oyster. *DNA Res.* **2022**, *29* (6), dsac035. <https://doi.org/10.1093/dnares/dsac035>.
- (16) Le Kien, F.; Nic Chormaic, S.; Busch, T. Direction-Dependent Coupling between a Nanofiber-Guided Light Field and a Two-Level Atom with an Electric Quadrupole Transition. *Phys. Rev. A* **2023**, *107* (1), 013713. <https://doi.org/10.1103/PhysRevA.107.013713>.
- (17) Herrera, M.; Ravasi, T.; Laudet, V. Anemonefishes: A Model System for Evolutionary Genomics. F1000Research February 21, 2023. <https://doi.org/10.12688/f1000research.130752.1>.
- (18) Moore, B.; Herrera, M.; Gairin, E.; Li, C.; Miura, S.; Jolly, J.; Mercader, M.; Izumiyama, M.; Kawai, E.; Ravasi, T.; Laudet, V.; Ryu, T. The Chromosome-Scale Genome Assembly of the Yellowtail Clownfish Amphiprion Clarkii Provides Insights into the Melanic Pigmentation of Anemonefish. *G3 GenesGenomesGenetics* **2023**, *13* (3), jkad002. <https://doi.org/10.1093/g3journal/jkad002>.
- (19) Tan, J.; Xu, X.; Liu, J.; Vasylevskyi, S.; Lin, Z.; Kabe, R.; Zou, Y.; Müllen, K.; Narita, A.; Hu, Y. Synthesis of a π -Extended Double [9]Helicene. *Angew. Chem. Int. Ed.* **2023**, *n/a* (n/a), e202218494. <https://doi.org/10.1002/anie.202218494>.
- (20) Wu, T.; Xu, X.; Ono, L. K.; Guo, T.; Mariotti, S.; Ding, C.; Yuan, S.; Zhang, C.; Zhang, J.; Mitrofanov, K.; Zhang, Q.; Raj, S.; Liu, X.; Segawa, H.; Ji, P.; Li, T.; Kabe, R.; Han, L.; Narita, A.; Qi, Y. Graphene-Like Conjugated Molecule as Hole-Selective Contact for Operationally Stable.

The above collaborative publications were published by the following units:

- 1) Shen/Pigolotti
- 2) Busch/Nic Chormaic
- 3) Laudet/Satoh
- 4) Busch/Nic Chormaic
- 5) Busch/Nic Chormaic
- 6) Mitarai/Economo
- 7) Pigolotti/Yokobayashi/Luscombe
- 8) Yamamoto/Kuhn/Yoshida
- 9) Neiman/Shannon
- 10) Feng/Okada
- 11) Qi/Kabe
- 12) Narita/Kabe
- 13) Maruyama/Skoglund
- 14) Tripp/Wickens
- 15) Myers/Satoh
- 16) Busch/Nic Chormaic
- 17) Laudet/Ravasi
- 18) Laudet/Ravasi
- 19) Narita/Kabe
- 20) Qi/Narita/Kabe

複数教員による共同出版数（令和5年度）

Number of joint publications between different faculty members (FY2023)

FY2023 OIST Internal Collaborative Publications

(1) Hirota, M., Tamai, M., Yukawa, S., Taira, N., Matthews, M. M., Toma, T., Seto, Y., Yoshida, M., Toguchi, S., Miyagi, M., Mori, T., Tomori, H., Tamai, O., Kina, M., Sakihara, E., Yamashiro, C., Miyagi, M., Tamaki, K., Wolf, M., Collins, M. K., Kitano, H., Ishikawa, H.;

Human immune and gut microbial parameters associated with inter-individual variations in COVID-19 mRNA vaccine-induced immunity. *Communications Biology* **2023**, 6, 368

<https://doi.org/10.1038/s42003-023-04755-9>

(2) Tamai, M., Taba, S., Mise, T., Yamashita, M., Ishikawa, H., Shintake, T.;

Effect of Ethanol Vapor Inhalation Treatment on Lethal Respiratory Viral Infection With Influenza A. *Journal of Infectious Diseases* **2023**, 228(12), 1720-1729

<https://doi.org/10.1093/infdis/jiad089>

(3) Silic, B., Aggarwal, M., Liyanagama, K., Tripp, G., Wickens, J. R.;

Conditioned approach behavior of SHR and SD rats during Pavlovian conditioning. *Behavioural Brain Research* **2023**, 443, 114348

<https://doi.org/10.1016/j.bbr.2023.114348>

(4) Dinets, V., Friedman, N. R., Ogasawara, M., Yoshimura, M., Economo, E. P.;

Impacts on Bats by a Supertyphoon vs. Ordinary Typhoons along a Habitat Urbanization Gradient. *Research in Ecology* **2023**, 5(2), 14-27

<https://doi.org/10.30564/re.v5i2.5748>

(5) Chan, S. T., Haward, S. J., Fried, E., McKinley, G. H.;

The rheology of saltwater taffy featured. *Physics of Fluids* **2023**, 35, 093106

<https://doi.org/10.1063/5.0163715>

(6) Hayashi, A., Sakurai, A., Nishio, S., Munro, W. J., Nemoto, K.

Impact of the form of weighted networks on the quantum extreme reservoir computation. *Physical Review A* **2023**, 108(4), 042609

<https://doi.org/10.1103/PhysRevA.108.042609>

(7) Zhu, X., Chen, Q., Zhao, H., Yang, Q., Goudappagouda, Gelléri, M., Ritz, S., Ng, D., Koynov, K., Parekh, S. H., Chetty, V. K., Thakur, B. K., Cremer, C., Landfester, K., Müllen, K., Terenzio, M., Bonn, M., Narita, A., Liu, X.

Intrinsic Burst-Blinking Nanographenes for Super-Resolution Bioimaging. *Journal of the American Chemical Society* **2024**, 146, 5195-5203

<https://doi.org/10.1021/jacs.3c11152>

The above collaborative publications were published by the following units:

- 1) Wolf, Kitano, Ishikawa
- 2) Ishikawa, Shintake
- 3) Tripp, Wickens
- 4) STG, Economo
- 5) Fried, Shen
- 6) Nemoto, Munro
- 7) Narita, Terenzio

複数教員による共同出版数（令和6年度）

Number of joint publications between different faculty members (FY2024)

FY2024 OIST Internal Collaborative Publications

(1) Moshniaha, L., Paternò, G., Muñoz-Mármol, R., Narita, A., Kabe, R., Liu, X., Bonn, M., Yang, Q., Zhao, H.;

Acid-induced fluorescence enhancement of piperazinylphenyl-substituted nanographene. *Chemical Communications* **2024**, 60(98), 14645-14648

<https://dx.doi.org/10.1039/d4cc04926h>

(2) Ziadi-Künzli, F., Maeda K., Puchenkov, P., Bandi, M.;

Anatomical insights into fish terrestrial locomotion: A study of barred mudskipper (*Periophthalmus argentilineatus*) fins based on μ CT 3D reconstructions. *Journal of Anatomy* **2024**, 245(4), 593-624

<https://doi.org/10.1111/joa.14071>

(3) Laurino, P., Shen, A., Monti, A., Calabrese, V., Soligo, G., Bevilacqua, A., Dindo, M., Rosti, M. E.;

Chemotactic Interactions Drive Migration of Membraneless Active Droplets. *Journal of the American Chemical Society* **2024**, 146(23), 15965-15976

<https://doi.org/10.1021/jacs.4c02823>

(4) Murthy, V., Sugiyama, Y., Masai, Y., Morohashi, Y., Lovicu, F., Mbogo, I.;

Concave-to-convex curve conversion of fiber cells correlates with Y-shaped suture formation at the poles of the rodent lens. *Experimental Eye Research* **2024**, 248

<https://dx.doi.org/10.1016/j.exer.2024.110066>

(5) Sasaki, D., Tamai, M., Hsieh, T., Iha, H., Meshcheryakov, V., Kim, K., Matthews, M., Kim, T., Collins, M., Laurino, P., Obata, F., Fujii, J., Ito, T., Ito, H., Ishikawa, H., Wolf, M., Patiño, S., Shibata, N., Shibata, S.;

Engineered protein subunit COVID19 vaccine is as immunogenic as nanoparticles in mouse and hamster models. *Scientific Reports* **2024**, 14(1), 25528

<https://dx.doi.org/10.1038/s41598-024-76377-y>

- (6) Winder, C., Hutchinson, C., Blackburn, C., Shen, A., Turner, N., Sullivan, M.,;
Enzyme Activity Inhibition of α -Amylase Using Molecularly Imprinted Polymer (MIP) Hydrogel
Microparticles. *Biomacromolecules* **2024**, 25(11), 7459–7465
<https://dx.doi.org/10.1021/acs.biomac.4c01097>
- (7) Reimer, J., Nishitsuji, K., Huerlimann, R., Narisoko, H., Acikbas, A., Ravsi, T., Satoh, N.,;
Fish and coral assemblages of a highly isolated oceanic island: The first eDNA survey of the Ogasawara
Islands. *Environmental DNA* **2024**, 6(1), e509
<https://doi.org/10.1002/edn3.509>
- (8) Nemoto, K., Munro, B., Hiroo, H.,;
Heralded single-photon source based on superpositions of squeezed states. *Physical Review A* **2024**, 109,
053711
<https://doi.org/10.1103/PhysRevA.109.053711>
- (9) Fujisawa, Y., Krishnadas, A., Nakamura, T., Hsu, C. H., Smith, B., Almanza, M., Hiyane, H., Chang,
G., Nagai, Y.,;
Imaging Josephson Vortices on Curved Junctions. *Physical Review B* **2024**, 110(22), 224511
<https://doi.org/10.1103/PhysRevB.110.224511>
- (10) Thakur, B., Liu, X., Narita, A., Bonn, M., Terenzio, M., Müllen, M., Zhu, X., Chen, Q., Landfester, K.,
Cremer, C., Zhao, H., Yang, Q., Goudappagouda., Gelléri, M., Ritz, S., Ng, D., Koynov, K., Parekh, S.,
Chetty, V.,;
Intrinsic Burst-Blinking Nanographenes for Super-Resolution Bioimaging. *Journal of the American
Chemical Society* **2024**, 146, 5195-5203
<https://doi.org/10.1021/jacs.3c11152>
- (11) Sasaki, D., Ishikawa, H., Miyagi, M., Seto, Y., Tamai, M., Koizumi, S., Hirota, M., Chien, H., Hsieh,
T., Taira, N., Sarkar, S.,;
JunB is required for CD8⁺ T cell responses to acute infections. *International Immunology* **2024**, 37(4),
203–220
<https://dx.doi.org/10.1093/intimm/dxae063>
- (12) Kono, K., Yamamoto, T., Maipas, A., Sato, A., Moriyama, Y.,;
Knockdown of CNOT3, a subunit of the CCR4-NOT deadenylase complex, sensitizes A549 human non-
small cell lung cancer cells to senescence-inducing stimuli. *Biochemical and biophysical research*

communications **2025**, 748, 151294

<https://doi.org/10.1016/j.bbrc.2025.151294>

(13) Kubo, T., Puchenkov, P., Ota, T., Wibisana, J., Sallan, L., Sallan, R.;

Modifiable Clinical Dental Impression Methods to Obtain Whole-Mouth and Detailed Dental Traits From Vertebrates. *Journal of Morphology* **2025**, 286, e70017

<https://dx.doi.org/10.1002/jmor.70017>

(14) Funari, R., Chu, K., Shen, A.;

Multiplexed Opto-Microfluidic Biosensing: Advanced Platform for Prostate Cancer Detection. *ACS Sensors* **2024**, 9, 2596–2604

<https://dx.doi.org/10.1021/acssensors.4c00312>

(15) Moshniaha, L., Zhao, H., Xu, X., Emily, M., Guillaud, L., Narita, A., Terenzio, M., Kabe, R., Hanayama, H.;

Nanographene-Based Polymeric Nanoparticles as Near-Infrared Emissive Neuronal Tracers. *ACS Nano* **2024**, 18, 34730–34740

<https://dx.doi.org/10.1021/acsnano.4c10754>

(16) Butcher, C., Chakraborty, P., Gioia, G., Ng, H., Meuel, T., Barros, J., Higashi, Y.;

Okinawa Institute of Science and Technology – Taylor–Couette (OIST-TC): a new experimental set-up to study turbulent Taylor–Couette flow. *Flow* **2024**, 4, E30

<https://doi.org/10.1017/flo.2024.30>

(17) Hassan, F., Chormaic, S., Yamane, Y., Luscombe, C., Velmurugan, N.;

One-Step Palladium-Catalyzed Heterocyclic Ring Closure of Benzofurans with Aryl Iodides through a Heck-Type Pathway. *Organic Letters* **2024**, 26, 9741

<https://dx.doi.org/10.1021/acs.orglett.4c03602>

(18) Nemoto, K., Loock, P., Munro, B., Dias, J., Pei-Zhe, L.;

Performance of Rotation-Symmetric Bosonic Codes in a Quantum Repeater Network. *Advance Quantum Technologies* **2024**, 7, 2300252

<https://doi.org/10.1002/qute.202300252>

(19) Barbee, H., Nishimura, K., Takase, H., Sugiyama, S., Yamazaki, Y., Sato, Y., Kono, K., Nakanishi, M., Johmura, Y., Higashiyama, T., Masukagami, Y., Chiu, Y., Razali, N., Moriyama, Y., Suda, K.;

Plasma membrane damage limits replicative lifespan in yeast and induces premature senescence in human fibroblasts, *Nature aging*, **2024**, 4, 319-335

<https://doi.org/10.1038/s43587-024-00575-6>

(20) Piparo, N., Munro, B., Nemoto, K.;

Quantum aggregation with temporal delay. *Physical Review A* **2024**, 110, 032613

<https://doi.org/10.1103/PhysRevA.110.032613>

(21) Gelléri, M., Yan, W., Scheele, M., Morsbach, S., Zhu, X., Zhao, H., Goudappagouda., Chen, Q., Landfester, K., Yang, Q., Failla, A., Turunen, P., Maroto, A., Gai, M., Zuschratter, W., Westendorf, S., Liu, X., Narita, A., Bonn, M., Kabe, R.;

Reactivatable stimulated emission depletion microscopy using fluorescence-recoverable nanographene. *Nature communications* **2025**, 16, 1341

<https://doi.org/10.1038/s41467-025-56401-z>

(22) Sakurai, K., Tanaka, K., Li, H., Tamura, R., Hayashi, D., Asai, H., Koga, J., Ando, S., Yokota, S., Kaneko, J., Sumiyoshi, A., Yamamoto, T., McHugh, T., Hisatsune, T.;

Silencing dentate newborn neurons alters excitatory/inhibitory balance and impairs behavioral inhibition and flexibility. *Science Advances* **2024**, 10

<https://doi.org/10.1126/sciadv.adk4741>

(23) Clifton, B., Le Coz, M., Terenzio, M., Laurino, P., Ochiai, Y.;

SUPREM: an engineered non-site-specific m6A RNA methyltransferase with highly improved efficiency. *Nucleic acids research* **2024**, 52, 12158-12172

<https://doi.org/10.1093/nar/gkae887>

(24) Vasylevskiy, S., Moshniaha, L., Narita, A., Kabe, R., Xu, X., Ohto, T.;

Synthesis and Characterizations of Dibenzo-Fused Perioctacene. *Angewandte Chemie - International Edition* **2024**, 64, e202418334

<https://dx.doi.org/10.1002/anie.202418334>

(25) Chetri, B., Sonu, S., Shelke, R. G., Dierckxsens, N., Mitra, S., Rangan, L.;

The evolutionary landscape of mitogenomes: Insights from *Elsholtzia blanda* and comparative analysis of ten related species. *Ecological Genetics and Genomics* **2025**, 34, 100328

<https://doi.org/10.1016/j.egg.2025.100328>

(26) Abdelgawad, M., Rosti, M., Haward, S., Shen, A.;

The interplay of plasticity and elasticity in elastoviscoplastic flows in wavy channels. *Physics of Fluids* **2024**, 36, 113127

<https://dx.doi.org/10.1063/5.0239451>

(27) Pilieva, P., Roux, N., Miura, S., Izumiyama, M., Chen, H., Huerlimann, R., Laudet, V., Ravasi, T., Maeda, K.;

The transcriptional landscape underlying larval development and metamorphosis in the Malabar grouper (*Epinephelus malabaricus*). *eLife* **2024**, 13

<https://dx.doi.org/10.7554/eLife.94573>

(28) Jiale, Y., Munro, B., Nemoto, K.;

Experimental demonstration of a Maxwell's demon quantum battery in a superconducting noisy intermediate-scale quantum processor. *Physical Review A* **2024**, 109, 062614

<http://doi.org/10.1103/PhysRevA.109.062614>

The above collaborative publications were published by the following units:

(1) Kabe, Narita, Qi

(2) Bandi, Laudet,

(3) Laurino, Rosti, Shen

(4) Masai, Yazaki-Sugiyama

(5) Ishikawa, Laurino, Wolf

(6) Shen, Christine Luscombe

(7) Ravasi, Satoh

(8) Munro, Nemoto

(9) Okada, Busch

(10) Narita, Terenzio

(11) Ishikawa, Kitano

(12) Kono, Yamamoto

(13) Sallan, Luscombe

(14) Shen, Wickens

(15) Kabe, Terenzio, Narita

(16) Chakraborty, Gioia

(17) Christine Luscombe, Nic Chormaic

- (18) Munro, Nemoto
- (19) Kono, Husnik
- (20) Munro, Nemoto
- (21) Kabe, Narita
- (22) Kazumasa Tanaka, Yamamoto
- (23) Laurino, Terenzio
- (24) Kabe, Narita
- (25) Christine Luscombe, Ravasi
- (26) Rosti, Shen
- (27) Ravasi, Laudet
- (28) Munro, Nemoto



添付資料3-1-12 External Grants Attachment 3-1-12

FY2024 Business Report

https://www.oist.jp/sites/default/files/2025-06/info-discl_FY24_Business_Report_Public_EN.pdf

添付資料3.1-1 外部資金獲得状況・寄附金獲得状況

Acquisition of External Funding (as of March 31, 2025)/外部資金獲得状況

分類 Category	FY2014		FY2015		FY2016		FY2017		FY2018		FY2019		FY2020		FY2021		FY2022		FY2023		FY2024	
	Amount	#	Amount	#	Amount	#	Amount	#	Amount	#	Amount	#	Amount	#								
科研費(学術系)/Kakenhi (Kakenhi Academic Grants)	165,266,341	54	137,160,016	47	158,517,697	56	245,254,159	86	276,201,309	109	270,013,444	122	279,366,196	126	266,250,000	127	308,720,377	136	487,142,951	165	518,790,000	164
受託研究等(産学連携系) Grants for collaborations industries etc.	69,994,690	10	124,337,784	10	227,151,400	18	210,513,791	20	140,701,256	21	173,956,670	17	113,827,496	14	110,444,030	17	197,708,273	23	234,896,880	41	425,686,349	56
その他国内助成金(学術系&産学連携系)※(注) Other domestic grants	22,635,500	11	20,989,419	6	7,116,234	10	87,587,000	37	87,523,000	48	105,620,345	55	100,231,726	40	137,844,000	54	165,102,058	79	3,118,488,100	67	1,810,582,000	59
受託研究等(学術系) Academic grants	104,967,000	5	120,758,500	7	149,131,000	6	302,781,001	10	217,504,200	10	258,767,900	13	169,562,500	21	379,884,880	27	1,031,706,842	26	1,024,100,792	30	1,078,901,602	34
海外助成金等(学術系)※(注) Overseas grants	27,166,059	3	16,015,264	3	11,916,945	1	13,335,884	2	18,395,330	4	30,798,406	4	33,552,811	6	39,242,711	11	18,926,962	7	43,750,345	10	68,878,956	18
寄附金 Donation	1,075,960	7	36,417,498	13	10,644,779	13	34,747,672	27	28,227,199	24	15,975,729	39	18,407,587	54	18,048,052	102	24,433,551	62	28,217,555	47	220,592,485	190
その他の収入 Other Revenues													149,222,149	8	691,980,599	6	1,448,700,027	16	311,205,760	29	226,691,775	39
	391,105,550		455,678,481		564,478,055		894,219,507		768,552,294		855,132,494		864,170,465		1,643,694,272		3,195,298,090		5,247,802,383		4,350,123,167	

※(注) FY2017以降はフェローシップの金額を含む Fellowship is included from FY2017

The total amount of research-relevant external funding was estimated as the sum of the top five rows in the table (*excluding* donations and other revenues).

添付資料3-2-1 Student Information Class 2021-2024

Information on OIST students

Class	No. of applicants	No. of offers made to applicants	No. of students	Distribution of ages (Average)	No. of males	No. of females	Place of origin	Major/Scientific field	Graduated University
Class of 2021	1269 (44 Japanese Citizenship)	94 (18 Japanese Citizenship)	44	22-30 (Ave. 24.9)	30	14	ALGERIA	1 Agriculture Analytical chemistry Chemistry - g	1 Akita University
							BELGIUM	1 Artificial intelligence/Computational neurosci	1 Budapest University of Technology and Economic
							CHINA	5 Astronomy (Theoretical Astrophysics)	1 Delft University of Technology
							CYPRUS	1 Bioinformatics	1 Ecole Normale supérieure
							ECUADOR	1 Biology	1 Eidgenössische Technische Hochschule Zürich
							FINLAND	1 Biology, Chemistry	1 Eindhoven University of Technology
							FRANCE	1 Biology, Engineering	1 ETH
							GERMANY	3 Biology, Mathematics	1 Ghent University
							HUNGARY	1 Biology, Neuroscience	1 Heidelberg University
							INDIA	4 Cellular neuroscience Neuroimaging	1 Imperial College of Science, Technology and Medicine
							ITALY	1 Cellular neuroscience/Medicine (any specialty	1 Indian Institute of Science Education and Research (IISER) Pune
							JAPAN	10 Chemistry	1 International School of Photonics, Cochin University of Science .
							MEXICO	1 Chemistry, Engineering, Physics	1 Jacobs University
							NETHERLANDS	4 Chemistry, Physics, Engineering	1 Jacobs University Bremen
							PHILIPPINES	1 Cognitive neuroscience/Computational neuro:	1 Keio University
							RUSSIAN FEDERATION	1 Computer Science, Engineering, Mathematics	1 Kyoto University
							SPAIN	3 Computer Science, Neuroscience	1 Kyushu University
							SRI LANKA	1 Engineering	1 Leiden University
							SWITZERLAND	1 Engineering, Mathematics	1 Pan African University Institute for Water and Energy Science
							UNITED STATES	2 Evolutionary biology/Psychology/Zoology	1 Queen Mary University of London
								Geology, Marine Science, Biology	1 Smith college
								Material Science/Medicinal chemistry/Organic	1 St. Petersburg State University, Mathematics & Mechanics Facu
								Mathematical and Computational Sciences	1 Stella Maris College
								Mechanical engineering/Space science and ast	1 Syracuse University
								Molecular development and gene regulation	1 Technische Universität Kaiserslautern
								Neuroscience	3 The University of Edinburgh
								Organic chemistry	1 The University of Georgia
								Physics	3 Tokyo University of Agriculture and Technology
								Physics - general/Rheology/Solid-state and lo	1 Universidad Politécnica de Madrid
								Physics & Astronomy	1 Universitat Politècnica de Catalunya
								Physics Material Sciences	1 University of California San Diego
								Physics, Chemistry	1 University of Exeter
								Physics, Engineering	1 University of Hawaii at Manoa
								Physics, Engineering, Mathematics	1 University of Leeds
								Physics, Mathematics	2 University of Lethbridge
								Physics, Mathematics, Engineering, Computer S	1 University of the Philippines Diliman
								Quantum physics/Theoretical and mathemat	1 University of Tokyo
								Systems neuroscience	1 Wageningen University
								Theoretical and mathematical physics	1 Waseda University of Science and Engineering
									Xi'an Jiaotong University
									Yachay Tech University

44

44

44

* There are 255 students in total as of January 1, 2022.
 (a) due to termination of 25 students as the following list 2.
 (b) due to exiting the PhD program with MSc as the following List 3.
 (c) graduation of 84 students in total as the following List 4.
 (d) including students enrolling in May 2021, Sep 2021 and Jan 2022.

Information on OIST students

1-Jan-23

Class	No. of applicants	No. of offers made to applicants	No. of students	Distribution of ages (Average)	No. of males	No. of females	Place of origin	Major/Scientific field	Graduated University						
Class of 2022	573 (19 Japanese Citizenship)	45 (10 Japanese Citizenship)	50	22—34 (Ave. 25.5)	35	15	AUSTRIA	1 Aeronautical engineering, Engineering and Ap	1 Arizona State University						
							BOTSWANA	1 Applied mathematics	1 Ashoka University						
							BRAZIL	2 Applied mathematics, Artificial intelligence, Co	1 Berry College						
							CHINA	1 Artificial intelligence, Biophysics, Oceanograpl	1 Botswana International University of Science and Technology						
							CZECH REPUBLIC	1 Artificial intelligence, Computer sciences, Mec	1 City University of Hong Kong						
							EGYPT	1 Atomic physics, Condensed matter physics, Oq	1 COCHIN UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY						
							HONG KONG	1 Biochemistry/Chemistry - general/Material Sc	1 Department of Molecular Biology and Human Genetics, Tzu Chi						
							INDIA	7 Bioinformatics, Biology, Evolutionary biology,	1 Ecole Polytechnique Federale de Lausanne						
							INDONESIA	1 Bioinformatics/Computational neuroscience/ε	1 Faculty of Science, Kafrelsheikh University						
							ITALY	2 Bioinformatics/Molecular biology	1 Federal Fluminense University						
							JAPAN	9 Biology, Ecosystem sciences, Marine biology, i	1 Florida Institute of Technology						
							LATVIA	1 Biology, Marine biology, Microbiology, System	1 Graduate school of Science, Osaka University						
							MEXICO	3 Biology,Neuroscience	1 Hokkaido University						
							RUSSIAN FEDERATION	5 Biophysics,Ecosystem sciences, Marine biolog	1 Hosei University						
							SINGAPORE	1 Biophysics/Chemical engineering	1 HSE University						
							SOUTH KOREA	2 Biosensing, Biotechnology, Electrochemistry, l	1 Imperial College London						
							TAIWAN	2 Biotechnology, Epigenetics, Genetics, Molecul	1 Indian Institute of Science Education and Research (IISER), Pune						
							UGANDA	1 Chemical engineering/Chemistry/Surface sciei	1 Indian Institute of Science Education and Research, Kolkata						
							UNITED KINGDOM	5 Chemical Physics	1 Indian Institute of Technology, Madras						
							UNITED STATES	3 Chemistry, Computer sciences, Condensed ma	1 Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey (IT						
														Chemistry, Material Science, Organic chemistr	1 International Christian University
														Chemistry, Organic chemistry, Synthetic orgar	1 Jamia Hamdard University
														Cognitive neuroscience/Neuroimaging/Psychc	1 King's College London
														Computational neuroscience, Computer scien	1 KU Leuven
														Computational psychiatry, Neuroscience, Rein	1 Lomonosov Moscow State University
														Computer Science,Mathematics	1 Meiji University
														Computer sciences/Engineering and applied sc	1 Memorial University of Newfoundland
														Condensed matter physics, Nanotechnology, f	1 National Taiwan University
														Condensed matter physics, Partial differential	1 Niigata University School of Medicine
														Condensed matter physics, Physical chemistry	1 North Carolina State University
														Condensed matter physics, Physics	1 Osaka University
														Condensed matter physics, Quantum physics,	1 Politecnico di Milano
														Confocal microscopy, Optics, Photonics, Physi	1 Saint Petersburg State University
														Coordination chemistry, Medicinal chemistry,	1 SIKSHA 'O' ANUSANDHAN UNIVERSITY
														Developmental biology/Epigenetics/Learning	1 Southern Federal University
														Functional analysis, Mathematics, Real analysi	1 The University of Manchester
														High energy physics, Physics, Quantum physic	1 The University of Tokyo
														Inorganic chemistry, Organometallic chemistr	1 The University of Tsukuba
														Marine biology, Molecular biology, Zoology	1 Tokyo University of Science
														Marine Science,Biology	1 UM-DAE- Centre for Excellence in Basic Sciences
							Neuroscience,Biology,Psychology	1 Universidad Nacional Autónoma de México (UNAM)							
							Optics and photonics Quantum physics	1 University of Brasília							
							Optics, Physics, Quantum physics, Theoretical	1 University of Bristol							
							Organic chemistry	1 University of Plymouth							
							Physical chemistry, Polymer chemistry, Rheolo	1 University Of Stirling							
							Physics,Engineering	1 University of York							
							Physics/Quantum physics	1 Western Wyoming Community College							
							Psychology	1							
							Quantum field theory, Quantum gravity	1							
							Systems neuroscience	1							

*The number of enrolled students includes students who were accepted in a previous year and deferred enrollment to this year.

50

50

50

* There are 264 students in total as of January 1, 2023.

(a) due to termination of 33 students as the following list 2.

(b) due to exiting the PhD program with MSc as the following List 3.

(c) graduation of 116 students in total as the following List 4.

(d) including students enrolling in May 2022, Sep 2022 and Jan 2023.

Class	No. of applicants	No. of offers made to applicants	No. of students	Distribution of ages (Average)	No. of males	No. of females	Place of origin	Major/Scientific field	Graduated University							
Class of 2023	825 (29 Japanese Citizenship)	68 (11 Japanese Citizenship)	55	21–31 (Ave. 25.2)	33	22	Belarus	1 Algebra, Applied mathematics, Mathematical	1 American University of Beirut	1						
							Brazil	1 Analysis, Developmental neuroscience, Electr	1 Bahauddin Zakariya University	1						
							Canada	1 Applied mathematics, Dynamical systems, Gar	1 Belarusian State University	1						
							China	4 Artificial intelligence, Machine learning, Mathe	1 Cardiff University	1						
							Czechia	1 Artificial intelligence, Quantum computing, Qu	1 Damascus University	1						
							France	2 Atomic physics, Computational physics, Physic	1 Ecole Nationale de la Statistique et de l'Administration Economi	1						
							India	1 Atomic physics, Condensed matter physics, Lo	1 Ecole Normale Superieure de Lyon	1						
							Indonesia	4 Atomic physics, Quantum computing, Quantur	1 Far Eastern Federal University	1						
							Israel	1 Behavioral neuroscience, Computational neur	1 Government College University Faisalabad	1						
							Japan	10 Biochemistry, Chemical biology, Chemistry	1 Ho Chi Minh City University of Education	1						
							Kazakhstan	1 Biochemistry, Chemical biology, Nanotechnolc	1 Hokkaido University	1						
							Pakistan	2 Bioinformatics, Cancer, Cell biology, Moleculai	1 Imperial College London	1						
							Poland	1 Bioinformatics, Cell biology, Evolutionary biolc	1 Indonesia International Institute for Life Sciences (i3L)	1						
							Russia	6 Bioinformatics, Epigenetics	1 ITMO University	1						
							Slovakia	1 Bioinformatics, Genetics, Genomics	1 Ivan Franko National University of Lviv	1						
							South Korea	1 Bioinformatics, Molecular evolution, Protein E	1 James Cook University	1						
							Spain	2 Biophysics, Computational physics, Theoretica	1 Kanazawa University	1						
							Sweden	1 Biotechnology, Material Science, Polymer chei	1 Kazan (Volga region) Federal University	1						
							Syrian Arab Republic	1 Calcium imaging, Computational neuroscience	1 Keio University	1						
							Taiwan	1 Cancer, Developmental biology, Epigenetics, H	1 Kumamoto University	1						
							Ukraine	5 Cancer, Genetics, Genome editing, Molecular l	1 Kyiv Academic University	1						
							United Kingdom	1 Cell biology, Genome editing, Medicine	1 Kyoto University	1						
							United States of America	5 Chemistry, Energy materials, Material Science,	1 Lomonosov Moscow State University	1						
							Viet Nam	1 Chemistry, Material Science	1 Moscow Institute of Physics and Technology	1						
														Chemistry, Molecular neuroscience	1 Nagoya University	1
														Chemistry, Organocatalysis, Organometallic ch	1 National Tsing Hua University	1
														Climate change, Genetics, Marine biology, Ma	1 Nazarbayev University	1
														Cognitive neuroscience, Computational neuro:	1 Niigata University	1
														Complex systems, Marine biology, Quantitativ	1 Novosibirsk State University	1
														Complex systems, Non-equilibrium, Statistical	1 Okayama University of Science	1
														Computational biology, Evolutionary biology, C	1 Ramakrishna Mission Vivekananda Educational and Research In	1
														Computational neuroscience, Computer scienc	1 Shaanxi Normal University	1
														Condensed matter physics, Material Science, P	1 Soochow University	1
														Conservation biology, Genetics, Landscape ecc	1 Stockholm University	1
														Coral reef ecosystems, Ecology, Ecophysiology	1 Taras Shevchenko National University of Kyiv	3
														Developmental biology, Marine biology	1 The University of Edinburgh	1
														Device physics, Energy materials, Environment	1 The University of Manchester	1
														Directed evolution, Enzymology, Protein Engin	1 The University of Tokyo	1
														Dynamical systems, Evolutionary biology, Popu	1 Tokyo Institute of Technology	1
														Ecology, Fish, Marine sciences, Oceanography	1 Tokyo Metropolitan University	1
														Energy materials, Surface sciences	1 Universidade Federal do Parana	1
														Entomology, Evolutionary biology, Field biolog	1 University College Dublin	1
														Fluid dynamics, Laser cooling and trapping, Th	1 University of Bristol	1
							Fluid dynamics, Mechanical engineering, Nano	1 University of Copenhagen	1							
							Information theory, Quantum, Statistical physi	1 University of Montreal	1							
							Medicinal chemistry, Organic chemistry, Synth	1 University of Rochester	1							
							Nano-optics, Nanofabrication, Photonics	1 University of Southern Mississippi	1							
							Non-linear partial differential equations, Partic	1 University of Toronto	1							
							Nonlinear optics, Optics	1 University of Tsukuba	1							
							Nonlinear optics, Optics, Photonics	1 University of Utah	1							
							Optics, Quantum electrodynamics, Quantum ii	1 Utah Valley University	1							
							Physics, Quantum information	1 Voronezh State University	1							
							Polymer chemistry	1 Wageningen University & Research	1							
							Quantum computing, Quantum foundations, C	1	1							
							Quantum technology	1	1							

55

55

55

* There are 288 students in total as of January 1, 2024.

(a) due to termination of 43 students as the following list 2.

(b) due to exiting the PhD program with MSc as the following List 3.

(c) graduation of 137 students in total as the following List 4.

(d) including students enrolling in May 2023, Sep 2023 and Jan 2024.

Information on OIST students

1-Jan-25

Class	No. of applicants	No. of offers made to applicants	No. of students	Distribution of ages (Average)	No. of males	No. of females	Place of origin	Major/Scientific field	Graduated University						
Class of 2024	1304 (49 Japanese Citizenship)	77 (21 Japanese Citizenship)	50	21-45 (Ave. 26.0)	22	28	Austria	1 Applied mathematics, Complexity, Theoretica	1 Belarusian State University						
							Belarus	1 Applied mathematics, Fluid dynamics	1 Cardiff Metropolitan University						
							Brazil	1 Artificial intelligence, Computer sciences, Mac	1 City University of Hong Kong						
							Canada	1 Atomic physics, Chemical physics, Physics, Qu	1 Ecole normale superieure - PSL						
							China	1 Atomic physics, Laser cooling and trapping, Ni	1 Far Eastern Federal University						
							Ecuador	1 Behavioral neuroscience, Cognitive neuroscie	1 Getulio Vargas Foundation						
							France	2 Behavioral neuroscience, Molecular neurosci	1 Grand View University						
							Hong Kong	1 Behavioral psychology, Developmental neuro	1 Higher School of Economics						
							India	4 Biochemistry, Microbiome, Protein Engineerir	1 Hong Kong Polytechnic University						
							Iran	1 Biochemistry, Protein Engineering, Protein str	1 Imperial College London						
							Japan	12 Biodiversity, Coral reef ecosystems, Corals, M	1 Indian Institute of Science Education and Research (IISER) Bhoj						
							Kazakhstan	1 Biodiversity, Ecology, Species interactions	1 Indian Institute of Science Education and Research, Pune						
							Mexico	2 Bioinformatics, Computational biology, Comp	1 ITMO National Research University						
							Poland	1 Bioinformatics, Evolutionary biology, Gene re	1 Iwate University						
							Portugal	1 Bioinformatics, Evolutionary biology, Genetic	1 Keio University						
							Russia	6 Biology, Computer sciences, Mathematics	1 King's College London						
							Singapore	1 Biophysics, Non-linear dynamics, Physics, Stoc	1 Kyushu University						
							South Korea	1 Biotechnology, Nanobiology, Nanotechnology	1 Lomonosov Moscow State University						
							Sri Lanka	1 Botany, Ecology, Genetics, Physiology	1 Macalester College						
							Thailand	1 Brain stem, Cell biology, Cell culture, Develop	1 Monterrey Institute of Technology and Higher Education						
							Ukraine	3 Cell biology, Cell division, Cellular dynamics, N	1 Montpellier University						
							United Kingdom	3 Cell biology, Cryo-electron microscopy, Imagir	1 Moscow Institute of Physics and Technology						
							United States of America	3 Chemistry, Data Science, Materials engineerin	1 Nazarbayev University						
														Chemistry, Material Science, Materials engine	1 Sharif University of Technology
														Chemistry, Organic chemistry, Physical chemi	1 Sorbonne University
														Complex adaptive systems, Computational bi	1 Taras Shevchenko National University of Kyiv
														Computational biology, Evolutionary biology,	1 The University of British Columbia
														Computational neuroscience, Electrical engin	1 The University of Edinburgh
														Computational neuroscience, Memory, Molec	1 The University of Georgia
														Computational neuroscience, Neuroscience, N	1 The University of Manchester
														Computer sciences, Quantum computing, Qu	1 The University of Tokyo
														Condensed matter physics, Engineering and a	1 Tokyo University of Science
														Conservation biology, Ecology, Marine ecolog	1 Trinity College Dublin, The University of Dublin
														Ecology, Evolutionary biology	1 Trinity College-Hartford
														Ecology, Marine biology, Marine ecology, Mic	1 University of Cambridge
														Epitaxial thin film growth, Material Science, N	1 University of Coimbra
														Evolutionary biology, Microbiology, Molecula	1 University of Maryland Baltimore County
														Evolutionary biology, Microbiology, Protists, S	1 University of Oxford
														Gene therapy, Molecular biology, Neural circ	1 University of the Basque Country
														Gravitational physics, Quantum gravity, Quan	1 University of the Ryukyus
														Low temperature physics, Material Science, Q	1 University of Tsukuba
														Material Science, Perovskite solar cells, Solid	1 University of Utah
														Membrane protein, Molecular biology	1 University of Vienna
														Molecular biology, Protein Engineering, Synth	1 University of Washington
														Optical tweezers, Quantum optics, Quantum I	1 University of Waterloo
														Quantum foundations, Quantum information,	1 University of Western Ontario
														Quantum information	1
														Quantum, Quantum computing, Quantum inf	1
														Solid state physics	1
														Synaptic plasticity	1

* There are 295 students in total as of January 1, 2025.

(a) due to termination of 48 students as the following list 2.

(b) due to exiting the PhD program with MSc as the following List 3.

(c) graduation of 174 students in total as the following List 4.

(d) including students enrolling in May 2024, Sep 2024 and Jan 2025.

修了生の就職先例 CAREER PATH EXAMPLES OF OIST ALUMNI (GRADUATES)

Academia (Japan)

Kindai University
Okinawa Churashima Foundation
Osaka City University
RIKEN
Tohoku University
University of Hokkaido
University of Kyoto
University of Shizuoka
University of Tokyo

Academia (Overseas)

Academia Sinica, Taiwan
Birzeit University
Brown University
California Institute of Technology (Caltech)
Centre National de la Recherche Scientifique (CNRS)
Chang Gung University
Columbia University Irving Medical Center
Duke University
Emory University
F. Hoffmann-La Roche AG
Faculty of Pharmacy, Ain Shams university
Fritz-Haber-Institut der Max-Planck-Gesellschaft
Guangxi University
Harvard Medical School
Harvard University

Howard Hughes Medical Institute, Janelia Research Campus
Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique (INRIA)
Institut Pasteur
John Hopkins University
Johns Hopkins All Children's Hospital
King Abdullah University of Science and Technology (KAUST)
Karlsruhe Institute of Technology (KIT) Alpin
Massachusetts Institute of Technology
Max Planck Institutes
National Center for Theoretical Sciences Mathematics Division
National Taiwan University
New York University (NYU)
Oulu University
Ruhr Universität Bochum
Science Foundation Ireland
SLAC National Accelerator Lab
Technical University of Denmark (DTU)
The City of Paris Industrial Physics and Chemistry Higher Educational Institution
The Hospital for Sick Children (SickKids)
University of Edinburgh
University College London (UCL)
University of California Los Angeles (UCLA)
University of Massachusetts

University of Alberta
University of Barcelona
University of California, Berkeley
University of Cambridge
University of Colorado School of Medicine
University of Fribourg
University of Glasgow
University of Lausanne
University of Oklahoma
University of Oxford
University of Stuttgart
University of Utah
Waseda University
Wellcome Sanger Institute
Westlake University
Woods Hole Oceanographic Institution

Industry (Japan)

Amazon Web Services
ARAYA Industrial Co.,Ltd
Astellas Pharma Inc.
Biogen Japan Ltd
Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.
GE Healthcare Pharma
NTT
OIST Technology Development and Innovation Center
QunaSys Inc.
Rapyuta Robotics Co. Ltd.

Recruit co. ltd
Ridge-i Inc.
SONY AI
Srust
Sysmex Corporation
UNIQLO

Industry (Overseas)

Hadean Ventures
Intel Corporation
Microsoft Research Asia
MK Swan Consulting
Silicon Quantum Computing Ltd.
SpiNNcloud Systems
Sysmex Corporation
Tabor Electronics
The Goodyear Tire and Rubber Company
TipQC
Upgrade Academy
Way AS
Wild Microbes Company

Government (Overseas)

UK Hydrographic Office, United Kingdom
Ministry of Business, Innovation and Employment (MBIE), New Zealand